

2025（R7）年度

事業報告書



BOWA SUMIRE

社会福祉法人 ボワ・すみれ福社会

目次

法人理念等	1
役員名簿	2
理事会・評議員会の開催状況	3
監事監査・苦情解決第三者委員会開催状況	8
法人本部	9
花の家（生活介護）	14
クッカ広場（就労継続支援B型）	25
かけはし（相談支援）	31
医務部門	33
栄養部門	34
運営部門	37
花の郷（生活介護）	52
支援部門	52
生産活動部門	60
医務部門	63
栄養部門	65

委員会年間総括	68
ボワ・アルモニー（経営計画より）	77
ボワ・アルモニー（就労継続支援B型）	79
ボワ・アルモニー（生活介護）	83
栄養部門	85
業務分担	89
居住支援部（ボワ・ミニヨン・クレール・あかね・ひなた・はるかぜ）	100
であい（短期入所）	102
児童支援部	104
ボワ・コンサール（放課後等デイサービス）	104
ボワ・エール（放課後等デイサービス）	109
児童支援部全体	112

社会福祉法人ボワ・すみれ福社会

理念

「誰にも優しい地域社会をつくります」

経営姿勢

- ・ **職員を大切にできる会社を目指します**
法人は、元気に笑顔で仕事ができるように、職員を大切にします。
- ・ **質の高い利用者支援を提供します**
法人が目指す支援は、ご利用者が望む支援を質の高さを常に意識して提供していきます。
- ・ **新たな事業に挑戦し多様な支援を提供します**
法人はニーズに応じて新しい事業や多様な支援を提供していきます。
- ・ **法人は職員と共に成長します**
法人＝職員の考えに基づき、職員の成長なくして法人の成長はない、人材育成の取り組みを行っていきます。

行動指針

- ・ **私たちは、常に熱い心と冷静な姿勢で仕事に取り組みます**
仕事に対して熱意を持ち、冷静沈着な姿勢で仕事に取り組み成果を出していきます。
- ・ **私たちは、より高度な倫理観を持ち社会的責任を自覚し誠実な行動をします**
支援者として常にご利用者の人権と自己決定を尊重し、社会的責任、役割を理解し、社会福祉法人の職員としてふさわしい行動をします。
- ・ **私たちは、法人職員として夢と希望をもって行動します**
自分たちの職場を大切に、全職員自らが夢と希望を持ちご利用者支援の仕事を行います。

役員名簿

2025年度定時評議員会（2025年6月開催）の終結日の時から
2026年度の会計に関する定時評議員会（2027年6月頃開催）
の終結の時まで（任期2年）

		氏名	職業
1	理事	田部井眞	ボワ・すみれ福祉会理事長
2	理事	鈴木一典	福寿園 みなみ野 施設長
3	理事	守屋和夫	元根岸町内会会長 忠生地区協議会副会長
4	理事	熊谷 春一	多摩丘陵病院 理事
5	理事	酒井 恵子	すみれ会会長
6	理事	畠山 史郎	花の家施設長
7	理事	角井 まな	児童支援部園長
1	監事	大久保悦子	社会福祉法人まちのひ 事務局長
2	監事	市川健一	東京都障害者スポーツ協会顧問 元都立町田の丘学園校長

2025年5月29日（評議員選任・解任委員会の開催日）から
2028年度の会計に関する定時評議員会（2029年6月頃開催）
の終結の時まで（任期4年）

1	評議員	金子好雄	元（社福）紫苑の会理事長 元（社福）まちだ育成会理事長
2	評議員	岩切孝光	町田木曽西郵便局局長
3	評議員	石原正義	町田市介護人材開発センター センター長
4	評議員	木下美夏	都立町田の丘学園 進路指導部主任教諭
5	評議員	稲田公明	元町田市役所課長 町田市役所ふれあいもっこく館
6	評議員	清水 謙一	（社福）まちだ育成会 理事長
7	評議員	山田 啓史	（社福）紫苑の会 理事長
8	評議員	熊倉 弘幸	（社福）東京援護協会 町田荘 施設長

2025年度 理事会・評議員会の開催状況

開催日	議案・報告事項等
<p>第1回理事会（書面決議） 2025年4月28日（月）</p>	<p>第1号議案 花の郷屋上防水工事及び外壁クラックの大規模修繕工事入札・発注条件について以下のように定める。</p> <p>(1) 開催日時及び開催場所 決議の省略の方法により行う。</p> <p>(2) 議題</p> <p>①入札方法について 一般競争入札とする</p> <p>②予定価格について 39,600,000円（税込み） 補助金の協議額を上回っていない額とする。</p> <p>③予定価格の公表は無しとする。</p> <p>④最低制限価格の設定の有無は無しとする。</p>
<p>第2回理事会 2025年5月27日（火）</p>	<p>(1) 専決事項</p> <p>①役員等報酬規程の改定について</p> <p>(2) 決議事項</p> <p>第1号議案 2024年度事業報告、決算承認の件及び監事監査報告（別冊参照）</p> <p>第2号議案 次期役員候補承認の件</p> <p>第3号議案 次期評議員候補承認の件</p> <p>第4号議案 評議員選任・解任委員選任の件</p> <p>第5号議案 評議員選任・解任委員会について</p> <p>第6号議案 苦情解決第三者委員選任の件</p> <p>第7号議案 役員賠償責任保険契約承認の件</p> <p>第8号議案 評議員会召集の件</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>① 報告事項</p> <p>・4月19日（土）に予定していた法人職員会議は花の家でインフルエンザ発症者が多数あったため中止としました。</p> <p>② 理事長の職務執行状況報告</p> <p>③ 医療的ケアなどに関する報告</p> <p>④ 職員の採用と退職の報告</p> <p>⑤ 運営状況報告及び活動報告</p> <p>⑥ 今後の予定</p> <p>⑦ その他</p>

<p>第1回評議員会 2025年6月12日(木)</p>	<p>(1) 決議事項 第1号議案 2024年度事業報告、決算承認の件及び監事監査報告(別冊参照) 第2号議案 次期役員候補承認の件 第3号議案 役員等報酬規程の改定について</p> <p>(2) 報告事項 ① 報告事項 ・次期評議員候補の件 ・苦情解決第三者委員選任の件 ・役員賠償責任保険契約承認の件 ・4/19(土)法人職員会議について ・組合協議について ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他</p>
<p>第3回理事会 2025年6月12日(木)</p>	<p>(1) 決議事項 第1号議案 理事長選定の件</p>
<p>第4回理事会(書面決議) 2025年6月30日(月)</p>	<p>第1号議案 花の郷屋上防水工事及び外壁クラックの対規模修繕工事の入札経過の確認と契約内容について以下のとおり定める。</p> <p>(1) 開催日時及び開催場所 決議の省略の方法により行う。</p> <p>(2) 議題 入札経過の確認及び契約内容の決定</p>
<p>第5回理事会 2025年9月2日(火)</p>	<p>(1) 決議事項 第1号議案 規程類の改定の件(育児・介護休業等に関する規程、就業規則) 第2号議案 障害福祉人材確保・職場環境改善等事業手当について 第3号議案 評議員会召集の件</p> <p>(2) 専決事項の報告 ① 苦情解決第三者委員選任の件</p> <p>(3) 報告事項 ① 報告事項 ・花の郷大規模修繕について ・ボワ・フルールの活用について ・ボワ・ミニヨン(居住支援部)の建て替えについて</p>

	<p>8月5日賃貸借契約書を取り交わしました。10月着工6月頃引っ越しの予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰者の選定について ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他
<p>第2回評議員会 2025年9月11日(木)</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 障害福祉人材確保・職場環境改善等事業手当について (2) 専決事項の報告 <ul style="list-style-type: none"> ① 苦情解決第三者委員選任の件 (3) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・花の郷大規模修繕について ・ボワ・フルールの活用について ・ボワ・ミニヨン（居住支援部）の建て替えについて 8月5日賃貸借契約書を取り交わしました。10月着工6月頃引っ越しの予定です。 ・表彰者の選定について ・規程類の改定の件（育児・介護休業等に関する規程、就業規則、給与表A） ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他

<p>第 6 回理事会 2025 年 12 月 9 日 (火)</p>	<p>(1) 決議事項 第 1 号議案 規程類の改定（経理規程、運営規程、給与退職金規程、育児・介護休業等に関する規程、預り金規程様式）及び追加支給承認の件 第 2 号議案 評議員会召集の件</p> <p>(2) 専決事項の報告 なし</p> <p>(3) 報告事項 ① 報告事項 ・花の郷大規模修繕について、 総額 39,677,000 円 補助額 29,757,000 円 法人負担額 9,920,000 円 ・ボワ・ミニヨン（居住支援部）の建て替え及びはるかぜ（居住支援部）の引っ越しについて ・財務三表の報告 ・職員満足度調査報告 ・苦情解決第三者委員会報告</p> <p>② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他</p>
<p>第 3 回評議員会 2025 年 12 月 18 日 (木)</p>	<p>(1) 決議事項 なし</p> <p>(2) 専決事項の報告 なし</p> <p>(3) 報告事項 ① 報告事項 ・規程類の改定の件（経理規程、運営規程、給与退職金規程、育児・介護休業等に関する規程、預り金規程様式） ・花の郷大規模修繕について、 総額 39,677,000 円 補助額 29,757,000 円 法人負担額 9,920,000 円 ・ボワ・ミニヨン（居住支援部）の建て替え及びはるかぜ（居住支援部）の引っ越しについて ・財務三表の報告 ・職員満足度調査報告 ・苦情解決第三者委員会報告</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項追加分 ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他
<p>第 7 回理事会 2026 年 3 月 3 日 (火)</p>	<p>(1) 決議事項</p> <p>第 1 号議案 補正予算の件</p> <p>第 2 号議案 2026 年度事業計画及び予算承認の件</p> <p>第 3 号議案 規程類の改定の件 (運営規程の改定、有期契約職員就業規則の改定、正規職員、有期契約職員給与退職金規程の改定)</p> <p>第 4 号議案 評議員会召集の件</p> <p>(2) 専決事項の報告</p> <p>① 苦情解決第三者委員の選任</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>① 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボワ・ミニヨン (居住支援部) の建て替えについて ・組合対応について <p>② 理事長の職務執行状況報告</p> <p>③ 医療的ケアなどに関する報告</p> <p>④ 職員の採用と退職の報告</p> <p>⑤ 運営状況報告及び活動報告</p> <p>⑥ 今後の予定</p> <p>⑦ その他</p>
<p>第 4 回評議員会 2026 年 3 月 12 日 (木)</p>	<p>(1) 決議事項</p> <p>第 1 号議案 補正予算の件</p> <p>第 2 号議案 2026 年度事業計画及び予算承認の件</p> <p>(2) 専決事項の報告</p> <p>① 苦情解決第三者委員選任の件</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>① 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボワ・ミニヨン (居住支援部) の建て替えについて ・組合対応について ・規程類の改定の件 (運営規程の改定、有期契約職員就業規則の改定、正規職員、有期契約職員給与退職金規程の改定) <p>② 理事長の職務執行状況報告</p> <p>③ 医療的ケアなどに関する報告</p> <p>④ 職員の採用と退職の報告</p> <p>⑤ 運営状況報告及び活動報告</p>

	⑥ 今後の予定 ⑦ その他
--	------------------

監事監査の実施状況

実施日	監事名	監査項目
2025年5月22日(金)	市川 健一 大久保 悦子	法人定款第18条の規定に基づき、2024年度事業にかかわる理事の職務執行状況及び法人の財務監査

苦情解決第三者委員会

氏名	開催日
比留川 昇良 馬場 昭乃	2025年9月26日(金) 2026年3月26日(木)

2025年度 法人本部 事業報告

1. 法人本部経営企画部

(1) 目標
目標1. 事務処理の正確性、速度の向上を目指します。
目標2. 職員にとって親切丁寧な本部事務を目指します。
目標3. 財源の確保に努めます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ① データ、文書等の保管方法を再検討し、検索等の時間を短縮します。	以前から決められていたフォルダーの再確認や職員個々の専用フォルダーで管理することで検索等の時間の短縮につながりました。	実施しました。	
(1) - ② 本部事務と事業所での事務の分担を明確にし、事務処理の漏れ、遅れなどが発生しないようにします。	一部領収書のやり取りやジョブカンでの申請方法など各事業所と調整連絡をすることがありましたが概ね分担は明確にできました。	実施しました。	
(2) - ① 勤務処理、有給休暇などわかりやすく取扱い資料等を作成し間違いのない処理を目指します。	勤務管理申請簿の書き方や有給休暇の管理方法など取り扱い資料を作成し、間違いのない処理ができるようにしました。また、毎月の経営会議時に有給の取得率を管理者に周知しました。	実施しました。	
(2) - ② 証明書类等本部が行う事務についても事前に案内し、遅滞なく処理できるようにします。	安否確認メールや経営会議等で事前にアナウンスをするようにし、遅滞なく処理できるようにしました。	実施しました。	
(3) - ① 各種助成金、補助金申請を行います。	障がい者日中活動系サービス推進事業運営補助金 障害者（児）施設整備補助金 令和7年度障害者施設整備等物価対策支援金 東京都共同募金赤い羽根等 各種助成金、補助金を申請しました。	概ね実施しました。	

<p>・理事会 法人の全理事によって組織され、法人の業務執行を決議する意思決定機関であるとともに、理事の職務執行の監督、理事長の選任・解任などを行います。</p>	<p>2025年度は東京都障害者（児）施設整備補助金の関係や理事長の選任の為の理事会の開催を行いました。定時の理事会は年4回実施しました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・評議員選任解任委員会 評議員候補者について審議を行い、評議員選任の決議を行います。</p>	<p>2025年5月29日に評議員選任・解任委員会を開催しました。3名の評議員の選任・解任及び5名の再任を行いました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・経営会議 「利用者本位」「サービスの質の向上」を実現するために理事長、統括部長、各事業所管理者による経営上の検討や判断を行います。</p>	<p>毎月1回実施しました。経営として法人の毎月の収支の確認やご利用者の利用率の確認、各種検討事項の決定などを行うことができました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・運営協議会 各事業所の保護者会を対象として、理事長等が参加し、経営状況の報告をし意見交換を行い、法人経営、事業所運営に反映していきます。</p>	<p>各事業所年2回保護者会の時に理事長から経営状況の報告を行い、各保護者からの質疑に回答することで実施しました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・苦情解決第三者委員会 苦情解決の請求があった場合に、委員会を開催します。また、9月、3月に法人に寄せられた意見要望等に関して、外部委員と意見交換を行います。</p>	<p>2025年9月26日と2026年3月26日に実施しました。各事業所の苦情及び事故報告や事業計画の進捗状況の報告を行い、委員からご助言などをいただき、日々の施設運営に反映しました。</p>	<p>実施しました。</p>	

<p>・法人医務会議 新たな、医療的ケアに関する指針、要綱を制定し、それに基づく対象事業所における要領、マニュアルの作成を支援し、医ケア児者に対する支援が安全にできるように管理します。</p>	<p>各事業所での開催となりました。医療的ケアの指針、要領の一部改正を行い、各事業所も指針、要領の改正を行いました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・法人衛生会議 毎月開催される、経営会議と同時開催とし労働安全衛生等に関する内容に関して意見交換等を行います。腰痛防止や労働環境点検を実施します。 6月に全職員対象としたストレスチェックを実施します。</p>	<p>感染防止のため中止し、各事業所での開催となりました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・法人栄養会議 法人全体の栄養調理に関する内容について必要に応じて開催します。</p>	<p>開催しませんでした。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・本部職員会議 本部職員による情報の共有、日常業務の課題の検討、実施を行います。</p>	<p>毎月1回開催しました。ご利用者の入退所や人事労務に関する内容、今後のスケジュール確認、業務の進捗状況の確認などを行い、滞りなく業務を進めることができました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・法人感染症等防止委員会 (旧法人安全衛生委員会) 感染症防止対応、食中毒防止対応等の各事業所の実施状況の管理及び運用支援を行います。また、法人として統一した対応についての整理等を行います。</p>	<p>毎月開催の経営会議にて感染状況を共有し各事業所の感染対策の徹底を図りました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	

<p>・法人虐待防止委員会 事業所ごとの虐待防止委員会の運営を支援し、研修等の実施に関して管理を行います。10月を虐待防止強化月間として、集中的に虐待防止等に取り組みます。</p>	<p>各事業所の虐待防止委員会の議事録の確認及び10月に虐待防止チェックリストを配信し集計を行い11月の経営会議で確認し各事業所で虐待防止に努めるように取り組みました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・法人身体拘束等適正化委員会 事業所ごとの身体拘束等適正化委員会の運営を支援し、研修等の実施に関して管理を行います。</p>	<p>各事業所の運営状況を確認し、適切に実施できるように確認作業を行いました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・法人広報委員会 年4回の広報誌を発行します。</p>	<p>年4回発行することができました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・法人防災委員会 BCPの作成管理、事業所ごとに作成するBCPを法人防災委員会で作成の支援、シミュレーション訓練の実施、法人としての統一した対応等を管理します。 無線電話通話訓練、安否確認メールの送信及び返信訓練の実施。夜間参集訓練の実施。</p>	<p>BCPの作成は完了しませんでした。シミュレーション訓練も感染防止のため実施しませんでした。無線電話訓練は実施。夜間参集訓練も未実施です。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・管理者評価 9月上旬に評価用紙を配布し、評価を行います。評価結果は、理事会・評議員会に報告します。</p>	<p>9月上旬にGoogleフォームにて実施しました。経営会議では結果についての共有を行いました。</p>	<p>実施しました。</p>	

<p>・災害対応マニュアル見直し 7・8月にマニュアル見直し作業を実施します。修正分は9月に配布します。</p>	<p>本年度の修正要望はなく、改定しませんでした。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・職員満足度調査の実施 9月に実施します。昨年度実施結果と比較して改善点を見つけ出し、次年度の計画に反映させます。</p>	<p>9月末に実施し、結果は職員に開示しました。経営会議では結果についての共有を行いました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・社内報の発行 法人の情報伝達を目的として、適宜発行します。</p>	<p>社内報の発行は実施できませんでした。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>来年度に向けてSNSの活用の調整を始めました</p>
<p>・法人研修（外部・内部研修） ①参加職員の意識向上と、知り得た情報を共有し法人の発展につなげます。 ②自立研等の主催する研修への参加をします。 ③採用時の研修を適宜実施します。また、研修用の教科書（初級編）を作成します。</p>	<p>感染予防の観点から主にオンラインでの参加になりましたが、感染防止対策をしたうえで、徐々に対面での研修に参加するような取り組みも再開することができました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・法人表彰式の開催（2025年11月14日予定） 当法人および各施設において長年貢献された方などを対象として、表彰を行います。</p>	<p>感染防止のため開催は、対象事業で実施となりました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・町田市障がい児者自立支援研究・研修会への参加 引き続き参加し、町田市の福祉の向上のために役割を果たしていきます。</p>	<p>理事長が副代表を務めています。町田市の福祉向上のために役割を果たしました。</p>	<p>実施しました。</p>	

<p>・ 対外業務 自立研副代表、障がい支援区分審査会委員、町丘運営協議会委員、まちのひ監事、ウィズ町田評議員、ボランティアセンター運営委員、室内プール運営委員、支え合い連絡会委員、買物支援運営委員、ポッチャ大会委員</p>	<p>理事長を中心に対外業務を行い地域福祉の推進に努めました。</p>	<p>実施しました。</p>	
---	-------------------------------------	----------------	--

2025年度 ニーズセンター花の家 年間総括

1. 生活介護「花の家」

【支援全体】

<p>(1) 目標 「花の家では、ご利用者やご家族、地域の多様なニーズに対し、以下の視点から高い専門性を持った支援を提供します」</p>
<p>① (支援) ご利用者一人ひとりの状態像や想いに寄り添った支援を提供します。</p>
<p>② (活動) 活動の充実を図り、豊かな経験と彩りある生活を支援します。</p>
<p>③ (健康) 専門職や関係機関と連携しながら健康生活を支援します。</p>
<p>④ (職員) 職員が「働きやすく」且つ「働き甲斐のある」職場を目指します。</p>
<p>⑤ (安全) 自然災害や感染症等へのリスク管理を徹底し、ご利用者が安心して過ごせる環境を整えます。</p>
<p>⑥ (地域) 開かれた施設運営を通し、地域福祉の発展に貢献します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ご本人のニーズやご家庭の想い、年齢や状態等を加味した上でAからGの7グループ編成として環境を整え、その人らしい成長を支援します。</p>	<p>・各グループ、部署において、個人毎のアセスメント、ニーズに基づく計画に沿って丁寧な支援を行っている。 今年度は個別支援計画の様式も変更し、その年度に求められる支援をより具体化できるように取り組んでいる。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-2 <支援における5つの柱>①人権擁護・不適切な関りや虐待の防止②生活支援 (ADLの向上、自立 (自律) 生活に向けた取組み等) ③活動支援 (作業及び療育活動を通じた成長を支援) ④健康支援 (医療的な支援、栄養と食生活支援) ⑤コミュニケーション支援・人間関係形成への取組みに基づき、多角的な観点から、ご利用者の生活が豊かになるよう支援します。</p>	<p>・「5つの柱」という言葉は浸透、定着していないが、実態としては5つの柱(方向性)に沿った形で支援を提供できた。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>①－３ 多くの人との関わりを通し、集団の中の一人ひとりの役割や力が発揮されるように支援します。</p>	<p>・例えば、グループの朝礼での挨拶（日直）、給食を事務所まで運ぶ等、係りを決めて取り組んでもらうことで、ご本人達のやる気や達成感、成長に繋がっている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①－４ 施設内の相談支援事業や地域の障がい者支援センターを中心とした関係機関と連携を図りながら、家庭を含めた総合的な支援を行います。</p>	<p>・相談支援事業所との連携が一般化されてきており、花の家が担うこと、範囲を超えて相談支援や地域支援センターが担うこと等を分担、共有しながら支援に当たる事例が増えてきている。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①－５ 研修等を通じて職員の人権意識を高め、虐待が疑われる関わりや不適切な関わりの撲滅に努めます。</p>	<p>・８月に東京都の虐待防止研修を受講した職員の報告研修を１２月に実施し、全職員が受講して学びを深めることができた。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②－１ <活動における５つの柱>①生産活動（園芸、陶芸、販売活動等）②療育活動（音楽、調理、創作、ムーブメント、スヌーズレン、生活等）③健康への取組（リハビリ、体操、体づくり、散歩等）④社会活動・余暇活動（外出、レクリエーション、社会貢献活動等）⑤個別活動（プール、ヘアカット、パソコン操作等）に基づき、多角的な観点から、ご利用者の生活が豊かになるよう支援します。</p>	<p>・活動においては、<５つの柱（観点）>に基づきつつ、各グループ、ユニット、部署等で工夫しながら提供している。 ICTについては昨年同様CMUの協力を得たり、ICTアドバイザーの関与の中で少しずつ活動が定着してきている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>②－２ ニーズがあるご利用者に対し、入浴支援を行います（週１回）。</p>	<p>・入浴担当者が中心となり、利用状況やニーズの聞き取り等を行った上で、メンバー決めや入浴方法を工夫しながら実施している。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>②－３ 補足的な支援として、通所時間外の支援（日中一時支援）、保護者による通院が困難な場合の付添い等のサービスを提供します。</p>	<p>・規程に基づくレスパイト支援を実施している。一時コロナ感染の影響で事業内容を縮小（時間短縮、送迎中止等）した為、件数は以前より少なくなっているが、一定の利用はされている。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②－４ 外部講師やアドバイザー等の助力を得て、専門性の高い支援プログラムを提供します（音楽、ICT、支援全般等）。</p>	<p>・音楽療法士やICTアドバイザー、作業療法士等の専門職に協力を仰ぎながら、専門性の高い支援を提供できている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>③-1 ご利用者の状態、体調等を配慮した活動プログラムを提供し、生活リズムを整えます。</p>	<p>・基本的には毎日同じリズムで生活を過ごすことで健康状態の安定を図っている。 体調に配慮が必要な人、場合には、個別の事情に配慮して過ごし方を工夫している。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 看護師や嘱託医（内科、小児科、歯科）、訓練士等の専門職や地域の医療機関等と連携しながら、健康を支援します。</p>	<p>・各職種の専門性を活かしながら、計画通りの支援を実施できている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>③-3 一人ひとりに合った食事形態や環境の提供と喫食状況の把握をし、安心、安全で楽しく食事ができるように支援します。</p>	<p>・年3回実施する歯科医師による摂食評価、指導等の機会を利用しながら、一人一人に合った食事形態と介助方法にて食事を提供している。 年1回新人職員等を対象に摂食研修を実施して知識や技術の習得を支援している。。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>③-4 花の家「医療的ケア要領」に基づき、医療的ケアを必要とされる方に対し、安心と安全が保たれた質の高い支援を提供します。</p>	<p>・医療的ケアを必要とされる方に対し、要項や要領に基づき支援職と看護師が連携を図りながら質の高い丁寧な支援を提供している。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>④-1 研修等を通じて必要な知識や専門性、高い技術を身につけ、適切な支援ができるよう努めます。</p>	<p>・今年度は研修委員会の構成メンバーが変わったこともあり、義務化された虐待研修やBCP研修、感染予防研修等以外は計画的に進捗することが難しかった。 適宜入手できた研修情報については職員に情報開示し、積極的な職員の参加を得られている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	<p>研修への参加に消極的な職員の指導・育成をどのように行っていくか検討している。</p>
<p>④-2 外部研修や学習会等で得た知識や情報を職員間で共有し、支援現場で活かしていきます。</p>	<p>・研修を受講した直後は研修内容を意識した行動を示すが、時間が経過すると薄れていく感があった。研修内容をしっかりと定着させる為の方策を検討していく必要がある。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	

<p>④-3 目標共有面接の中で職員と一緒にキャリアアップに向けた道筋を共有し、職員の働き甲斐に繋げていきます。</p>	<p>・新しい人事制度で使用しているシートでは各職位にいる各職員に対する期待、指標が明確になっているのでキャリアアップにつなげやすい面はあるが、職員が主体的、積極的に取り組む姿勢はあまり感じられない現状。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	
<p>④-4職員が安心して働けるよう、「心の健康づくり計画」に基づくメンタルヘルスの取り組みを進めていきます。</p>	<p>・左記の計画に基づく研修を実施し、メンタルヘルスに関する制度やサポート体制等について伝えている。 年度当初にうつ病を罹患した職員がいた為、通院を促したり治療経過を共有する等してサポートした。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>④-5「ハラスメント規程」に基づく研修や啓蒙を通じて、ハラスメントのない職場作りを行います。</p>	<p>・ハラスメントに関して特化した研修会や情報提供は行えなかった。しかし、主任以上の運営者の中ではハラスメントの危険性等について共有してきた。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	
<p>④-6 職員会議等で職員間の意見交換、コミュニケーションを活発に行う環境を整える等、風通しの良い職場を目指します。</p>	<p>・昨年度から良い利用者支援を提供する為の土壌として職員間の良好な関係の重要性をグループ会議等を通じて説いてきた。今年度については噂話等も聞かれることがなくなり、状況は改善している。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑤-1 避難訓練、応急救護訓練、防災教育等の訓練を継続して実施します。</p>	<p>・内部開催の1回目(9月)は訓練想定を例年通りの内容で実施した。2回目は今年度で3回目となるぐうし館と合同で開催。少しずつ想定を工夫しながら実効性のある内容で実施出来た。その他、応急救護訓練や初期消火訓練も計画通り実施出来た。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>⑤-2 防災訓練（内容）のバリエーションを増やし、いろいろな状況に合わせて避難行動がと取れるように訓練していきます。</p>	<p>・避難訓練のバリエーションを増やす検討は行うものの、考えなくても動ける位に身に覚えさせることが良いとの結論になり、基本的には毎回ほぼ同じ内容で訓練を重ねている状況。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	
<p>⑤-3 近隣の福祉施設（藕絲館）や町内会（桜美林台、もみじ台）と合同防災訓練を実施する等して、災害時等の地域連携体制の構築を図ります。</p>	<p>・年間2回目となる避難訓練は今年度で3回目となるぐうし館と合同で開催。今回は高齢者支援センター（ふれあい桜館）の利用者と職員も参加した大規模な訓練となった。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑤-4 BCP（自然災害発生時及び感染症拡大時における事業継続計画）を職員間で共有するとともに、計画に基づく訓練を実施する等して実効性のある物にしていきます。</p>	<p>・BCPについては感染症にかかる物は作成したが、自然災害に関する物の作成には未着手。後期に情報収集を行い、作成に取り掛かる予定。従って、前期中のBCPに基づく訓練は未実施。</p>	<p>着手したが達成できませんでした</p>	
<p>⑤-5 法人事業所（花の郷やボワ・アルモニー等）と連携を図りながら災害備蓄品について見直し、拡充をおこないます。（備蓄食を3日分から7日分へ、備蓄資材等について最新情報に基づいて拡充する等）。</p>	<p>・防災倉庫を整理して棚を新しく設置した。計画よりは若干少ないが備蓄食を従前の3日分から5日分まで増量することができた。</p>	<p>着手したが達成できませんでした。</p>	<p>次年度には更に一日増やして6日分とする予定。</p>
<p>⑤-6 研修の実施や警察などと連携を図りながら、防犯への意識づけを行います。</p>	<p>・防犯研修については隔年の開催とした為、今年度中の実施はなかった。防犯に関する情報の積極的な周知、啓蒙はできなかった。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	

<p>⑤-7 新型コロナウイルスやインフルエンザ等への感染予防策として、手洗いがいの励行、換気、3密の回避、マスク着用等を徹底し、安全で安心して過ごせる施設環境を整えます。</p>	<p>・毎月、各季節毎の感染症状況を把握しながら、必要な対応、周知を図りながら対応してきた。 特にコロナ感染症については状況に応じた見直しを適宜行い、その都度周知した。 見直しの中でコロナも基本的にはインフルエンザと同様の扱いにすることに変更している。</p>		
<p>⑤-8 「感染症と食中毒の発生と蔓延防止の為の指針」に基づく研修と啓蒙を通じて、保健衛生の更なる徹底を図ります。</p>	<p>・左記に関する研修は義務化されている為、計画通り「手洗いによる感染予防」と「ノロウイルスへの備え」に関して研修と実技を実施している。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑥-1 小中高等学校、専門学校、大学等の教育機関と連携を図りながら、実習やボランティアの受け入れを行い、福祉教育や後進育成、進路選択、資格取得等を支援します。</p>	<p>・介護福祉士や社会福祉士、保育士、公認心理師等の実習受け入れを行った（ほぼ例年通り）。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑥-2 施設開放や各種講座の開催等を通じ、地域住民の福祉向上に協力します。</p>	<p>・コロナ感染の為一時中止していた施設開放については再開しており、以前よりは少なくなったが、一定の申し込みはあり対応している。その他、地域イベント（エコフェスタ、3R学び、プール祭り等）への参加やクリスマスリース作り等の講座も市の要請を受けて実施している。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑥-3 大規模災害発生時に、地域の福祉避難所としての役割を担っていきます。 医療的ケアが必要とする方も安心して利用できるよう防災備蓄品等の拡充に努めます。</p>	<p>・町田市二次避難所としての準備は整えている（一日300食×5日分の備蓄食等）。その他、医療的ケアが必要な方を想定した電源を使わない吸引機等の設置も行っている。</p>	<p>実施できました。</p>	

【Aグループ】

(1) 目標「ご利用者、ご家族から“利用したい”と思われる支援を実施します。」
① 質の高いケアを提供します。
② 様々な活動や社会参加等を通し、ご利用者の笑顔を引き出します。
③ ご利用者・ご家族が安心して過ごせる支援を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 ご家庭・医療職との連携を図りながら、心身の健康に配慮します。	ご利用者の変化に速やかに気づけるよう、日々、ご家族、看護師、支援職との連携を図りました。また、ご自宅等で体調変化が見られた際は、関係機関も含めて連絡を取り合い、来所時に健康面に関わる支援が適切に行えるよう配慮しました。	実施できました。	
①-2 すべてのケアにおいて、基礎の観察力をしっかり持ち、根拠ある支援を行います。	専門職（嘱託のPT、看護師など）との話し合いや医療的ケアの研修（フォローアップ研修等）などを通じ、グループ全職員が健康面（体づくり、排痰、注入等を含む）における適切なケア、観察が行えるよう支援しました。	実施できました。	
②-1 ボランティアや実習生、他のグループの方々など、幅広い人たちと触れ合う機会を設けます。	福祉関係の学校の実習生や他グループとの交流を随時行いました。実習生との関わりでは、ご利用者によってはいつもと異なった表情や笑顔が見られ、コミュニケーションを楽しんでいる様子でした。他グループとの関わりに関しては、居室の距離、生活リズムの差などが見られ、積極的なコミュニケーションが図れませんでした。	概ね実施できました。	他グループと積極的に関われるよう、その方法を随時検討します。

<p>②-2 タブレットやスイッチ等の機器を活用し、ご利用者主体の活動を実施します。</p>	<p>職員数やご利用者の体調等の関係で、スイッチ等の準備ができず、ICTを取り入れた活動を積極的に行うことができませんでしたが、後期からは田中アドバイザー（嘱託の支援アドバイザー）とICT委員会が協力し、ICTを専門とした活動の時間を月1回ほど設け、参加することができました。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	
<p>②-3 受動的な活動の充実、明るい声掛けを心がけ、楽しい雰囲気の日々を送れるよう支援します。</p>	<p>昨年度から行っている音楽やムーブメントなど受動的な活動の中で、楽しい雰囲気を大切にしたい支援を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-4 定期的に外出、季節のイベント等を実施し、メリハリのある日常を支援します。</p>	<p>施設全体のイベント（夏祭り、お正月会等）以外に、2カ月に1回程度外出を実施し、ご利用者がメリハリある日々を送れるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-1 連絡帳への返事・記載、体調等の細かな連絡等を確実にし、ご利用者・ご家族に不安を抱かせない支援を行います。</p>	<p>連絡帳を通して、ご家族との情報共有を適切に行いました。また、連絡帳以外にも、電話連絡やメールなど、その時に最も良いツールを活用し、ご家族と情報共有を行いました。しかし、ご家族の気持ちへの配慮まで支援が行き届かず、ご家族への寄り添いが足りない部分が多々見られました。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	<p>ご利用者の情報共有は勿論のこと、ご家族の気持ちにも寄り添った支援を行います。</p>
<p>③-2 職員間の情報共有を徹底し、グループ職員全員が同じ方向を向いて支援にあたります。</p>	<p>支援者、看護師を含めAグループと関わる職員全員にご利用者等の情報、施設の情報を共有し、ご利用者がより良い日々を過ごせるよう職員全体で支援を実施しました。</p>	<p>実施出できました。</p>	

【BCDグループ】

(1) 目標「多種多様で豊富な活動と社会との繋がりを大切にし、ご利用者・ご家族の笑顔溢れる支援を提供します」

- ① 様々な活動を提供し、ご利用者の笑顔を引き出します。
- ② 地域交流や集団生活を通し、自主性と社会との繋がりを大切にします。
- ③ ご家庭のニーズ等を把握し、地域における自立を支援します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 楽しみと社会性の双方が培われるよう、他のグループとの活動共有を図りながら活動と作業を随時行います。	ムーブメントやスヌーズレン、音楽などの『活動』と、リサイクルや園芸・陶芸などの『作業』を随時設定し、ご利用者個々に合った内容を行えるよう支援しました。	実施できました。	
①-2 新たな内容を模索・実施し、常に高揚感が味わえるよう支援します。	活動の根幹自体は大きく変わることはありませんでしたが、紙すきでコースターを作成したり、療育活動の内容に変化を加えるなど、随時新たな活動内容考え、実施しました。	実施できました。	
②-1 ご利用者のできることを把握し、集団生活の中で周囲のことを意識した行動ができるよう支援します。	活動準備や食事の片付け、送迎の乗車確認など、個々でできることを見つけ、それに合わせた声掛け等を行いました。声掛け等に合わせ、各ご利用者も積極的に行動する様子が見られました。	実施できました。	
②-2 安全に配慮した中で地域交流や外出を行い、周囲と関わる機会を豊富に作ります。	ご利用者自身が周囲のことを考え、配慮できるよう、常に支援者が間に入り、声を掛けました。ご利用者によっては理解している行動も多く、周囲を気にしている様子が窺えました。	概ね実施できました。	
③-1 家庭環境を把握・理解し、各ご家庭に寄り添った支援を行います。	相談支援かけはしと連携し合い、個々のご利用者・ご家庭に合った社会資源の情報を提供しました。	実施できました。	

【EFGグループ】

(1) 目標「一人ひとりの障がい特性に合わせた活動を提供し、充実した毎日を過ごせるように支援します。」

- ① 個々のニーズや得意なことを活動や生活の場面に取り入れ、充実した日々が過ごせるように支援します。
- ② 地域との繋がりを大切に活動を行います。
- ③ ご家庭やグループホームと連携しながら健やかで安定した生活を支援します。
- ④ ご利用者が楽しめる活動を提供します。
- ⑤ 職員の障がいへの知識・理解の更なる向上を目指します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 他グループと活動共有をしながら、個々の得意なことや興味、状態に合った活動を提供をします。	EFGグループで活動共有を行いました。共有することにより個別対応や、その日のご利用者の状態に合わせた活動を提供することができました。	実施できました。	
①-2 作業や日々の活動、生活の場面で、ご本人が行えることの幅を広げながら、一人ひとりが笑顔で毎日充実して過ごせるように支援します。	ご利用者一人ひとりができることを増やせるように、支援しました。また、作業とレクリエーションなどの活動を提供し、充実した毎日を過ごされました。	実施できました。	
②-1 施設外での活動（リース等納品やビラ配り、委託作業、出張販売、買い物、地域のゴミ拾いなど）に取り組むに、地域社会との交流を深めていきます。	「ビラ配り」「観葉植物のリース」「納品」「買い物」等を行いました。リースで観葉植物を届けた際、「いつもありがとう」などの声を掛けて頂き、ご利用者も嬉しそうな表情を見せていました。	実施できました。	
③-1 ご家庭やグループホームでの健康についての情報を医務と共有しながら、体調把握に努め、必要に応じて関係各所と連携を図ります。	体調不良や怪我をした時にはご家庭へ連絡しました。また、その様子を医務と情報共有しました。	実施できました。	
③-2 日々のバイタルチェック及び月1回の体重測定を行い、健康状態の把握に努めます。	来所後に必ず検温とバイタルチェックを行いました。また、月一回の体重測定を行い健康状態の把握に努めました。	実施できました。	

<p>④-1 毎月の外出や食事会、季節ごとのイベントなどを企画し、ご利用者が心から楽しめるよう支援します。</p>	<p>各グループとも月一回はイベントを行い、作業と余暇活動のバランスが取れ、豊かな生活が送れるよう努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 ご利用者が楽しみながら参加できる運動プログラムの充実に努めます。</p>	<p>「トランポリン」「ムーブメント」「ボッチャ」等の活動を通して、ご利用者が充実して過ごせるよう努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-1 さらなる障がい理解と知識の向上の為、研修への参加を促します。</p>	<p>「虐待防止」「ダウン症」「摂食」「障がい特性」等の様々な研修を行い、障がい者支援への理解と知識向上に繋がりました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	

2. クッカ広場

【全体】

(1) 目標「ご利用者が充実した社会生活を継続的に送れるよう、個々のライフステージやニーズに応じた 就労支援・生活支援を行います」
① 事業収入(売上・収入)1,720万円を達成し、工賃向上につなげます。
② ご利用者一人ひとりの状態像に応じた就労・生活支援を行います。
③ 心身ともに安全、安心して過ごせる環境を整えます。
④ 質の高い支援とサービスの提供を目指し様々な研修通じて職員育成に努めます。
⑤ 地域に必要とされる施設を目指します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 リサイクル事業では、「ワクワクする面白いショップ」をモットーに適宜セールを開催し商品の入れ替えを行い店づくりに努めます。新たな企画を検討、開催し新規顧客を獲得するとともに売上げの向上につなげます。また、季節限定で焼き芋販売を行い、売上1,395万円を達成します。	4月・7月・9月・12月に全品半額セールを行い9月の商品入れ替え後の初日の営業で初の30万円越えの売上げを上げることができました。日常的な商品補充や店作りはもとより、セール後の商品入れ替えを行い、ワクワクする面白い店づくりに努めました。セール最終日には90%オフセールを実施し、お客様に大変喜んでいただくことができました。また気まぐれ企画として「日替りサービスウィーク」や「ポイント3倍」「300円割引」「各商品割引」などを行いお買い物を楽しんでいただきました。12月から2月には焼き芋販売を実施しました。 店舗年間売上：14,668,000円 その他の収入： 222,000円 合 計：14,890,000円 となりました。	実施できました。	焼き芋販売においては、一般のお客様より内部関係者の購入が多く、次のシーズンの販売方法等検討します。
①-2 ガーデン事業では、季節ごとの草花・観葉のショップ販売とリース・花壇管理等の委託事業を継続し、収入230万円を達成します。	店舗では季節の草花販売に努めましたが、収支を考え市場からの仕入れによる販売を中止したこともあり、店舗売上げを伸ばすことは出来ませんでした。定期契約の観葉リースや花壇管理を継続し安定した収入が得られるように努めました。 店 舗 売上：1,046,000円 その他の収入：1,062,000円 合 計：2,108,000円 となり残念ながら目標金額を達成することは出来ませんでした。	実施しましたが結果不十分でした。	クッカ広場単独で事業展開をすることが難しいため、次年度はガーデン事業はクッカ広場で行わないこととします。

<p>①-3 受注事業では、施設清掃・除草などの定期契約作業を継続し安定した収入を得るとともに分別作業などの下請け作業では作業効率を上げ納品回数を増やし、収入95万円を達成します。機会を作り新たな受注作業にも積極的に取り組み増収を目指します。</p>	<p>日々行っているCD仕分け作業の作業効率を上げ納品回数を増やし、月平均68,000円と昨年度より15,000円程収入を上げることができました。通年作業として施設清掃や除草の作業を継続して行いました。また、急遽、施設から通行の邪魔になっていた樹木伐採の依頼を受けすぐに対応しました。その他、外部団体からの依頼にも積極的に対応し増収に努めました。封入作業やポスティング等も行いましたがポスティングの作業では暑さや、寒さで作業できないことが多く作業が滞ってしまいました。</p> <p>CD仕分け収入： 821,000円 その他の収入： 444,000円 合 計： 1,265,000円 となりました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>次回以降のポスティングの受け入れ量を検討します。</p>
<p>①-4 各事業で増収を図り経費削減に努め、平均工賃3万4千円を目指します。</p>	<p>各事業において増収に向け工夫を凝らし、消耗品を無駄のないように使用しました。リサイクルの提供品の中に作業で利用できるものがあれば積極的に利用し、購入品を減らし経費削減に努めました。草花販売や焼き芋販売では収支を見極め収入が見込まれないときには仕入れの中止や、販売の中止などを決定しました。</p> <p>各事業合計収入：18,263,000円となり、4万円をこえる工賃を支給することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>②-1 モニタリングやアセスメント面談を6ヶ月毎に行い、ご利用者の状態像の変化に合わせて作業を提供するとともに、健康状態や生活環境の変化を把握しご本人のニーズや課題に対応できるように支援計画書を作成し支援します。</p>	<p>9月、2月に支援計画の振り返りをご利用者とともにを行い目標の達成度を確認しました。11月にご希望のあったご家族と面談を行い、施設や将来への希望と状況変化の聞き取りを行いました。状態像の変化や新たなニーズや課題、家庭環境の変化などを把握し、職員間で情報共有するとともに新たな課題を整理し、3月に次年度の個別支援計画を作成しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 ご利用者の精神安定が図れるように積極的にコミュニケーションをとり、必要に応じて面談を行いよりよい支援につなげます。</p>	<p>見守りはもとより、常にご利用者の声に耳を傾け精神的に不安定になることの無いよう努めました。不安定な様子が感じられるご利用者や面談を希望するご利用者には随時面談を行いました。話の内容や必要に応じて関係者と連携しより良い支援につなげることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-3 職場でのあいさつの習慣化やコミュニケーションの取り方、身だしなみへの意識づけなど、社会性が学べるよう支援します。</p>	<p>日々積極的に職員から挨拶や声掛けを行いました。社会人としてあいさつや返事が大切なことを伝えるとともに身だしなみを意識できるように支援しました。必要に応じて入浴確認シートや洗濯確認シートを用意しご本人と一緒に確認することで身だしなみや清潔を意識することが少しずつできるようになりました。衣服やマスクの乱れや汚れなどが見られた際にはその場で伝え着替えや交換をしていただくことで汚れに自ら気が付き衣類やマスクを替えることができるご利用者が増えました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>③-1 受け入れ時の検温を行い、体調変化の早期発見・対応に努め、状況に応じて医務部門と連携し対処します。毎月の体重測定及び医務部門と協力し健康診断、歯科検診を実施します。精神的安定が図れるように過ごしやすい相談しやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>希望されたご利用者を対象に8月1日に健康診断、12月8日に歯科検診を医務と連携して実施しました。日常的に来所時の検温はじめ顔色や行動の変化を見逃さないよう観察しました。不調が見られたり、不調の訴えがあった際には状態を確認し、必要に応じて医務に連絡を取り対応、対処しました。精神的に安定して過ごせるよう各ご利用者の状態像に合わせ環境を整えました。精神的不調も含め大きな体調不良やケガもなく過ごすことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 防犯・防災対策やリスク管理を徹底し、BCP（事業継続計画）を職員間で共有するとともに防災訓練・避難訓練・応急救護訓練・防犯訓練等を実施します。</p>	<p>9月、2月に地震を想定した防災訓練を行いました。2月の訓練はぐうし館との合同訓練を行いました。防災頭巾の配布に手間がかかりましたが回数を重ねるとにご利用の方が静かに整列して待つことができるようになってきている様子が見られました。1月15日にBCP自然災害編を生活介護と合同で実施し、講義とグループワークによる演習を行いました。グループワークでは、災害時の引き渡しについてシナリオに沿って話し合いを机上訓練として行いました。他部署の職員と意見交換をすることでご利用者の状態像や環境が異なることでの対応の違いや課題を共有しました。2月19日～20日町田市の災害情報伝達訓練に参加しました。防犯研修は2年に1度の設定としたため今年度の実施はありませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>防災頭巾を共用のヘルメットにすることをリスク委員会で検討していただきます。</p>

<p>③-3感染症対策を徹底し、感染症や食中毒に関する知識を深められるように感染症対策の研修と訓練を実施するとともに蔓延防止に努めます。</p>	<p>施設内でのマスクの着用を徹底しました。乾燥時期には加湿器を稼働させ適度な湿度が保てるように努め、こまめに換気を行いました。12月19日にはBCP感染症編研修として、目的と内容確認の講義とシナリオをもとにグループワークを行いました。昨年度新型コロナウイルス感染に伴う施設閉鎖時の対応経験が学びとなっている職員が多く見られました。3月12日感染症対策実施研修としてノロウイルスキットの内容確認と、使い方を実施しました。感染を蔓延させることなく過ごすことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-1 虐待防止・身体拘束研修をはじめとした内外部研修を通じて必要な知識や技術・専門性を身につけ、質の高い支援を目指します。</p>	<p>9月に東京都の虐待防止研修を受講し、その後受講者が講師となり、花の家全職員へ虐待防止伝達研修を数回に分けて行いました。研修後は学びを振り返るとともに、職員会議などで必要な知識や情報を確認し、支援につなげることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 法人が求めるキャリアアップとスキルアップに連動した研修を実施し、質の高い支援とサービスの向上をはかります。</p>	<p>一人でも多くの職員が研修に参加できるように日程調整をしました。研修で得た情報や知識は日々の終礼や職員会議で情報を共有し、ご利用者の新たな課題や問題を解決できるようにチームで取り組むことに努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-3 メンタルヘルスへの取り組みやハラスメントのない環境づくりに努め、職員が安心して働き、成長できる職場づくりに努めます。</p>	<p>4月18日にハラスメント研修、3月4日にはメンタルヘルス研修を行い、ハラスメントはなぜ起こるのかや、気持ちの切り替え方法などを学ぶとともに各職員が積極的にコミュニケーションを取り、職員が安心して働ける職場づくりに努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>⑤-1 各種教育機関や関係機関からの実習・見学や地域住民ボランティアの受け入れを行います。</p>	<p>各教育機関や関係機関から現場実習、職場体験、社会福祉士、公認心理士実習の受け入れを行いました。入所希望の方や、教員、ご家族等希望があれば随時見学を受け入れ対応しました。また、今年初めてクッカ広場ご家族の見学会を設定し、実施しました。7名のご家族に参加していただくことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-2 ショップを通じてご利用者とともに地域住民との交流を深めます。多くの方に花の家を知っていただけるように地域の行事に積極的に参加します。</p>	<p>ご利用者、職員が楽しいお店作りの一環として接客を通じて地域住民と交流を図りました。外部行事に参加することはできませんでしたが、11月には旧カフェの一部の壁を「まちかどこどもギャラリー実行委員」へ貸し出しを行い子供たちの作品を貼り出しました。3月の「まちださくらまつり」では臨時営業を行いたくさんのお客様に初めてご来店ごしていただくことができました。また、地域の高齢者施設にお花見途中の休憩場所として、旧カフェのピロティの貸し出しを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-3 市内の農地の保全を目指し町田の市民と農をつなぐ【まちだベジハブ】と連携し地域の農産物の販売を継続します。</p>	<p>継続して「町田ベジハブ」の野菜販売を行いました。開始当初は販売者を増やしていく予定でしたが、出店希望者がいないことやレジの形態等に課題があり、今年度も一軒のみの販売実績となりました。</p>	<p>実施できましたが結果不十分でした。</p>	<p>「町田ベジハブ」と今後の販売の在り方を検討していきます。</p>
<p>⑤-4 地域の福祉避難所としての役割を担い、AEDの施設外設置を継続します。</p>	<p>AEDの施設外設置を継続し、店舗に設置場所のポスターを掲示しました。幸いにも利用する方はいませんでした。10月11日に町田市役所と一緒に二次避難所開設訓練を行いました。初めての訓練で課題や検討事項を出し合い今後に役立てていくことを確認しました。</p>	<p>実施できました。</p>	

3. かけはし

(1) 目標
① 当事者（ご家族含む）の想いに寄り添った相談支援を行います。
② 当事者のニーズに応え、当事者が望む生活を支える為に、各種サービス利用や社会資源の調整、マネジメントを行い、計画立案と定期的な状況確認（モニタリング）を行います。
③ 相談支援で得られた情報を通して地域における課題を明らかにする中で、障がいのある方が暮らしやすい地域社会の実現を目指していきます。
④ 相談支援の質の向上、相談業務の専門性の習得を目指し、研修等を通じて相談員の育成に努めます。
⑤ 事業の継続と発展を目指し、適正な人員配置と収支バランスを意識した運営を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 ご利用者の想いにより添った、丁寧な相談支援（基本相談）を行います。	・計画書やサービス利用に繋がらないような内容の相談にも丁寧に対応するようにしている。	実施出来ました。	
②-1 ご本人が望むご本人らしい生活の実現を目指して、各種機関・サービスと連携し、サービス等利用計画の作成およびサービスのマネジメントを行います。	・今年度から新しく配属された相談員が中心となって相談、計画作り、モニタリング業務を行っており、その相談員が丁寧なアセスメントに基づくご利用者本位の相談支援を提供している。	実施出来ました。	
②-2 定期的な状況確認（モニタリング）を行うことで、ニーズの変化や追加、サービス利用上の課題等に対応していきます。	・今年度、スケジュール表を作り変え管理を徹底することでほぼ予定通りのモニタリングが行えており、必要に応じてサービスの追加、変更等を行っている。	実施出来ました。	
②-3 計画立案やモニタリングに遅れが生じないようにスケジュール管理を確実に行っていきます。	・上述のように、今年度はスケジュール管理を徹底することを相談員間で申し合わせており、ほぼ規定通りのモニタリングが行えている。	実施出来ました。	
②-4 サービス等利用計画に加え、「緊急時予防・対応プラン」を積極的に活用することで、ご利用者の暮らしのリスク軽減を図ります。	緊急時予防・対応プランについては契約している全ご利用者に作成の協力をお願いし、約8割方のご利用者の計画が作成できている。	実施出来ました。	

<p>③-1 ご利用者が地域で豊かに暮らせるために、関係機関（相談支援事業所、地域障がい者支援センター、行政、法人連絡会等）との連携を図ります。</p>	<p>・町田市や法人連絡会の相談支援事業所連絡会、忠生地域のネットワーク会議等を通じて顔の見える関係性が構築されている。 いろいろなご利用者の相談に対し、様々な地域の多様な関係機関の協力を得ながら（相談）支援を提供できている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>③-2 相談支援を通じて得られた情報や相談支援事業所連絡会での意見交換を通じて得られた情報等から地域の課題を明らかにする中で、関係機関や行政と連携を図りながら障がいのある方々が暮らしやすい社会の実現を目指してまいります。</p>	<p>・上述した連絡会やネットワーク会議において、個々の事例を踏まえた地域の課題を共有しながら、上部団体等へ改善に向けた取り組みを提案する等の活動を行っている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>③-3 町田市で取り組んでいる「地域生活支援拠点」に参画し、当事者の安心して暮らせる地域作りに向けて貢献していきます。</p>	<p>年度末迄に申請の作業を終え、2026年度から本格的に参画する準備を進めているところ。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	
<p>④-1 法人の新人事制度の活用や研修等を通じて、相談支援の質の向上、相談業務の専門性の習得を図ります。</p>	<p>・加算にも繋がる医療的ケアコーディネーター養成研修、精神障害者への地域移行の為の研修会の他、相談支援事業所連絡会における事例検討等に参加する等して、相談支援の質の向上に努めた。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	
<p>⑤-1 高い質の相談支援を行う為の人員配置を行いつつ、収支バランスが適正に保てるよう、相談件数が月35件を目指して段階敵に取り組めます。</p>	<p>・相談支援の質を担保しつつ財政状況を改善させる為にICTやAIを積極的に活用した。 これまで2時間かかっていた作業が15分に短縮できる等効果が表れている。 諸作業の短縮により相談件数もお幅に増やすことができ、財政状況の改善にもつながった。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

3. 医務部門

(1) 目標 ①ご利用者及び職員の安心・安全を目指して、多職種間での円滑な連携を推進し、心身の健康支援を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ご利用者の体調を把握し、異常の早期発見・早期対応に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽微なけがなどの処置 ・バイタルサインチェック（毎日） ・嘱託医（内科医、小児神経科医）による医療相談（毎月） ・健康診断のチェック（年1回） ・訓練士（PT）による作業訓練（月2回/不定期） ・町田市口腔保険センターによる歯科検診（年1回） ・鶴川記念病院健診部による健康診断（年1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽微なけがの処置や体調不良時については、支援職員やご家族、入所施設等と連携し、対応しました。 ・季節のお便りなどを通して職員やご家族に感染症対策等の注意喚起を行いました。 ・8月1日鶴川記念病院健診部による健康診断を実施しました。（生活介護及び就労Bの希望者）健診結果は嘱託医に確認・助言をいただき支援職員と共有しました。 ・町田市口腔保健センターによる歯科健診を12月8日に実施しました。結果は職員とも共有しました。 ・毎月2回嘱託医による医療相談を実施しました。 ・訓練士（PT）から頂いた助言・提案は支援職員と看護師で共有し、より適切な対応が出来るよう役立てています。 	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き行なっています。（健康診断の対象者が増加しているため、二年に一回など頻度を減らすなどの方法を検討中）</p>
<p>①-2 服薬管理を適切に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な服薬内容の把握 ・災害時用予備薬・預かり薬の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・予備薬の交換を行いました。記入例もつけることで、よりわかりやすくなり記載不備が減りました。 ・市販薬、屯用薬のルール変更を行い、臨時薬の依頼票を作成しました。徐々に浸透し、安全に薬を使用できるようになりました。 	<p>概ね実施できました。</p>	<p>引き続き行なっています。</p>
<p>①-3 支援職員、ご家族、主治医、嘱託医、提携病院、他の専門職（栄養士、PT等）、他事業所等との連携を図り情報の共有をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、支援職員、ご家族、主治医、嘱託医、他事業所等との連携に努めました。相談支援や訪看とも情報共有を行い、必要時カンファレンスの場を設け、連携を取っていきました。 	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き行なっています。</p>

<p>①-4 軽微なけがなどの処置は、支援職員が安全に実施できるように指導していきます。（「医行為でない行為」に基づいて）。</p>	<p>・軽微なけがや虫刺され、爪やすり等はその場で支援職員に指導をし処置をできるように努めました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>引き続き行なっていきます。</p>
<p>①-5 介護職員等による喀痰吸引等の指導要綱に基づき、対象者への実地研修・指導を行います。</p>	<p>・認定特定行為業務従事者に対して実地研修を行い日々医療的ケアの指導を行いました。座学修了後時間が経ってしまった職員に対し、改めて手技の指導も行いました。吸引が行える支援職員が増えました。 ・11月～12月にかけて吸引手技のフォローアップ研修を行い、知識、手技の再確認をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き行なっていきます。</p>

4. 栄養部門

(1) 目標

<p>① 季節感のあるメニュー、味付けや盛り付けの工夫、利用者の嗜好の反映等に努め、より美味しく、飽きのこない食事の提供を目指します。</p>
<p>② ご利用者個人にあわせた食事形態を提供をします。</p>
<p>③ HACCPに沿った調理環境の整備、衛生管理を徹底し、安心・安全な食事を提供します。</p>
<p>④ 肥満・生活習慣病予防対策としてご利用者の栄養管理を行います。</p>
<p>⑤ 知識や技術の向上を目指します。</p>

(2) 計画

計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 旬の食材や行事食を取り入れ、季節感のある食事を提供します。</p>	<p>旬の食材の使用(当施設で採れたじゃが芋やパセリの利用、季節の果物や野菜の使用)、行事食(入所式・子供の日・七夕・土用の丑・海の日・山の日・夏祭り・十五夜・ハロウィン・冬至・クリスマス・お正月会兼成人式・節分・バレンタインデー・雛祭り・ホワイトデー)を取り入れ、季節感のある食事を提供しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-2 嗜好調査(5月・11月)残食調査(8月・2月)を実施します。</p>	<p>嗜好調査を5/19(月)5/23(金)・11/17(月)～11/21(金)に実施。 残食調査を8/18(月)～8/22(金)・2/16(月)～2/20(金)に実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>①-3 栄養会議を実施し、献立や食事内容の改善を行います。(毎月)</p>	<p>支援各事業所(生活介護・クッカ)へアンケートを配布し、それを元に栄養会議を行いました。(支援からの意見や喫食状況・要望を把握した上で、食事内容の改善を行いました。質問があった場合は、回答を正職会議資料に載せ、全体へ周知できるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-4 リクエスト給食や栄養部門アンケートを実施し、ご利用者の嗜好を取り入れた献立を作成します。</p>	<p>栄養部門アンケートの要望やリクエスト内容を検討し、献立に取り入れました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-5 保護者向けの給食試食会を実施し、保護者のニーズや意見を把握します。</p>	<p>今年度も、コロナ対策の為、実施していません。</p>	<p>着手できなかった。</p>	
<p>①-6 マニュアルの定期的な見直しで、安定した食事の提供をします。</p>	<p>マニュアルの見直しをしたが、変更点は見当たらなかった。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-7 グループ訪問を行い、ご利用者の食事状況の把握に努めます。(11月~3月感染予防週間以外の期間)</p>	<p>9月前半に新人職員を中心に各グループを見学をした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 支援職員と連携を図り、ご利用者の摂食機能に合った食事形態を、年3回の歯科医師の回診によるアドバイスを含めて検討し、食べやすい食事を提供します。</p>	<p>摂食については、摂食会議の結果・歯科医師の巡回診察(年3回)の結果を考慮している。今年度1回目6月に歯科医師の巡回診察を行ったが、形態変更の要望はなし。2回目10月の際に、医師の助言により大友様の主食の後期・バナナのかじり取りが中止となり中期食の提供になった。 医師の助言により吉田(大)様は、誤嚥防止の為常食より後期食に変更になりました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 ご利用者個人に合わせたアレルギー対応・制限食等の提供をします。</p>	<p>新規のアレルギー対応・制限食対応のご利用者はいませんでした。</p>	<p>着手できなかった。</p>	

②-3 食品注入に関して、支援・医務との連携を図ります。	児童矢崎様の注入食を開始した。（長期休みの昼食時）	実施できました。	
③-1 配膳間際の盛り付けや、保温性のある食缶の使用、電子レンジを活用し適温での食事の提供をします。HACCPに沿った衛生管理を行います。	適時適温と調理後2時間以内の喫食を遵守する為に、調理工程の見直しと配膳間際での盛り付け、冷蔵庫での保管等の適切な温度管理を行いました。	実施できました。	
③-2 細菌検査を実施します。(毎月)	毎月1回実施しました。	実施できました。	
③-3 冷凍・冷蔵庫、厨房の室温等の温度管理を行います。	調理機器の温度管理を行いました。	実施できました。	
③-4 手洗い後のペーパータオルの使用・アルコールでの消毒、使い捨てマスクの使用等、衛生管理を徹底して行います。	計画通り徹底して行いました。	実施できました。	
③-5 電解水、殺菌庫、食器消毒保管庫を使用して調理器具類の消毒や殺菌を行います。	計画通り徹底して行いました。	実施できました。	
③-6 日常的な清掃（床、冷蔵庫、トイレ他）と定期的な清掃（換気扇、下水）を行い、厨房内を衛生的に保ちます。	日常清掃に加え、随時気になる所の清掃を行っている為、清潔に保つ事が出来ました。	実施できました。	
③-7 調理従事者の衛生教育（手洗いチェッカーとノロ研修等）を行います。	手洗い研修を7月に行いました。ノロ研修を12月に行いました。	実施できました。	
③-8 HACCPに沿った厨房の環境整備を行います。	計画通り徹底して行いました。	実施できました。	

④-1 年1回実施のご利用者の健康診断のデータと、給与栄養量に基づいた食事を提供します。	減塩に取り組んでいます。昨年度後半の平均塩分量が3.1g 本年4月~12月の平均塩分量が3.0g わずかながら減塩をすすめております。	実施しましたが、結果が不十分。	月平均3gを少しでも切れるよう徐々に減塩を進めていきます。
⑤-1 調理研修や試食会の参加等を行い、技術や知識の向上を目指します。	前期は、職員の欠員が続き、日々の業務に追われ、研修や試食会に参加することが出来なかった。後期は、研修や試食会がなかったため参加することができなかった。	着手できなかった。	
⑤-2 法人内の他事業所と必要に応じて連携を図り、知識や技術の向上を目指します。	アルモニーの宮城栄養士に書類上の不明点を教えてもらい知識を得る事ができた。	実施できました。	

5. 運営部門

(1) 目標

① 設備環境や人的環境を効率的に運用し、健全な財政運営を行います。
② 法人の人事制度と連動させながら、職員の育成と専門性の向上を図ります。
③ 働きやすい環境と自己責任と自主性、チームワークを大切にした強い組織作りを目指します。
④ 職員の心身の健康管理に努めます。
⑤ 感染予防、防災、防犯等に努め、安全で安心して過ごせる環境を整備します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 設備環境や人的環境を効率的に運用しながら、健全な財政運営、資金の確保に努め、将来的に持続可能な施設運営、法人経営を行います。	・花の家とクッカ広場、エール等複数事業を営む多機能事業所として、効率的な人員配置等を行うことができる為、人件費率も60% (後半) に抑えることができる等、財政面上も効率の良い運営ができています。	実施出来ました。	
①-2 財政状態を勘案しつつ、適正な職員配置を行い、予算と現場のバランスが取れた運営を行います。	・花の家とクッカ広場、エール等複数事業を営む多機能事業所として、効率的な人員配置等を行うことができる為、人件費率も60% (後半) に抑えることができる等、財政面上も効率の良い運営ができています (同上)。	実施出来ました。	

<p>②-1 職員個々の職位や経験、自己目標に応じた育成計画を立案し、職員の成長を図ります。</p>	<p>・新人事制度に基づく目標共有面接を実施して2年が経過したところ。 個々の職員の職位に応じた目標を定めることにより、育成について職員自身一緒に取り組んでいる。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>②-2 新人事制度と連動する計画に基づいた研修を実施し、支援の質と専門性の向上を図ります。</p>	<p>・グループリーダー、主任という指導的な立場にある職員が相応しい成長をしてきており、OJTが適切に行われるようになってきています。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>②-3 ご利用者の人権擁護・虐待防止の観点から、研修委員会と連携しながら「不適切な支援」事例を通し「適切、適正な支援」方法を考えます。</p>	<p>・国内で発生した虐待事案を共有したり、施設内で確認された不適切な言動についてグループ会議で共有する等して適切な関わり方について学んだ。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>③-1 職位と業務内容、権限を明確にすることで、一人ひとりの職員が自分の役割と職責を理解し自主的かつ積極的な働きができ、他者への思いやりとチームワークを大切にされた職員関係の構築を目指します。</p>	<p>・グループリーダーや主任、管理職等の役職のある者を中心にリーダーシップを発揮しながら良好な人間関係性に基づく良いチーム作りができている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>④-1 産業医の指導を仰ぎつつ、職員の健康管理や健康診断後のアフターフォローを確実に実施します。</p>	<p>・今年度から産業医の関わりが明確化され、健診結果に指導内容が記載されることになりました。 今年度に関し、大きな指摘はありませんでした。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	
<p>④-2 昨年度策定された「心の健康づくり計画」に基づいた研修等を通じて、職員のメンタルヘルスに取り組めます。</p>	<p>・上述のように、今年度から健康診断結果について産業医に見ていただき、指導と助言をいただけるようになりました。 今年度初めにメンタルを病む職員がいました。適宜面接しながら状況を共有しながらサポートしてきました。 職員へのメンタルヘルス研修は計画通りグループ会議の中で実施しました(11月)。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>⑤-1 昨年度策定された「感染症と食中毒の発生と蔓延防止の為の指針」に基づき、「施設の衛生管理（消毒等）、手洗いやうがい、換気、3密の回避等」の感染予防策を徹底します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り、手洗い、うがい、換気、マスク着用、黙食等の感染予防に努めてきました。 ・その時々感染状況等を鑑み、花の家における生活や活動の質にも留意しながら、活動等の内容を検討しながら提供しました。 ・今年度中に施設内での感染が拡大する事態にはなりません。 	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑤-2 防災対策では、実態に即した訓練や地域と連携した訓練、備蓄品の拡充に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については計画通り、施設内及び関係機関と合同防災訓練を年2回実施。その他にも初期消火訓練や応急救護訓練を実施しています。 ・備品については従前3日分だった備蓄食を5日分まで拡張しました。 	<p>実施出来ました。</p>	<p>2026年度中に備蓄食を6日分まで更に拡張する予定です。</p>
<p>⑤-3 昨年度策定されたBCP（事業継続）に基づいた研修と訓練を実施する等して、大規模災害発生時の事業の継続について学んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務化された自然災害編と感染症編のBCPに基づく研修と実技を計2回開催しています。BCP研修も2年目となり、それなりに内容も深化させて手実施できたと考えています。 	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑤-4 防犯対策として、警察署（交番）や地域、関係機関と情報共有し連携を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年毎の開催としている為、今年度中の開催はありません。 	<p>実施出来ませんでした。</p>	

安全衛生美化委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>① 作業場や生活空間、施設全体の環境整備に努めます。</p>
<p>② 感染症予防に努めます。</p>
<p>③ 事故時の迅速な対応と、重大な事故0件を目指します。</p>
<p>④ 環境整備、保健衛生、リスクマネジメント等に関する研修を実施し、職員の意識向上に努めます。</p>
<p>⑤ 職員、スタッフの健康を支援します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 日々、定期清掃の実施します。</p>	<p>各グループごと決められた箇所の清掃を行うことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>①-2 『年3回以上の美化DAY』と『外部への清掃依頼』を実施し、定期的に普段行えない場所を清掃します。</p>	<p>年度内で「美化デイ」と称する取り組みを3回、外部への清掃依頼を4回実施し、普段できない場所の清掃を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-3 担当を配置し、機器類（加湿器や捕虫器等）の管理を徹底します。</p>	<p>各グループの加湿器や扇風機については、グループごと時期をみて設置するなど、適宜管理をしました。また、昨年度設置していなかった捕虫器を再度設置し、美化担当でその管理を徹底しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-4 理美容の調整をし、月1回程度実施します。</p>	<p>月1回、カットボラを行いました。美容師資格のある職員がカットを行い、ご利用者からの評判も良く、滞りなく実施できました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 インフルエンザ予防接種を推奨します。</p>	<p>職員向けに助成金を設定し、予防接種を推奨しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>コロナワクチンにも助成金が出ていることの周知が十分でなかったため、今後周知を図る。</p>
<p>②-2 感染予防マニュアルの周知徹底を図り、予防対策を徹底します。また、その時の情勢や保健所・国の指針に則り、状況に適した感染予防対策を随時検討し、実施します。</p>	<p>毎月、各季節毎の感染症状況を把握しながら、必要な対応、周知を図りながら対応してきました。特にコロナ感染症については状況に応じた見直しを適宜行い、その都度周知してまいりました。見直しの中でコロナも基本的にはインフルエンザと同様の扱いにすることに変更しています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>2026年度にはマスクの着用方法について見直ししていく予定です。</p>
<p>②-3 ノロウイルス等感染性胃腸炎対策については、栄養部と連携し、HACCPや電解水等を活用しながら食品衛生管理を徹底します。</p>	<p>手洗いや嘔吐時の対応、感染予防について研修を実施しました。また、「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針」に則り、職員間で周知できる環境が整っています。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	

<p>③-1 事故・ヒヤリハット発生時の迅速な対応を行います。</p>	<p>事故・ひやりはっと発生時は各現場で迅速に行動し、当該者の傷の手当など、適宜その事象にあった対応を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 多くのヒヤリハットが抽出され、事故防止に対する意識が向上するよう、様々な仕組み（KYT研修の質の向上、ヒヤリハットの共有しやすい環境配慮等）を考え、実施します。</p>	<p>ヒヤリハット事例について毎月まとめたものをグループ会議に提示することで事例の共有を図りました。 KYT研修については実施出来ませんでした。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>③-3 事故・ヒヤリハットの記録と管理、周知を徹底し、再発防止に努めます。</p>	<p>事故が起こった際は担当で速やかに会議し、記録と関係者への周知を徹底しました。。また、3か月後に事故のモニタリングをし、その記録の記載も徹底しました。ヒヤリハットに関しては、起こったすべての内容を各グループ会議で伝え、共有理解ができるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-4 上記の計画を行い、重大な事故（通院等を要する）0件を目指します。</p>	<p>支援、送迎、調理を合わせた事故件数は昨年度より多く、32件ありました。そのうち3件が都・市に報告が必要な重大事故（2件が職員の通院が必要、1件が服薬忘れ）でした。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	<p>事故防止の観点から、一つひとつの支援等が丁寧で適切となるよう、その方法を安全衛生委員会で検討し実施します。</p>
<p>④-1 様々な媒体を活用し、安全衛生等に関する研修、訓練を実施します。</p>	<p>義務化された必要な研修は実技と併せて年2回実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-1 職員に対して、労働安全衛生法に基づく健康診断、アフターフォローを実施します。</p>	<p>健康診断を計画通り実施し、検査結果を管理者、産業医で確認しました。その後、再検査等のある職員に関しては声掛けをし、アフターフォローを徹底しました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>⑤-2 腰痛予防PTを設置し、腰痛対策に関して継続的に取り組みます。(アンケート実施・腰痛ベルト支給、機器類の配置等)</p>	<p>リフトの使用は定着しています。その他、毎月のグループ会議で腰痛PTからのお知らせを周知しました。今年度はサポートスーツの助成がでることにもなり、改めて周知してましたが、希望者はいませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-3 心身の健康に関して、事業所の指針『心の健康づくり推進計画』に基づき、適切に対応します。</p>	<p>法人全体でストレスチェックを実施して、職場環境の把握に努めました。昨年度は職員の関係性の不全がストレスチェックの結果に表れていたこともあり、今年度は職員の関係作り(風通しの良い職場作り)に重点を置いてとりくんできました。その結果、ストレスチェックの結果が大幅に改善されました。</p>	<p>実施できました。</p>	

送迎委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>① 運転するすべての職員が安全な運転業務を遂行し、車両事故0を目指します。</p>
<p>② ご利用者個々の特性を理解し、車内での安全を確保します。</p>
<p>③ 送迎を利用されるご利用者のニーズに応えられるよう努めます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 職員全体に運転をする上での注意喚起(研修等を含む)を随時行います。</p>	<p>事故や危険な運転があった際は、個々・全体への注意喚起(ドライブレコーダーの映像を見てもらう等)を随時行いました。また、事故の再発防止策要綱を新たに作成し、事故があった際はその要綱に沿って事故検証、研修等を行いました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>①-2 新しい職員が入職した際はその方の運転技術等を見極め、必要な期間、運転研修や運転実施練習を行います。</p>	<p>新しい運転職員を3名採用し、運転実施練習等を必要期間行いました。ただ、新しい運転手の事故が4件あり、運転技術の見極めが適切に行えませんでした。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	

<p>①-3 既存の職員に関して、ドライブレコーダー等で適宜運転状況を確認し、必要な場合は管理者等の判断で適切に対応します。</p>	<p>添乗員等から危険な状況があったと話があった際は、ドライブレコーダーを確認し、その状況の把握に努めました。また、確認した上で運転手に注意喚起をし、安全運転に努めてもらえるよう配慮しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-4 車両の定期点検を行い、故障時には迅速に対応します。</p>	<p>各車両の車検、6か月・12か月点検を実施しました。また故障等が起きた際には迅速に対応することで安全に運行することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-5 上記の事柄を実施し、事故0件を目指します。万が一事故が起こってしまった際は、マニュアル通りの対応を遵守し、同じ事故が起こらないよう速やかに事故検証会議を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の適切対応を全職員・運転手に徹底したことで、事故処理、事故検証会議に関しては不備なく行うことができました。 ・今年度、車両事故8件（昨年度2件）発生となり、安全な送迎運行とは言えない状況となってしまいました。 	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	
<p>②-1 送迎連絡ボードを活用し、注意が必要な事象があった際は添乗職員への周知を徹底します。また、送迎時の各ご利用者のマニュアルを更新し、ご利用者の特性を理解して添乗業務にあたるよう努めます。</p>	<p>各ご利用者の送迎時のマニュアルを再度確認し、ご利用者一人ひとりが安全に乗車できるよう努めました。また、送迎車内での事故、ヒヤリハットがあった際は、その都度、連絡ボードに内容を記載するなど注意喚起を徹底しました。今年度、送迎車内での大きな事故はありませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-1 希望するご利用者全員が利用できるよう、乗車車両や乗車位置の調整を行います。</p>	<p>常に乗車車両や乗車位置を検討し、乗りたいご利用者が100%乗れるよう配車しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 ご家庭の状況に合わせて、到着時間等をできる限り配慮します。</p>	<p>ご家庭の要望に合わせて送迎時間の調整をし、ご家族のニーズに答えることができました。ただ、速やかな対応までは至らず、ご家庭の要望と送迎の調整まで、時間の差異が生まれてしまいました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	

医療的ケア委員会

(1) 目標
①医療的ケアを安全且つ適切に実施するための情報共有、検討を行います。
②医療的ケアに関する職員の知識や技術の向上を図るとともに、認定特定行為業務従事者（以下、従事者）による喀痰吸引等の実施対象者を増やし、ご利用者の活動の幅を広げます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 医ケア要領に基づき、毎月の委員会内で要医ケア者の体調や手技、リスク、変更事項等の確認を行います。	毎月の委員会にて、ご利用者の健康状態や手技、事故やヒヤリ等の確認を行いました。委員会のメンバー間で共有することで、日々安心、安全に医療的ケアを実践することができました。	実施できました。	
①-2 医療的ケアに関する書類等を整備し、関係者で共有します。	看護師が医療的ケア実施申請書、医療的ケア指示書、指導医健診記録、医療的ケア実施通知書を整備し、毎月の委員会にてメンバー間で共有しました。	実施できました。	
①-3 最新情報をマニュアルに反映させ、周知徹底を図ります。	医療的ケアが必要な各ご利用者の状態、状況を把握し、手技の変更、体調面の変化など、必要に応じてマニュアルへの反映を行いました。	実施できました。	
①-4 新たなケアのご要望に対して、主治医や保護者、嘱託医、他事業所等と連携し、よりよいサービスを提供します。	新たにケアを要望されるご利用者はいませんでした。ご利用者の体調に関して適宜関係各所と連携し、必要時にスムーズな対応が行えるようにしました。	実施できました。	
②-1 従事者らによる喀痰吸引等の実施対象者が増えるよう、計画的に実地研修を企画します。	喀痰吸引等を行える支援者（第3号研修取得者）が増えるよう、年度当初に実地研修の予定を立てました。ご利用者の体調等の関係もあり、計画通りに進めることはできませんでした。が、ご利用者に負担を掛けることなく、少しずつ実地対象者を増やすことができました。	概ね実施できました。	
②-2 従事者が同一技術の支援を維持できるよう、フォローアップ研修を企画・実施します。	看護師による喀痰吸引のフォローアップ研修を年末に実施しました。第3号研修取得者が参加し、手技技術の維持に繋がりました。	実施できました。	

<p>②-3 医療的ケアや重症心身障がい者支援に関する知識・技術向上のため、他施設への見学や研修の実施、医療従事者と支援職員との情報共有を密に行います。</p>	<p>看護師、支援職が医療的ケアや重症心身障がい者支援についての外部研修に参加し、知識の向上に努めました。また、他施設（島田療育センター等）への見学を適宜行い、ご利用者にとって必要な知識・技術を学び、職員間で共有を図りました。</p>	<p>実施できました。</p>	
--	---	-----------------	--

リスク管理委員会

(1) 目標

①大規模災害や防犯対策等へのリスク管理を徹底し、ご利用者、職員の安全を図ります。また、備蓄の充実、避難訓練や防災・防犯研修を通じた職員やご利用者の防災意識の向上、関係機関や地域ネットワーク構築を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 避難訓練の想定を工夫し、実効性のある訓練を行ってまいります。</p>	<p>内部開催の1回目(9月)は訓練想定を例年通りの内容で実施した。2回目は今年度で3回目となるぐうし館と合同で開催。少しずつ想定を工夫しながら実効性のある内容で実施出来ました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	<p>職員がモデルになり車椅子利用者が階段から避難する想定等にも取り組んでみる。</p>
<p>①-2 心肺蘇生やAED操作など応急救護訓練を実施します。</p>	<p>例年通り、消防署員による心肺蘇生とAED訓練を実施。有期職員と経験の浅い正規職員を中心に実施しました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-3事業継続計画（BCP）に基づく訓練をおこないます。</p>	<p>自然災害編ではBCPの意義や内容に関する研修と家族等への連絡に関する実技で研修を実施。感染症編ではその内容(研修)と感染症罹患者が発生した時の初動についての訓練を実施しました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-4 近隣の自治会や関係施設等との連携を図り、エリア全体で一体的に災害対策に努めます。</p>	<p>①-1参照</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-5 町田市二次避難所として、町田市と連携しながら、地域貢献を図ります。</p>	<p>町田市から要請を受けて、10月に二次避難所開設と引き渡し訓練を実施しました。開設の連絡から避難者の受入れまで滞りなく実施出来ました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>①-6 町田市の福祉施設情報伝達訓練に参加し、災害時等における市や関係機関との連絡の強化を図ります。</p>	<p>毎年同じ内容での訓練を実施しており、市が指定する書式にて伝達できています。その他、地震や豪雨等があった際は東京都と状況確認と報告をしています。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-7 防災備蓄品について見直し、消耗や賞味期限等について管理を行います。</p>	<p>備蓄食料については今年度中に5日分(3食)に増量したところ。備品については予定していた購入が計画通り進んでいない現状。</p>	<p>着手しましたが、結果が不十分でした。</p>	
<p>①-8 防災マニュアル、災害時対応マニュアル等の周知を図ります。</p>	<p>BCP研修の中でマニュアルの存在には触れているが、詳細な内容に関しては周知できませんでした。</p>	<p>着手しましたが、結果が不十分でした。</p>	
<p>①-9 防災、防犯に関する研修会に参加して最新の情報を収集し、施設の防災対策、職員の防災教育を行います。</p>	<p>防災や防犯に関して外部研修には参加できませんでしたが、内部ではBCP等の研修を実施しました。防犯については2年毎に警察官による研修を行っており、次回は来年度に予定しています。</p>	<p>着手しましたが、結果が不十分でした。</p>	
<p>①-10 施設に合った、防犯対策を検討していきます。</p>	<p>警察官を講師に招いた研修会は2年毎の開催としており、次回は来年度を予定しています。また、リスク管理と安全対策を兼ねて、準備ができ次第、防犯カメラを設置する予定としています。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

研修委員会

(1) 目標
①職員が「知りたい！学びたい！」研修の企画・実践を通じて、職員のスキルアップと仕事へのモチベーションアップを目指します。
②他の委員会と連動しながら、職員の専門性の向上を図ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 階層別研修、事業所全体に係る研修、入職必須研修、グループ会議内研修など、昨年度の研修アンケートを基に、楽しく学べるような研修計画を立案・執行します。	今年度は研修委員会の構成メンバーが変わったこともあり、義務化された虐待研修やBCP研修、感染予防研修等以外は計画的に進捗することが難しかったです。適宜入手できた研修情報については職員に情報開示し、積極的な職員の参加を得られています。	実施出来ました。	研修に消極的な職員への意識向上に向けた取り組みを模索していく。
①-2 e-ラーニング等を活用し、グループ会議内研修の充実化を図ります。	サポートズカレッジは十分な活用ができませんでした。	実施出来ませんでした。	2026年度は職員に受講を義務化する等、活用方法を検討していく。
②-1 摂食委員会による摂食勉強会や医療的ケア委員会による勉強会・第3号研修、安全衛生委員会による感染症対策や虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会による必須研修のサポートを行います。	各委員会内で計画された研修が、漏れなく企画・実施出来るよう連携して実施をサポートしました。	実施出来ました。	

広報委員会

(1) 目標
①法人で発行する広報誌の紙面、ホームページ等を利用し、花の家の活動を広く地域に向けて周知をします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 年4回発行される法人広報誌の紙面と適宜更新されるホームページを利用して、ニーズセンター花の家で行っている諸活動等について、広く地域に向けて発信します。	広報誌については、特集や時宜に叶った内容で職員へ記事の依頼をし、掲載できました。ホームページの活用については、定期的な掲載には至りませんでした。	概ね実施できました。	2026年度はSNS（インスタグラム）を通じた広報活動を進めていく予定。

人権擁護・虐待防止委員会

(1) 目標
①国や都等における人権擁護や虐待防止に関する情報を収集し、施設内で情報提供、周知徹底を図ります。
②施設内や近隣地域等の虐待に纏わる情報を把握し、施設内で周知、改善を図ります。

- ③人権擁護・虐待防止に関する研修を通して、職員の意識向上を図り、虐待や不適切な関わりの根絶に努めます。
- ④定期的に身体拘束の状況について情報共有し、不適切な関わりの有無の確認や代替方法がないか等についての検討を行います。並行して、身体拘束に関する研修を1年1回以上開催し、身体拘束ない支援に関する学びを深めて行きます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 行政や関係機関等から送られてくる人権擁護や虐待防止に関する情報を集約し、職員会議や掲示等を通じて施設内に情報提供し、周知徹底を図ります。	行政や関係機関等から送られてくる人権擁護や虐待防止に関する情報を集約し、職員会議や掲示等を通じて職員に情報提供しました。	実施できました。	
②-1 運営会議の中で施設内や近隣で生じた虐待事例等の情報を収集し、運営者で対応について協議、職員会議等で方針について徹底します。	国内で生じた虐待事例について会議で取り上げ、虐待防止への意識づけを行いました。	概ね実施できました。	
②-2 虐待防止月間(10月)にはポスター掲示をする等して、人権や虐待防止への意識付けを図ります。	毎年行っている虐待防止チェックリストを用いた意識づけを行ったり、グループ会議で虐待防止や人権擁護に関わる規程類の読み合わせ等を行いました。	実施できました。	
③-1 人権擁護及び虐待防止等における研修、虐待防止チェックリストの活用等を通じて、職員の人権意識の向上を図ります。	東京都が主催した人権擁護・虐待防止研修に職員が参加し、その報告研修を全職員に対し行いました。 例年通り、虐待防止チェックリストを行いました。職員への事前の意識づけが効果あり、回答率が昨年比で大幅に改善しています。	実施できました。	
③-2 「不適切な関り」事例を題材にした研修を通し、人権擁護の視点に立った「適切な支援」について学びます。	不適切支援に関わる研修等は実施出来ませんでした。運営会議やグループ会議の中で「気になる言動」について取り上げ、考える機会を持ちました。	概ね実施できました。	

<p>③-3 定期的（3ヶ月目安）に支援方法、声掛けの仕方等について確認作業を行います。</p>	<p>グループ会議の中でご利用者への接し方や声掛けの仕方について確認、適切な関わり方について共有する機会を持ちました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-1 毎月の運営会議において、身体拘束に関する各現場の状況を確認し、結果を全職員に職員会議資料等で公示します。</p>	<p>計画通り運営会議での状況確認を行いました。今年度は対象となるご利用者はいらっしゃいませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 止むを得ず拘束する必要がある場合は、マニュアルに照らしつつ、保護者への確認、施設内での情報共有と施設決定、3要件（切迫性、一時性、非代替性）の該当等の手順や条件を達成しているか確認します。</p>	<p>計画通り運営会議での状況確認を行いました。今年度は対象となるご利用者はいらっしゃいませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-3 また、止むを得ず拘束する必要がある場合は、専門家等の意見や助言等も聞きながら代替方法について検討します。</p>	<p>計画通り運営会議での状況確認を行いました。今年度は対象となるご利用者はいらっしゃいませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-4 身体拘束に関する研修会を年1回以上開催し、身体拘束に関する最新情報の共有や身体拘束のない支援等に関する学びを深めてまいります。</p>	<p>計画通り運営会議での状況確認を行いました。今年度中の身体拘束に特化した新情報等は入手、共有することはありませんでした。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	

サービス向上委員会

(1) 目標
①ご利用者や保護者、職員等の関係者からの要望や苦情、意見等を収集し、事業所運営や支援に活かしていきます。
②国や都等における福祉関連のサービス提供に関する情報を収集し、施設内に情報提供、周知徹底を図ります。
③施設内のサービス提供の実態を把握し、改善、向上を図ります。
④福祉サービスに関する研修を通し、職員の意識の変革やサービスの向上を図ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1ご利用者のご要望や意見等については年6回行う保護者会や毎年行うアンケートを通じて、また、施設内関係者から直接的な申し出の他、ご意見箱を活用する等して意見や提案等を収集し、事業運営や支援に活かしていきます。	計画通り、保護者会（年6回）、アンケート（11月）、ご意見箱等を通じた保護者や職員との意見交換を通じて開かれた事業運営を行うことができた。	実施できました。	
②-1 行政や関係機関等から送られてくる福祉関連の情報を集約し、職員会議や掲示等を通じて施設内に情報提供し、周知徹底を図ります。	適宜職員に情報提供と共有を図ることができました。	実施できました。	
③-1 運営会議の中で施設におけるサービス提供に関する情報を収集し、運営者で対応について協議、職員会議等で方針について徹底します。	意見箱を通して意見を募る等、サービス課題の把握に努めました。意見が出た際には運営会議等関係会議で取り上げ、対応・改善の検討を持った。検討・対応の結果については各グループ会議の中で職員に周知しました。 家族への「花の家利用に関するアンケート」を実施し、サービス改善に向けた検討材料としています。	実施できました。	
④-1 福祉サービスに関する研修を実施し、職員の意識変革、知識や技術の向上を図ります。	受講した職員の提案で「本当は知らない利用者の気持ち」と題する全体研修会を実施し、好評を博した。 個別に見ると、研修に積極的に取り組む職員と消極的な職員に分かれた。	実施できました。	研修に消極的な職員に対するアプローチ方法を模索していく。

摂食委員会

(1) 目標	
①	ご利用者が安心・安全に食事が摂れるよう、職員の知識と技術の向上を目指します。
②	歯科医師のアドバイスをもとに、ご利用者個人に合わせた摂食指導を行います。
③	保護者や歯科医師等との情報共有を図ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 研修委員会と連携し、職員への研修（グループ会議内含む）を設定し、摂食に関する知識や食生活への意識、介助技術の向上を図ります。	3月に、入職3年目までの職員を対象に、摂食の基礎知識を含めた研修を行いました。 2月には各グループ会議内で、口腔ケアについての研修を行いました。	実施できました。	
①-2 委員会のメンバーが率先して研鑽し、知識と技術の向上を図りました。	歯科医師からの摂食指導の際、委員会のメンバーが必ず同行し学ばせていただき、最新の摂食に関する技術・知識が向上しました。	実施できました。	
②-1 新規入所者、又は摂食に課題のあるご利用者の摂食指導を、歯科医師のアドバイスをもとに行います。	6月、10月、2月に新規入所者と摂食に課題のあるご利用者の摂食指導を行っていただきました。	実施できました。	
②-2 摂食指導を撮影した様子と、歯科医師からのアドバイスを担当職員にフィードバックし、日々の食事介助に活用します。	歯科医師からのアドバイスを担当職員へフィードバックし、今後の活用方法などを伝えました。	実施できました。	
③-1 新規入所者と摂食に課題のあるご利用者を委員会で把握し、情報共有します。	新規入所者と摂食について課題のあるご利用者のご家族へ、摂食指導がある日程の情報を提供しました。 必要に応じて、指導内容をご家庭へお伝えしました。	実施できました。	

<p>③-2ご家庭からの要望や摂食状況を勘案し、食形態の見直し・モニタリングを行い、ご本人に合った食形態にします。</p>	<p>ご家庭からの要望があった際は、会議を開催し情報を共有後、速やかに食形態の見直しをする為に、モニタリングしました。それにより、数名の方の食形態や胃瘦からの注入量の変更を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
---	--	-----------------	--

ICT委員会

(1) 目標

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ICTに関する研修会に参加したり、専門家や特別支援学級等から情報提供をいただきながら、今ある機材を活用し更なるICTの利用や活用方法等が無いのか模索し、実践への適用を検討します。</p>	<p>ICTアドバイザーから適宜助言をいただきながら、できるところから導入を進めている。タッチペンを利用した創作物を陶器販売の台紙にする等して保護者からも好評をいただいた。ICTアドバイザーによる模擬活動も行う等して、少しずつICTへの理解が深まってきている。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度は定期的（隔月）にアドバイザーが主導するICT活動を行う予定。</p>

2025年度 花の郷 年間総括

部門別年間総括

1. 支援部門

【全体】

(1) 目標

<p>①支援者はプロとしての意識を持ち、専門職としての知識、技術の向上、ご利用者一人ひとりの障がい特性を理解する取り組みを行います。</p>
<p>②ご利用者の思いに寄り添った、安心・安全な支援を行い、豊かで幸せな時間を過ごせるようにします。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 理学療法士、臨床心理士、言語聴覚士、「障害児・者QOLサポートラボCIAO」など専門職からアドバイスを頂き、ご利用者に寄り添った質の高い支援につなげます。</p>	<p>理学療法士、言語聴覚士、公認心理士を島田療育センターより派遣していただき、また「障害児・者QOLサポートラボCIAO」の田中先生からも日常的な支援とICT機器を使用した支援のアドバイスを受けることができました。体に関わること、食事、プール等ご利用者が快適に過ごすための支援につなげることができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>ICT機器を使用し、より活動の充実を図っていく。</p>

<p>①-2 研修に参加し、またe-ラーニングなど自己学習で知識など向上させます。</p>	<p>強度行動障害基礎研修、実践研修、虐待防止研修等、支援に関する外部の研修やサポカレを利用し受講しました。受講した職員で研修報告会を企画し、支援正職で学んできたことを共有しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>継続していきます。</p>
<p>②-1 ご利用者の気持ちやニーズを大切にし、一人ひとりのペースを大切に活動を提供します。また、活動のニーズに応じて、他のグループの活動に参加や、ホールなど空いている部屋を有効活用し、個別支援の充実を図ります。</p>	<p>ご本人の得意なことや興味のあることを積極的に取り入れ、他のグループの活動や個別の活動など設定しました。ご利用者の得意なことを活動の中で共有することができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>個別対応で安心できる環境を整えた後、集団の中でも個々の力を発揮していけるよう、引き続き、環境整備に努めます。</p>
<p>②-2 年度内に1回ご利用者面談を行い、ご要望をお聞きして、より良い支援につなげます。面談方法は、対面、電話のアンケートを取り、実施していきます。</p>	<p>ご家族やご本人の要望を確認し、面談の中で再確認できました。対面面談に限定せず、電話での面談を実施することで幅広い時間設定の中で、無理なく実施することができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>引き続き、実施していきます。</p>
<p>②-3 ご利用者の活動内容をご家族に見学していただく場の設定や活動の情報を提供する機会を作ります。</p>	<p>各グループでアンケートにて見学日や活動内容をご希望を調査し、できる限りご希望の活動見学ができるよう設定しました。花の郷で生き生きと活動に参加される様子を見ていただくことができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>引き続き、実施していきます。</p>
<p>②-4 感染症対策をして、安心して活動の提供をできるようにします。（手洗い、うがい、フェイスシールド着用、換気など）</p>	<p>昨年度からの基本的な感染対策は継続し、施設内で感染が広がらないよう配慮しました。同居家族の方がインフルエンザなどの感染症になった場合、自主送迎、個別対応で受け入れを実施しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>感染対策に配慮しながら、安心して通所できる場を保障できるよう努めていきます。</p>

<p>②-5 入浴支援を実施していきます。引き続き、整容PT、ボランティアPTを実施し、花の郷でより充実した時間を過ごせるようにします。</p>	<p>条件付きですが、入浴支援を実施しました。整容PTでは、出張美容サービスルピナスに訪問していただき、カットを実施しました。ボランティアPTは、花の郷まつりの手伝いや、食事の準備や介助、クッキーのシール貼りなど行っていただきました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>引き続き、実施していきます。</p>
--	---	-------------------	-----------------------

【Aグループ】

<p>(1) 目標</p>
<p>① 安全・安心して過ごせるよう支援します。</p>
<p>② 心身の健康に配慮します。</p>
<p>③ 一人ひとりのニーズやペースに合わせた活動の提供を目指します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ご利用者一人ひとりに応じた支援を行い、安心・安全・安定した活動を提供します。</p>	<p>ご利用者一人ひとりに合わせた活動提供が出来るよう、活動の選択肢を増やし、安全に安定した活動を提供しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>①-2 支援者間で支援方法の共有をし、グループ全体で安全・安心な環境作りに努めます。</p>	<p>日々の支援の方法を常にグループ間で共有し、グループ会議等で意見交換を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>①-3 心の動きに配慮し、一人ひとりのニーズに合わせた支援を行います。ホール・グループ室を活用し、状況に応じて個別での支援や、少人数の支援を行ない、安心して過ごせるようにします。</p>	<p>特に体調面を考慮し、支援しました。必要な時は活動より休息を提案し、ご本人に必要な環境を提供しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>②-1 日々の生活（活動）の中で、看護師、ご家庭、グループホームと連携を図りながら健康の維持・増進に努めます。</p>	<p>体調に変化があった場合は、速やかに医務に報告し、ご家庭・グループホームと情報共有をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>

②-2 身体機能の維持に向け、睡眠、体重の把握、運動の保証をします。	園芸・散歩・ムーブメントなど、体を動かす活動や足湯を設定し、基礎代謝を高めました。体制が整わないため、ご利用者の1週間の散歩の回数を把握し、平等に設定できるようにしました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
③-1 一人ひとりの自主的な行動や発言を受け止め、可能性・経験の広がりにつながるよう支援します。	活動の中で、ご利用者の自主的な行動や発言が引き出せるよう支援しました。ご利用者の希望の活動を実施しました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます
③-2 ご利用者が楽しく、達成感を得られるような活動（生産、療育）の提供を行ないます。	引き続き生産活動として、パッキング作業を行いました。畑での収穫にも積極的に参加しました。療育活動の幅を増やし、いろいろな活動を提供しました。	実施できました。	水曜日の午後は1階のホールが空いているので、今後調整します。
③-3 クッキー、園芸などの生産、販売活動を通してご利用者の社会とのつながりを大事に支援します。	外部への販売の機会がほとんどありませんでした。数回テラスでクッキー販売を行いました。	実施しましたが、結果が不十分でした。	今後も引き続き継続していきます

【Bグループ】

(1) 目標
① 一人ひとりのニーズに合わせた活動提供をします。
② 安全に楽しく食事ができるよう工夫します。
③ 心と体の健康維持を図ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 生産活動や療育的活動の中で、個々の強みを活かした活動設定をします。	個々の能力に合わせてパッキング以外にも、お茶殻をほぐす作業や、花の種植えを取り入れました。郷祭りの準備では、レジンアクセサリー作りに取り組みました。	実施できました。	引き続き生産・療育両方の活動の中で、ご利用者ができることを模索し、得意なことを伸ばす内容にします。
①-2 生産活動の中で、社会とかかわることができるよう活動設定をします。	販売や納品の活動を行いました。テラス販売では通りかかる方に元気に声をかけていました。	実施できました。	納品や販売については、感染症状況を確認し実施していきます。

<p>①-3 感染症の状況に応じて外出を設定し、自ら選択する、購入する、金銭のやりとりを行う等の機会を提供します。</p>	<p>ラウンドワンのボウリング・カラオケ外出や、多摩センターヘイルミネーションを見に行きました。午後の活動時間でマックへ行き、注文や、金銭の支払いを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続きみなさまが楽しむことができるような外出を企画します。</p>
<p>②-1 摂食に関する知識を共有し、一人ひとりに合った食事支援を行います。</p>	<p>専門職から頂いたアドバイスを元に食事介助マニュアルを作り、グループ全体で共有しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き日々の支援の中で摂食支援にも取り組んでいきます。</p>
<p>③-1 安定して過ごせるように、その日の体調や気持ちに合わせた支援を行います。</p>	<p>連絡帳の記載やご本人の様子を見ながら、その日の体調や気持ちに合わせて活動設定を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き体調や気持ちに合わせた活動調整を行います。</p>
<p>③-2 てんかん発作や体調不良時は、看護師やご家庭、ホームと相談しながら迅速且つ適切に対応します。</p>	<p>発作時は安全に注意して対応しました。また体調不良やけがを確認した時には場合によっては看護師に相談し、連携して対応しました。寝不足の際は活動内容を変更し、安静に過ごせるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き発作、体調不良時は適切に対応します。</p>

【Cグループ】

(1) 目標
① ご利用者が安全・安心して過ごせる環境を整えます。
② 充実した活動を提供します。
③ 一人ひとりの健康維持を支援します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 支援者が連携し合い、環境整理をし、転倒事故やその他事故防止に努め、安全・安心な環境づくりに努めます。</p>	<p>転倒事故はありませんでしたが、気管カニューレ自己抜去事故、他害事故がありました。事故検証を経て、職員間で共有し再発防止に努めました。その他、全安心な環境づくりに努め、ヒヤリハットも共有しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>ヒヤリハットの活用しやすい環境作り、事故防止の為の更なる職員意識の向上。</p>

<p>②-1 創意工夫しながら活動を設定し、充実した楽しい活動を提供できるよう努めます。</p>	<p>ご利用者の精神面、体調に合わせて活動を設定しました。グループの小集団だからこそ、一人一人にスポットを当て、ニーズに合わせた活動設定をすることができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>ご利用者にあった更なる活動の工夫。</p>
<p>③-1 体の取り組みや散歩を定期的実施し、心身ともに健康維持を図ります。</p>	<p>散歩は安全に出かけることができる体制を整えて実施しました。また、PTからアドバイスをいただくことで、ご利用者の現状に合った体の取り組みを実施することができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>体の取り組みを行う時間、人手の工夫。</p>
<p>③-2 ご利用者の様子観察を行ない、健康状態や様子の変化の把握に努めます。また、看護師や専門職との連携を図り適切な対応をします。</p>	<p>記録表を用いて、てんかん発作や排泄の記録等について、ご家庭やグループホームと共有しました。ST、PTの評価、助言を支援に活かしたり、日々のご利用者健康面について看護師と共有しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>年齢と共に変化する摂食機能の観察。口腔内の健康維持。</p>

【Eグループ】

<p>(1) 目標</p>			
<p>① 障がい特性を理解し、健康面に配慮をします。</p>			
<p>② 安全で楽しい食事を提供します。</p>			
<p>③ 充実した活動を提供します。</p>			
<p>(2) 計画</p>	<p>実施状況</p>	<p>評価</p>	<p>今後の課題</p>
<p>①-1 一人ひとりの体調に合わせた生活ペースを大切にします。</p>	<p>ご利用者個人の意思や体調、ペースを尊重しながら、無理のない範囲で集団生活を送れるように配慮しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>安全性の確保、より快適なスペースの確保について考えていきます。</p>

<p>①-2 看護師と連携し、認定特定行為業務従事者が安全な医療的ケアを実施します。</p>	<p>口鼻腔吸引、胃瘻、経鼻胃管などの医療的ケアに関して、第三号研修を実施し、看護師と協力して安全に配慮した医療的ケアを行いました。 また、カニューレフリーの気管切開部の吸引も看護師のもと支援職員も安全に実施しています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>積極的に医療的ケア者との関わりをもち、看護師と連携しながら、添乗、フォロー等に入れるようにしたいと考えます。また、他グループに異動になった職員であっても定期的に、手技の確認を行います。</p>
<p>①-3 体調の変化や緊急時には保護者、看護師と素早く連携を図ります。</p>	<p>体調変化があった時や新型コロナウイルスの疑いなど、緊急時には保護者、看護師と連携を取り合いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続します。</p>
<p>②-1 安全に楽しく食事できるように支援します。</p>	<p>決まった時間に食事をし、和気あいあいとした雰囲気のなかで食事をしました。再調理はマニュアル化し、行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>ご利用者を交えた内容の会話を心掛けていきます。</p>
<p>③-1 ムーブメントや音楽、スヌーズレンなど感覚を刺激する活動を大切にします。</p>	<p>ムーブメントではブランコ、トランポリン、サーキット、陣取り等様々な取り組みを行いました。朗読では沢山の本を読みました。朝顔やマリーゴールドの摘み取り等ガーデニングも行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>よりご利用者に楽しんで頂ける療育的活動を検討していきます。</p>
<p>③-2 常に活動の工夫をしながら安全に楽しく参加できるようにしたり、外出や季節感のある行事を通し、豊かな時間を過ごせるようにします。</p>	<p>レクリエーションではご利用者がより関わりやすく楽しめる工夫をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>ご利用者に楽しんで頂く活動を検討していきます。</p>

【Fグループ】

(1) 目標
①一人ひとりの体調に配慮し、安定した生活、楽しく安全な食事を提供します。
②一人ひとりのニーズに合わせ様々な活動を設定し、充実した時間を過ごします。
③たくさんの人との関わりを楽しみ、人間関係を広げます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 ご家庭と連携し、看護師と相談しながら全職員で安心して生活できる環境を作ります。	ご家族や、看護師と連携を取り情報を共有しながら支援しました。必要に応じて看護師に相談し、安心安全に過ごせるよう環境を整えました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
①-2 一人一人に合わせた形態で食事を提供し、安全に食べられるよう食具や姿勢、介助方法を全職員で共有します。	安全に食事が出来るよう、一人一人に合わせた食事形態で提供しました。形態食の再調理を職員に共有しつつも形態食が提供できるようにしました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
②-1 一人ひとりのニーズや興味に合った活動を設定します。出来る事が増やせるよう支援しました。	一人一人が自信を持って出来ることを探しました。特性を理解し得意分野では幅が広がるよう提案し、苦手なこともチャレンジ出来るような環境を作りました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
②-2 安全に充実した活動を設定し、楽しく過ごせるよう支援します	安全に過ごせるようグループ室の環境を整えました。歩行などの妨げにならないようカットテーブルや椅子の場所を工夫しました。季節に応じた装飾をし楽しめる空間を作りました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
③-1 活動を通していろいろな人との関わりを楽しめるよう支援します。	沢山の職員とコミュニケーションが取れるよう、会議等でご利用者の情報を共有しました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
③-2 外出する機会を設定し、地域社会とつながる機会を作ります。	アンケートを基に外出先の選定、実施をしました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。

④-1 必要に応じ、面談やカンファレンスを設定します。また、関係機関との連携を図り、地域生活を支援します。	ST、PTのアドバイスをいただき職員に共有しました。また担当者会議に出席し、関係機関と情報交換することが出来ました。	実施しましたが、結果が不十分でした。	
---	--	--------------------	--

2. 生産活動部門

【クッキー】

(1) 目標			
① 新型コロナウイルスの感染状況に応じた販売、納品を設定し、地域社会とのつながりを広げていきます。			
② 品質の向上、新製品の開発により花の郷ブランドの向上を目指します。			
③ クッカ広場、花の家、委託販売先と連携を図り、販売を促進します。			
④ 工房の作業工程を見直し、多くのご利用者の作業参加を目指します。			
⑤ 年間売り上げ380万円を目指します。			

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 アグリハウス、テラスでの販売、クッカ広場、ダリア園の納品の設定を設定し、ご利用者が関わられるようにします。	納品はダリア園、クッカ広場へ納品に行きました。アグリハウスの販売は2回実施しました。	概ね実施できました。	テラス販売を実施します。
②-1 ご利用者の意見やお客様の声を大切に、品質の向上に努めます。	贈答用のBOXのかけ紙を草木染で染めた半紙にしました。1階のご利用者が半紙を染め、2階のご利用者が裁断機で切る作業をしました。	実施できました。	
②-2 工房会議を定期的に実施します。	定期的に実施しました。	実施できました。	
③-1 花の家やクッカ広場と協力し、委託販売、お中元、お歳暮を通して販売促進に努めます。	計画的にお中元、お歳暮の案内を配布し、作業することができました。	実施できました。	
④-1クッキー作りの作業を見直し、支援職員、工房職員とご利用者が参加出来る作業方法を考え、環境を整えます。	クッキー工房に入るための準備を整えました。次年度に向け、工房職員が支援のサポートを積極的に行うことを決めました。	概ね実施できました。	工房職員が支援に入り、クッキーに関わる作業のサポートに入る取り組みを運用していきます。

<p>⑤-1 委託販売や地域のイベントなどの出張販売に参加します。</p>	<p>花の郷まつり、赤い屋根まつりでクッキーの販売をしました。また、大蔵町内会の納涼まつり、鶴川北教会のイベントにも参加しました。年間の売り上げは400万弱となりました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-2 ホームページ、チラシ等を利用し、クッキーに関する情報を発信します。</p>	<p>イベント（クリスマス、ハロウィンなど）用のクッキーはチラシを配布しました。ホームページの内容を変更しました。</p>	<p>実施できました。</p>	

【草木染】

<p>(1) 目標</p>
<p>① ご利用者の作業意欲や持っている力を引き出せるよう支援します。</p>
<p>② 植物採集を通して五感に働きかけます。</p>
<p>③ 販売を実施し社会参加を支援します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 紙すきや紙の染色、紙パッキンや紙ちぎりなど、様々な作業を行うことで個々のニーズに対応し作業意欲を高めます</p>	<p>各グループでご利用者の能力に合った活動を提供しました。出来ることが増えるよう作業方法を工夫しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>①-2 ちぎる、すくう、押す、伸ばす、叩く、はがすといった作業工程を通じてご利用者のもっている力が発揮できるよう支援します。</p>	<p>作業工程を細分化しご利用者ができる作業から実施していくことで、作業能力を引き出すことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 植物を採集することで四季折々の草花に触れ、観たり匂いをかぐことで様々な感覚に働きかけます。</p>	<p>季節に応じて植物を育てたり、採取したりすることで五感に働きかけるよう支援しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>定期的な花の採集、年間を通したに草花の栽培を行っていきます。</p>
<p>③-1 ご利用者、購入者ともに満足のいく製品を作製し、社会参加意識と売上げ向上につながる支援を行います。</p>	<p>草木染の作業では、贈答用クッキーの緩衝材製作の為の作業が主でした。クッキー販売を通して、地域とのつながりを意識する機会となりました。</p>	<p>実施できました。</p>	

【園芸】

(1) 目標
① ご利用者が積極的に参加できる作業を提案します。また、作業を通じて運動量の確保、健康の増進に努めます。
② 他の生産活動との連携を図り、生産活動全体の収入増を目指します。
③ 花の郷敷地内の土地の有効活用を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 沢山のご利用者が園芸活動に関われるよう工夫します。それぞれの状態像に合わせ、車椅子で参加できる方法も提案します。	ご利用者の状態像に合わせた作業を提案しました。ご利用者の特性を理解し、それに合わせた収穫方法、車椅子のご利用者が楽しく参加できるように収穫を始め、仕事の方法を工夫して実施しました。	概ね実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
①-2 土運びや土ふるい等、体を動かす活動を行います。ご利用者の能力に合わせて出来ることを探し、作業の幅を広げていきます。	気候により外活動が制限されることがありましたが、無理のない範囲で運動量を確保しました。	概ね実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
②-1 クッキーに使う野菜の栽培、ペパーミントの管理をします。	今年度栽培した野菜をクッキーに使用することは出来ませんでした。ペパーミントは工房と協力し管理しました。	実施しましたが、結果が不十分でした。	今後も引き続き継続していきます。
②-2 室内の作業内容を見直し、雨の日も活動を保障します。	雨の日の園芸作業はあまり実施されませんでした、今後も室内作業の見直しが必要です。	実施しましたが、結果が不十分でした。	今後も引き続き継続していきます。
③-1 作業棟が様々な活動、会議等で使用できるよう、常に清潔に環境を維持します。	家族会などが行われる午前中の園芸の作業の際に、そうじ・机並べなどの仕事を行いました。が、整理整頓などの課題が残ります。	概ね実施できました。	今後も引き続き継続していきます。

<p>③-2 年間を通じて計画的に栽培と収穫が行えるよう、畑の使用方法工夫します。限られたスペースの中でも園芸活動に参加し、やりがいを感じてもらえるよう支援します。</p>	<p>限られた環境で野菜の栽培を工夫して行いましたが、気候や天候に左右され例年ほどの収穫ができませんでした。今後は課題として種植えなどの実施時期を見極め、事前に土壌を整え、収穫作業が沢山のご利用者に経験して頂いた上でやりがいを感じてもらえる様に支援します。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
--	--	-------------------	-------------------------

3. 医務部門

(1) 目標

① ご利用者と支援の安全に配慮した環境を整えます。
② ご利用者の個性を考慮した専門職との連携を強化します。
③ 医療的ケアを安全に実施できるよう努めます。
④ 防災に関わる備蓄や医療・看護について整備します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 健康に関わる支援を見直し、支援職員と環境・支援を整えます。</p>	<p>日々各グループに入り、健康ニーズの把握及び健康観察について職員と共有しました。主に電話面談や手紙等でご利用者の健康相談を実施し、支援職員と共有しました。感染予防として、水回り・食具取り扱いの環境整備を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>高齢化、二次障害、てんかん発作の変化等のご利用者の健康状態に、看護師一人ひとりが専門性を発揮できるようにしていきます。</p>
<p>①-2 緊急時・災害時等を想定したご利用者の医療情報を整理します。</p>	<p>預かり薬の管理を継続しました。他事業所の管理方法を情報収集しました。感染対策備品の備蓄を再点検し整理しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>災害時を想定した預かり薬の取り扱いと保管について、来年度、改めて整備します。</p>
<p>①-3 生命に関わる事故予防・早期発見・対策の学習会を実施します。</p>	<p>「命」の研修を行いました。摂食支援について、グループ職員とリスクを共有しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>支援職員が知りたい事や知っておくべきことを研修として継続していきます。</p>

<p>②-1 専門職に関わる基礎知識や技術を共有し、支援のサポートに努めます。</p>	<p>相談事業では、各専門職からの助言を支援に反映し、マニュアルにして活用できるよう、協力しました。今年度対象者を含め、相談を実施した全員の記録を確認しました。ご利用者のニーズに気づく視点について、支援職員に声掛けをしました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>相談内容が支援にきちんと反映されているか、潜在的ニーズをどのように捉えるかを、支援職員と共有し続ける必要があります。</p>
<p>②-2 看護の専門性を支援に反映できるよう看護師会議で共有します。</p>	<p>看護技術に関わる最新のエビデンスを共有したり、身体拘束等施設としての取り組みを共有しました。日常タイムリーな情報共有として、送迎添乗・検温終了後に毎日ショートミーティングを実施しました。15時半以降に会議を設定することは、今年度の要ケア者の送迎状況から実施する事はできませんでした。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>看護師会議は日中に実施、毎日のショートミーティングを継続していきます。</p>
<p>②-3 施設看護師として地域連携に努めます。</p>	<p>受診同行・関係者カンファレンス等に参加しました。入院時等情報提供書を作成し提出したことで、退院に向けて主治医と連携がとれ、通所再開の受け入れを整えました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>要望がある時以外でもこちらから発信していく時間を計画的に確保します。</p>
<p>③-1 計画的に実地研修を行います。</p>	<p>実地研修対象者を明確にし、日々支援体制の調整と協力を得て、計画的に実施研修を実施することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>支援体制を考慮しながら、継続して実地研修を行います。</p>
<p>③-2 認定特定行為業務従事者が安全に業務継続できる環境を整えます。</p>	<p>認定特定行為業務従事者の研修マニュアルを作成し、運用しました。計画的にフォローアップ研修を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>認定特定行為業務従事者が安全に実施できるように、継続して計画的な実施ができるよう努めます。</p>

<p>③-3 関係するマニュアルを見直し、特例実施者の研修を強化します。</p>	<p>特例実施者研修用テキストを新たに作成しました。(酸素・カニューレフリー・複管)医療的ケアに関するマニュアルを一部改訂、その他、施設のマニュアルを現行に合わせて整備できるよう、全てのマニュアルを確認し、整備中です。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>看護業務以外に、看護師が関わる全ての委員会のマニュアルの改訂が必要です。</p>
<p>④-1 防災備蓄品を見直し、使用を想定した管理・使用方法を改善します。</p>	<p>簡易トイレ・口腔ケア・月経ナプキンなど、防災備蓄を増やし整備しました。クッキー工房に防災備蓄棚を新たに設置しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>医務室で管理している預かり薬他、救急キットなどの保管場所を統合し、緊急時・災害時に速やかに対応できる環境改善を行います。</p>
<p>④-2 災害時における感染症予防、災害関連死予防等、二次避難所としてできる事を看護の視点で考え、準備します。</p>	<p>「水が流せない時」の支援及び感染対策を速やかに実施し、マニュアルを作成しました。給食会議で調理員による炊き出し訓練を提案しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>必要に応じて、訓練・周知を繰り返すことがあります。</p>

4. 栄養部門

(1) 目標

- ① 季節感のあるメニュー、味付けや盛り付けの工夫、ご利用者の嗜好の反映等により美味しくて飽きのこない食事の提供に努めます。
- ② ご利用者個人にあわせた食物形態(形態食)での食事の提供に努めます。
- ③ 食事環境の整備、職員の衛生の徹底を図り、安全な食事を提供します。
- ④ 災害時、緊急時に備え、環境、体制を整えます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 季節の食材の使用や行事食を取り入れ、季節の感じられる食事を提供します。</p>	<p>野菜、魚、果物など旬の食材を使用した献立を意識しました。また、季節行事に合わせてこどもの日やハロウィン、クリスマスなどのメニューを献立に反映しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も、お食事を通して、季節を感じられる行事食を提供していきます。</p>

<p>①-2 嗜好調査（5月・11月）残食調査（8月・2月）を実施します。</p>	<p>・残食調査 8月21日～8月25日 2月26日～3月1日 ・嗜好調査 5月22日～5月26日 11月27日～12月1日 に実施しご利用者の嗜好の把握や献立メニューに反映しました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>今後もご利用者の嗜好を把握し、おいしく楽しい食事時間を提供できるよう、工夫していきます。</p>
<p>①-3 位置合わせを随時行い献立や食事内容の改善を行います。</p>	<p>花の郷栄養部門でその都度献立についての話し合い、改善を行いました。また、今年度は、栄養会議を3回実施し、厨房職員間で業務改善のため取り組む内容を決めました。マニュアル化されていなかったものを見て確認できるよう、文章、表等にしましたものを共有しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>今後も、定期的に話し合いを設定していきます。</p>
<p>①-4 リクエスト給食を実施します。</p>	<p>リクエスト給食は各グループご利用者に、昼食時に食べたいメニューなどアンケートを取り、献立に反映させました。保護者向け給食試食会は、感染予防のため実施を控えました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>感染予防を最優先しながら、保護者向けの試食会の実施については検討していきます。</p>
<p>②-1 個人個人にあった食物形態の食事の提供をします。[形態食（初期・中期・後期）普通食・アレルギー食・〇〇なし食・ダイエット食]</p>	<p>食札を使用してご利用者個々に合わせた食形態食やアレルギー食など間違えが無いように対応しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>提供できる食数を超えているため、形態食を提供できない分は、各グループにて支援職員が再調理し提供しました。</p>
<p>②-2 ニーズに応じた治療食の提供をします。</p>	<p>治療食の必要のあるご利用者については個別に作業指示書を作成し、ご利用者に合った栄養管理を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も必要に応じ、対応していきます。</p>

<p>③－１ 大量調理マニュアル及びハサップに則った衛生管理を行います。</p>	<p>ハサップに準じた形の衛生管理を実施しました。細菌検査、手洗いの徹底、中心温度測定、消毒、マスクの着用などを行い食中毒予防に努め安心して食べられる食事を提供しました。また、毎日の清掃、業者による清掃、年末の清掃など実施することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、継続していきます。</p>
<p>③－２ 給食会議を設定し、栄養部門の現状や課題を職員間で共有し、より安全な食事提供ができるよう努めます。</p>	<p>厨房業務終了後、調理正規職員、調理補助有期職員、栄養士、のほか、看護主任、または施設長が参加し、現状の共有、今後の課題等を話し合いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度は、4月、8月11月、3月に会議を予定しています。</p>
<p>⑤－１ 防災食の備蓄をし、災害時にも不安なく食事提供ができるよう準備します。</p>	<p>ご利用者60名分を想定した防災食の備蓄をしました。賞味期限を管理し、災害時に不足のないよう補充しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>7日分から10日分の備蓄ができるよう、準備していきます。</p>
<p>⑤－２ 防災食の日を2回設定し、食べる体験、提供する体験を継続し、災害時に備えます。</p>	<p>年2回、防災食の日に昼食として提供し、食べる経験、提供する経験をしました。給食と同様の盛り付けで提供され、ご利用者も抵抗感なく、食べることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、継続していきます。</p>
<p>⑤－３ 人員不足、材料不足、ライフラインのストップ等を想定した中で、食事提供訓練を行います。</p>	<p>被災時に、炊き出して食事提供をすることを想定し、防災食の日にかまどを作り火をおこす訓練を実施しました。また、職員の体制が整わない中でも安定して食事提供ができるよう、形態食の主食づくりを有期職員が出来るよう、工程の引継ぎをしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、継続していきます。</p>

委員会年間総括
 1. 虐待防止委員会

(1) 目標
① 虐待防止や身体拘束廃止に取り組みます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 虐待防止責任者を設置し、虐待防止に取り組みます。	虐待防止責任者を施設長とし、毎月虐待防止委員会の開催を行い、ご利用者の呼称ポスターの作製や職員会議資料にて虐待防止の啓蒙を実施しました。虐待防止委員会の中で身体拘束についての適正化に向けた検討を実施することができました。また、職員に虐待防止研修や強度行動障害支援者養成研修（基礎、実践）を受講してもらい、研修で学んだことを職員において発表をしました。	実施できました。	
①-2 毎月最終火曜日に虐待防止委員会を開催し、虐待や身体拘束防止の検討を行います	虐待防止チェックリストの配布集計、ケアカルテへの身体拘束の状況入力を行いました。	実施できました。	
①-3 虐待防止アンケートを実施し職員全体に虐待防止に関わる啓蒙活動を行います。	虐待チェックリスト集計結果を公表し周知しました。今年度はグループ毎の研修のほかに、eラーニングを用いた動画研修を全職員対象で実施し、研修の結果を集計しました。	概ね実施できました。	
①-4 12月、2月にグループ会議で虐待に関するケースカンファレンスを行います。	グループ会議にて、日頃の支援における虐待や身体拘束に関連するエピソードや小さな気づきの共有をしました。	概ね実施できました。	
①-5 会議録等は法令順守責任者である理事長へ報告をします。	会議録をデータで所定のフォルダーに入れ理事長時報告しました。	実施できました。	
①-6 会議で話された内容は職員会議を通して職員周知を行います。	虐待防止委員会や身体拘束適正化委員会で話された内容は、職員会議資料や正職のミーティング等で共有しました。	実施できました。	

2. 安全衛生委員会

(1) 目標
① ご利用者・職員の安全及び衛生のための教育を実施します。
② ご利用者・職員の健康の保持増進のための措置を行います。
③ 施設内の重大事故を未然に防ぐ事故防止に努めます。
④ ご利用者・職員が快適に過ごせる施設環境を整えます。
⑤ 感染症対策を徹底し、感染予防に努めます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 毎月定例の安全衛生委員会を開催し、利用者・職員の安全衛生及びひやりはっと事故防止に向けた取り組みを行うとともに緊急の課題が発生した場合はただちに対処します。	毎月定例の委員会他、随時開催することで、感染症の発症や事故対応について検討、方針決定をしました。委員会では課題と対応、周知などスケジュールを明確にしました。感染対策については、現状に合わせて制限の解除をしていきました。	実施できました。	ヒヤリハットの件数が減っています。積極的にヒヤリハットを共有し、事故を未然に防ぐ意識が必要です。
①-2 研修会（こんな時どうする？）、会議（感染症、事故防止、対策（年2回）、腰痛、車いす操作）の定期開催のほか、職場のニーズに応じた学びの場を作ります。	「命の研修」というテーマで、ご利用者の急変リスクや対応についての研修を実施しました。	実施できました。	今後も、施設内で発生する事案について、未然に防ぐための取り組みを実施していきます。
①-3 職員が安全安心して働ける労働環境の整備をします。	安全衛生委員会で検討が必要なケースについては随時検討、確認を行いました。面接等で発見した課題については、必要に応じ委員会でも共有し、対策の検討をしました。	概ね実施できました。	職員一人一人の状況を把握することはできませんでした。
②-1 嘱託医と連携を取って安全・衛生面の向上に努めます。	月1回の定期健診や医療支援の相談等その都度連絡をとり、安全に安心してご利用者が花の郷をご利用いただけるように努めました。	実施できました。	
③-1 施設内での事故及びひやりはっとについて検証し、原因及び再発防止に努めます。	毎月月締めで月ごとのひやりはっとの確認を行い、情報の共有を図ることができました。また、車両事故、ヒヤリハットについてドライブレコーダーによる事故検証及び事故防止の啓蒙を行いました。	概ね実施できました。	ドライブレコーダーが機能しているか、適宜確認し、必要に応じ、SDカードの交換を行う。

<p>④-1 施設内の安全、快適な環境整備について維持し更に改善します。</p>	<p>各事故検証会議において事故の原因再発予防に努めました。重大事故につながる可能性があるケースについては、具体的な対策を安全衛生委員会から発信し、対応を実行しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 事故につながる前のひやりはっつについて職員に意識してもらうように啓蒙し、用紙に記入、分析したものを集計し、事故防止につなげます。</p>	<p>ヒヤリハットの件数が減少傾向にある際は各部署に再アナウンスし、職員に意識を持ってもらうように努めました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>委員会前のひやりはっつの確認及び件数減少について対策が必要です。</p>
<p>⑤-1 事業所における施設感染予防マニュアル・指針・BCPに沿った運用を行い必要時、改訂します。掃除や再調理等小項目のマニュアルを見直し、より精度の高い内容に改訂します。</p>	<p>BCPの内容や更新について、会議内で確認しました。また、各部署で全職員が参加できるように資料を準備し、研修、訓練を実施しました。緊急対応として形態食、注入食を現場再調理で実施する機会がありました。今後活かすため、実施した内容を総括し、現場再調理のマニュアルを作成しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>BCP、マニュアル等、現状に合わせて見直しや更新をしていく。</p>

3. 医療的ケア委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>① 医療的ケアを適切に行うために委員会運営を行います。</p>
<p>② 実施者の知識、技術向上に関する教育を適宜行います。</p>
<p>③ 認定特定行為業務従事者、特例実施者が安全・安心に医療的ケアができる環境を整えます。</p>
<p>④ 第3号研修及び医療的ケア、緊急時対応の研修を実施していきます。</p>
<p>⑤ 医療的ケアの啓蒙を行います。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 毎月1回、委員会を開催し、適切に医療的ケアが実施できているか確認します。</p>	<p>毎月1回開催し、認定特定行為従事者、特例実施者の医療的ケアに関する現状確認、要医ケア者の現状確認、検討事項として、たんの吸引等の実施の為の研修内容の確認等々検討し、また、医療的ケアに関する研修に関しても情報を共有するようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>①-2 適宜、医療的ケアの内容の確認や変更事項やご利用者の体調の把握に努めます。</p>	<p>看護師や各フロアの主任に医ケアの内容や確認、変更事項、体調把握に関する報告をしてもらい、内容によっては検討し情報を共有し、安全に医療的ケアができるように努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 医療的ケアに関する研修への参加の機会を認定特定行為業務従事者及び特例実施者に設けます。</p>	<p>正規職員、有期契約職員に対して認定特定行為業務従事者になるための研修を実施しました。また、異動した正職などの吸引、注入のフォローアップ研修を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 医療的ケアを実施する場面で、手技や配慮する点などの看護師によるOJTや確認を実施します。</p>	<p>日常の支援の中で看護師と同じ空間でご利用者支援をしているので、随時看護師によるOJTや確認を実施し、安全に医療的ケアができるようにしました。また、送迎時のみ吸引をする職員には別途看護師の元、手技の確認を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-1 職員にマニュアルの周知徹底を図ります。</p>	<p>4月9日特定職員研修、てんかん発作時の座薬挿入研修の実施しました。 認定特定行為業務従事者研修は、5月15日と9月5日に経験者、未経験者に分けて2回実施しました。それぞれの特徴に合わせて学習を深めることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 情報提供を行うことによって指導医と主治医の連携の強化を図ります。</p>	<p>ご利用者の体調の変化や入院等があった場合は指導医に必ず報告し、また、主治医に意見や情報を確認したい場合は書面にて連絡を取り合い、ご利用者の状態をしっかりと把握し、支援することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	

③-3 法人の医療的ケア指要項に基づいて花の郷医療的ケア要領、細則の運用を行います。	法人の医療的ケア実施要項に基づいて花の郷医療的ケア要領、細則の運用を行い安全に花の郷での医療的ケアを実施することができました。	実施できました。	
④-1 計画的に研修を実施し、健全、確実な運用を行います。	年間計画に沿ってに実施しました。花の郷内部での認定特定行為業務従事者の育成を計画的に行うことができました。	実施できました。	
④-2 職員に認定特定行為業務従事者の認定を取得してもらい、ご利用者の生活の保障等を目指していきます。	計画的に研修会を実施し、有期契約職員にも認定特定行為業務従事者の認定取得を計画的に実施できています。そのことをご利用者の支援に反映することができました。	実施できました。	
⑤-1 施設見学の受け入れや医療的ケアに関する研修や連絡会に参加します。	今年度、希望があれば施設見学や実習を実施しました。積極的な受け入れや研修参加はありませんでした。	実施しましたが、結果が不十分でした。	

4. 送迎委員

(1) 目標

① ご利用者が安心して花の郷へ通えるよう、安全な送迎業務に取り組みます。
② 「基本ルート表」に沿って毎月送迎車の運行を行います。
③ 総括を行い、送迎業務の見直しをします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 車検以外にもディーラーに依頼し定期点検を行い、また花の郷でも定期的な点検を実施することで、車輛の安全確保に努めます。	ディーラーに依頼し、6ヶ月点検、12ヶ月点検、車検を行いました。基本的に金曜夕方の送迎後から日曜にかけて実施することで送迎に支障が出ないよう配慮しました。	実施できました。	継続して車両の安全確保に努めます。

<p>①-2 車中ではシートベルトの他に、必要に応じて胸ベルトをすることで更なる安全対策に努めます。</p>	<p>ご利用者の特性や座る座席に合わせ、シートベルト以外に胸ベルトをするなど安全対策を施しました。また、個別支援計画にその旨を記載し、保護者にも確認をとりました。必要なご利用者に対してのジュニアシートの使用の検討を行いました。対象者のご家庭に資料を配布し、使用に対するご意見を募りました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続してご利用者の安全確保に努めます。</p>
<p>①-3 運転手は急ブレーキや急発進などをしないよう心がけ、安全な走行に努めます。</p>	<p>運転手はご利用者が安心して乗車できるように安全な運転を心がけました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>継続して運転手は安全な走行に努めます。ヒヤリハットや事故があった際は全員で共有して日々の業務改善に努めます。</p>
<p>①-4 車内では利用者の座席配置に気を配り、安全に過ごせるよう配慮します。</p>	<p>ご利用者の障がい特性に合わせた座席配置を行い、安全に過ごせるように配慮しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続して車内でのご利用者が安全に過ごせるよう配慮します。</p>
<p>①-5 緊急時におけるマニュアルを作成し、対応の統一を図ります。</p>	<p>緊急時の対応の統一化へ向け「送迎引継ぎ表」を作成しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も継続して使用し緊急時における対応の統一化を行います。</p>
<p>①-6 「運転手マニュアル」を継続して活用し、断続的に見直しを行います。</p>	<p>昨年度作成した運転手のマニュアル・添乗員のマニュアルを使用し、送迎車の運行を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も継続して使用し業務の統一化を行います。</p>
<p>②-1 送迎ルートは原則固定とし、年度途中での大幅な見直しは行いません。</p>	<p>新規ご利用者の追加を除き、大幅なルートの変更は行いませんでした。年度途中に送迎時間の効率化の為、一部ルートの変更を行いました。その際は影響があるご利用者に対し、事前に電話連絡にて時間変更の連絡をし、許可をいただきました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も原則、ルートを一年間固定します。必要がある場合は臨時的送迎会議を行います。</p>

<p>②-2 毎月10日前後に送迎連絡表（キャンセル表）をご利用者に配布し、翌月の送迎ルート表に反映させます。</p>	<p>毎月送迎連絡表を配布することで円滑に送迎業務を行うことができました。資源の使用の削減の為、希望するご利用者のみ毎月配布とし、そのほかのご利用者は、基本年始の一回のみの配布としました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も送迎業務円滑化のため希望者には送迎連絡表を毎月配布します。</p>
<p>②-3 ルート表は「基本ルート表」を基礎として運行します。</p>	<p>日々のルートは基本ルート表を基礎として運行しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き「基本ルート表」を基礎として運行します。</p>

5. 防災委員

(1) 目標

<p>① 花の郷関係者の防災への意識を高めます。</p>
<p>② 災害時の食事を体験します。</p>
<p>③ 応急救護訓練の実施をします。</p>
<p>④ 災害備蓄品の見直しを行います。</p>
<p>⑤ 災害時のマニュアル等の整備を行います。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 年2回総合防災訓練を実施し実際に火災が起きた場合の自衛消防隊の動きの確認、消火器の使い方、通報の仕方、避難の仕方を確認し、防災への意識を高めます。</p>	<p>年に2回、総合防災訓練を実施しました。実際に避難訓練を行い、防火管理者による消火器使用の説明事務所内内線を使い通報訓練を実施しました。ご利用者、職員の防災への意識が高めることができました。今年度設置したプロパンガス式の発電機の説明を防災訓練時に行いました。防災訓練の前にBCPの見直しを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>地域の防災訓練に参加し、地域と協力した災害対策を検討していきます。</p>
<p>②-1 年1回炊き出し訓練を行い、防災備蓄品の調理の仕方の確認、ご利用者への適切な食形態への対応の練習、かまどなどの設置の確認を行います。</p>	<p>防災食の日に厨房職員を中心にかまどを作り火をおこす訓練を実施しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>炊き出し訓練の実施や厨房で調理ができないときの食事提供の方法を検討していきます。</p>
<p>③-1 防災備蓄品に二時避難所として必要な物品を再確認します。</p>	<p>防災備蓄食材を中心に購入し、備蓄することができました。（形態食含む）</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>貯蓄量を計画的に増やしていきます。</p>

④-2 用途別、期限の有無、追加備品などの整理を行います。また、内容について管理していきます。	備蓄食材の在庫管理を行いました	概ね実施できました。	貯蓄量を計画的に増やしていきます。
⑤-1 9, 2月に防災委員会を開き、施設及び設備の点検、防災倉庫の整理、花の郷災害マニュアルの作成、花の郷二次避難所開設マニュアルの整備等を行います。	新たに必要となったマニュアルの作成をしました。	概ね実施できました。	二次避難所開設マニュアルの見直しが必要です。

6. 花の郷祭り

(1) 目標			
① 年一回の施設の開放と大きな地域交流の場として花の郷関係者及び地域の方々にも楽しんでいただけるようにします。			
② 地域の方々に来ていただくためにPR活動を行います。			
③ 安全に楽しめるように企画します。			

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 ステージ企画や模擬店を通じて地域の方々の交流の機会を設けます。	今年度もステージ演奏を企画しました。他に、ステージ企画として着ぐるみによるじゃんけん大会を行いました。地域の方々も沢山参加していただくことが出来ました。少年野球チームや他事業所の模擬店、生協の試食コーナー、キッチンカー等にも出店してもらい、地域との交流を深めました。	実施できました。	ステージ出演団体の選定、依頼法。
①-2 他団体に声をかけ、イベントや外の販売ブースなど充実できるようにします。	他事業所の赤い屋根、森工房、少年野球チームの鶴川イーグルスターズ等の他団体に声を掛け、販売ブースを充実させることができました。また、クッキー販売、ゲームコーナーでお菓子すくいなどおこないました。	実施できました。	収益を得るための販売の検討。

②-1 ポスターやビラを作成し、近隣へ配ります。	近隣へのビラ配りは行わず、ポスターを大蔵町町内の回覧板や掲示板に掲示してもらうように依頼しました。他事業所や関係者にも案内文と併せ、ポスターの掲示依頼を郵送しました。	実施できました。	
②-2 ご利用者の活動とも連携し、計画的にビラの配布を行います。	近隣の施設にポスターを届け、掲示していただきました。活動の中でご利用者と一緒に行くことも出来ました。	着手できませんでした。	
③-1 花の郷祭り実行委員会を開催し、企画の立案と安全かつ効率的に運営できるようにします。	感染防止対策の為今年も、屋外開催での企画運営を進めました。天候によっては臨機応変に対応できるように、祭り実行委員で話し合いを行い、運営者に確認を行いました。	実施できました。	
③-2 ご利用者、職員全体が主体的に楽しく、達成感が持てる関わりができるよう企画します。	ご利用者が参加し、準備した自主制作の販売コーナーを設けました。じゃんけん大会は目で見てわかりやすいよう、プラカードや手で出せない方用にペーパサートを作り、誰でも参加できるように準備しました。昨年20周年の節目でTシャツ制作をため、今年から新しいデザインのTシャツを販売しました。	実施できました。	

7. 日中一時支援

(1) 目標

① 今まで日中一時支援の仕組みを再考します。

② 日中一時支援中のご利用者の過ごし方及び送迎について検討します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 までの日中一時支援について改善点を検討します。	職員が送迎業務が入ることが多く、受け入れ体制が整わなかったが、ご家族の通院など、緊急時のみ、日中一時を実施しました。	実施しましたが、結果が不十分でした。	体制が整い次第、コロナ禍前のように受け入れできるか検討する。

①-2 日中一時支援の内容、業務について改善点を検討します。	実施出来ませんでした。	実施出来ませんでした。	運営会議で業務についての改善点を検討します。
②-1 日中一時支援検討委員会の中で過ごし方について検討します。	実施出来ませんでした。	実施出来ませんでした。	運営会議で検討します。

2025年度 ボワ・アルモニー

経営計画

(1) 目標
目標1. 心も体も健康に働き続けられるよう支援します。
目標2. ご利用者中心で作業を行えるよう、作業工程や分担の見直しと検討を行い、作業自立度の向上を目指します。
目標3. 個別支援マニュアルの作成、ケース検討会議等を行い、ご利用者の理解を深められる取り組みをしていきます。ケース検討や学習の機会を通して職員の支援の質の向上を図り、ご利用者の障がい特性に応じた支援が提供できるようにします。
目標4. 地域資源としての施設の有効活用を行います。
目標5. 適正収支を確保し、安定した事業所運営を目指します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -①医務部門と健康面での情報共有と連携を図りその日の体調や心身の変化に対応できるようにします。	施設主導で健康診断の機会の提供、歯科検診、ブラッシング指導、定期的な体温測定、バイタルチェックを行い保護者等にお知らせし、ご家庭と協力しながら健康面の維持に努めました。またご利用者に作業面、生活面等での困りごとを傾聴すると共に情緒面の不安を取り除けるよう様子観察を行い、心身の安定に配慮しました。	実施できました。	高齢化に伴う、健康管理・身体機能低下の把握が課題です。
-②ご利用者の状態像に合わせた作業提供ができるよう、レイアウト等の環境設定や作業工程の工夫・検討をしていきます。ご利用者の体力、腰痛などの身体への負担に配慮して無理なく作業に取り組めるようにします。	情緒面に不安を抱えているご利用者には、席の配置を個室にするなど不安の助長を防ぐ対策を講じました。体力面や体調（腰痛、機械音等）に支障がある方には、作業工程や作業の種類を鑑み、負担を軽減できる作業を提供しました。	実施できました。	次年度も継続します。

<p>(2) 日① これまで職員が作業時間外に多く担っていた作業準備、機械操作等の作業を、ご利用者が中心に取り組めるよう、作業工程や作業分担を見直します。作業自立度を上げ、一人一人のできる力を伸ばしていけるようにします。ご利用者中心に作業時間内に作業を行い得た収入により、適正な工賃の支払いができるよう取り組みます。</p>	<p>ご利用者自身の自立度を上げるべく、これまで職員が担ってきた作業を少しずつ時間を掛け職員の補助の元、取り組みました。その結果、作業工程の80%程度をご利用者が担うことができ、工賃水準も維持できています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(3) 日① ご利用者一人一人の理解を深め、個人に合った支援の提供と職員の支援の質向上のため、個別の支援マニュアルを作成します。作成したマニュアルは職員全体で確認し、有期職員を含め全体で共有します。また、実習生や異動や入職等で職員が入れ替わった際にも一定の質を保って支援できるよう活用していきます。5月から担当が作成したマニュアルの確認会議をおこない順次運用していきます。</p>	<p>ご利用者を取り巻く環境（家庭環境の様子、社会サービスの利用、行動特性等）を再確認すべく、支援職員を中心にマニュアル作成をおこないました。マニュアル作成後は、支援方法の検討を行い、全職員に周知出来るよう取り組みました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>一② 年間を通し、ご利用者全員のケース検討を実施します。課題や目標向上のための検討を行い、行動の背景を理解した適切な支援が提供できるようにします。</p>	<p>マニュアルや夕礼等で日々の様子を確認し対策を講じました。ケース検討会も実施し、チームで検討できる機会も作りました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(4) 日① 二次避難所として整備をしていきます。</p>	<p>有事の際を想定し、二次避難所の準備を町田市等が主催する二次避難所防災会議の参加や打ち出される方針を周知し、準備をしました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(5) -① 残業代等の削減も含め、人件費率を75%以内にします。</p>	<p>ご利用者の自立度向上に向け取り組んだ結果、ご利用者が帰宅後に行っていた作業準備も大幅に軽減され、残業も少なくなりました。支援職員の欠員という事情もあり結果的に人件費の75%以内という目標は達成されました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>支援職員の補充を第一義と捉えつつ、人件費比率の達成を念頭に取り組んでまいります。</p>
<p>-② 保守契約の見直し、水道光熱費、事務消耗品（白黒印刷、ペーパーレス化等）の無駄を省き、コストカットを徹底します</p>	<p>保守契約業者の見直しにより定型保守費の削減が実現できました。日常必要が無いと思われる電気等を消すことやカラー印刷が必要ない際の白黒印刷、裏紙の使用等、細かな節約を積み上げました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>-③ SDGsを意識した取り組みを行います。</p>	<p>昨年に引き続き、サステナブル（持続可能）な資源循環を意識し、本体、分場の作業時に出る段ボール等の紙類をゴミとしてではなく資源として捉え、根岸町内会様に協力するスタイルで、再生紙として活用できる取り組みました。（根岸町内子供会の収入に充てられる）</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

就労継続支援B型

1. 支援部門

<p>(1) 目標</p>
<p>目標1. 地域との関わりを持って生活できるよう支援します。</p>
<p>目標2. ご利用者の作業面、生活面の自立度の向上を目指し、支援します。</p>
<p>目標3. 質の高い支援を職員全体で考え実行するための専門性の習得、資質の向上を図り、サービスの向上に努めます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 行事を通して地域の方々の交流の実施やみんなの会で実施する美化活動を通して、地域貢献を行います。</p>	<p>地域や支援学校との生徒、保護者の方に広くアルモニーをお伝えしたく公開作業を実施しました。また近隣の美化活動にも取り組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>公開作業に於いて、近隣の方がへの周知が不十分で、見学者が少なかったことが課題です。今後は案内の工夫を検討してまいります。</p>
<p>(2) ㊦① 生産活動を通して、「作業自立度の向上」と「生活自立の向上」を念頭にご利用者の状態像や目標に合わせ作業内容や作業環境を職員で検討・共有を適宜行ないます。</p>	<p>ご利用者の状態に合わせ、適宜、作業環境を調整・設定しました。またご利用者自身の自立度を上げるべく、これまで職員が担ってきた作業を少しずつ時間を掛け職員の補助の元、取り組みました。その結果、作業工程の80%程度をご利用者が担うことができ、工賃水準も維持できています。同時に作業以外の身だしなみや言葉遣い、掃除の時間の取り組み方等生活の自立度にも着目し取り組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) ㊦① 各職員の目標管理に基づいて、外部・内部研修に参加し研修報告や会議等を実施し、専門職として必要な知識や専門性を身につけます。また質の高い支援を提供できるようご利用者一人一人のケース検討会を行い、チームで共有し、検証し、試行を重ね取り組んでまいります。</p>	<p>各職員に外部研修の機会を提供し受講を促し、専門職の知識や専門性の工場に努めました。毎日の夕礼や不定期にケース検討会を取り入れチームで共有しながら支援の質の向上に繋がっています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

2. 生産活動部門 (就B)

(1) 目標

- 目標1. “働く”ことから「生きがい」「やりがい」が実感できるよう支援します。
- 目標2. ご利用者の技術向上を図り、出来る作業を増やし作業自立度80%を目指し、工賃アップに繋がっていきます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>【全体】 (1) -①毎月の作業実績・売上をグラフに表し、みんなの会で発表し仕事の達成感を共有します。</p>	<p>売上をグラフ化し、支援会議での報告、検討、食堂の掲示板に掲示し、みんなの会にて報告をしました。B型に関しては、意識を高めるべく昨年度の平均工賃と今年度の目標金額を張り出しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -①個々のスキルや目標を、作業の納期や作業量に合わせ、ご利用者の作業分担を検討、個々に設定し実施していただきます。</p>	<p>自立度の向上に向け、資材準備、機械操作、検品作業、宛名入力・チェックに挑戦する機会を提供し取り組んでいただきました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>【就労継続支援B型】 (1) -①ご利用者が毎日意欲を持って、個々の持つ力を大いに発揮していただけるよう、作業の組立・工程の工夫、個別スペースを活用し作業を実施します。</p>	<p>ご利用者像に合わせ、各々の力が充分に発揮できるよう職員間で、話し合い作業提供を行いました。苦手としている作業の際は、職員が個人々にフィットした取り組み方をご利用者と共に考え工夫し試行を繰り返しました。より集中して取り組めるようご利用者と相談し、またレイアウトや声の掛け方、見通しをつけ易くする為の表示等も行い、モチベーションを保てるようまた、意欲的に取り組めるよう支援しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -②その日の作業量の目標数を掲示して達成感を感じられるようにします。</p>	<p>一日の目標をご利用者と職員で相談しホワイトボードに目標数を記入し意欲的に取り組むことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(2) -①各ご利用者の技術向上を図り、新たな作業・機械操作にもチャレンジしていただき、作業自立度を80%にします。</p>	<p>従来行っている、封入作業、宛名貼り作業に加え下記の取り組みも行いました。 ○冊子を出し並べる作業、PP袋・紙封筒の50単位の仕分け等の資材準備作業 ○封緘機、丁合機、紙織機、係数カウンター機等の作業機械操作 ○宛名入力、チェック、割符の記入等の作業 職員がご利用者の状態像に合わせて、時間を掛け、作業に取り組む際に何がネックになっているかを確認し丁寧に支援した結果、すべてのご利用者の自立度向上に繋げることができました。 作業自立度80%達成できました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -②受注量120,000通/月以上、収入月平均1,000,000円/月以上を目標とします。</p>	<p>受注量は月平均100,000通、収入は月平均1,000,000円以上となりました。平均工賃は40,000円以上を達成しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>ご利用者の自立度の向上を図る為、より沢山の作業提供を行います。</p>

生活介護

1. 支援部門

(1) 目標
目標1. 職員の専門性と、資質の向上を図り、障がい特性に応じた支援を提供します。
目標2. 余暇活動を設定し、作業面以外でも楽しさを感じ、働くことへのモチベーションを高めていけるようにします。
目標3. 地域との関わりを持って生活できるよう支援します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) 日① 日々の振り返りをしながら、作業工程の見直しや対応方法の検討をします。 有期職員を含めて打ち合わせを行い、一日の流れ、支援面の情報共有を行い支援の統一を図ります。</p>	<p>生活介護での朝の打ち合わせの際、全職員で一日のスケジュール、ご利用者の状態等を確認し、情報共有しました。特に、特記事項やご利用者の対応について変更や留意点がある時には、勤務日の違う職員にも情報が伝わるよう、前日の流れについても共有するようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② 学習会の機会を設定し、参加できない職員に対しても内容を周知し支援力の向上を図ります。外部の研修に参加した際は、フィードバック研修を実施し、参加職員の振り返りを含め知識を深めていけるようにします。</p>	<p>有期職員を含めた学習の場の設定はできませんでした。「就B」との共有する内容ですが、研修参加者のフィードバック研修については全体での学習となりました。一方で、研修参加全てのフィードバック研修の定着までできていなかったため、課題が残ります。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。 研修のフィードバックが確実にできるようなスケジュールを明確にして実施できるようにしていきます。</p>
<p>(1) -③ 各職員の目標管理に基づいて、Web研修や外部研修に参加し、研修報告を会議などで実施し専門職として必要な知識や専門性を身につけ、適切な支援ができるよう努めます。</p>	<p>目標管理に基づいたe-ラーニングの積極的な活用までは至りませんでした。外部研修については、Web研修に参加し概ね実施できました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。 職員の欠員状態が続く、全職員が参加できていないため、研修参加が消極的にならないようにしていきます。</p>
<p>(2) -① ご利用者のご希望を取り入れ、毎月2回の余暇活動を計画、実施します。</p>	<p>年間予定に則り実施できました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(2) -② 季節や伝統を感じられる活動や制作、クッキングなどを設定し、作業だけではない楽しさや他者との関わりを大切にします。余暇活動を通し、充実感や満足感を感じて作業への意欲につなげていけるようにします。</p>	<p>クッキングではメニューをご利用者に選択していただき決定したり、ご利用者の意見も取り入れた内容で実施できました。制作も季節感のあるもの、作って楽しめるものを意識して計画しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -① みんなの会で実施する美化活動を通して地域貢献を行います。</p>	<p>生活介護のレクの中に「美化活動」を取り入れて実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

2. 生産活動部門（生活介護）

<p>(1) 目標</p>
<p>目標1. “働く” ことから「生きがい」「やりがい」が実感できるよう支援します。</p>
<p>目標2. ご利用者の技術向上を図り、出来る作業を増やし作業自立度80%を目指し、工賃アップに繋げていきます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>【全体】 (1) -①毎月の作業実績・売上をグラフに表し、みんなの会で発表し仕事の達成感を共有します。</p>	<p>毎月作業実績・売上を掲示し、みんなの会で売上を発表しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>【全体】 (1) -②個々のスキルや目標を、作業の納期や作業量に合わせ、ご利用者の作業分担を検討、個々に設定し実施していただきます。</p>	<p>個々の能力に合わせた作業内容を提供しつつ作業の納期により内容を調整しました。作業量が少ない際には新たな作業に取り組む機会を増やしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -①作業の中で新たな工程にチャレンジしたり、できることが増えることを通し、働くことの大切さや楽しさを感じ、達成感や満足感に繋げ意欲の向上につなげるようにします。</p>	<p>今まで取り組んでいなかった作業に積極的にチャレンジしていただきました。繰り返し取り組む事で作業の精度も向上し、達成感に繋がりました。また好きな作業や得意な作業を中心に提供することで働く事の楽しさに繋がりました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(2) -②ご利用者の状態に合った作業や、工程の工夫をしながら、できる作業の幅を広げていけるようにします。平均工賃7,200円を目標に取り組みます。</p>	<p>ご利用者の状態や作業内容により、配置変更を行い、ペアで作業をしていただく事や自助具を活用する事で、作業の幅が広がりや、ミスも減少し作業のペースの向上に繋がりました。支給額についても、平均9,295円で目標平均工賃を達成することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
---	---	-----------------	-------------------

3.栄養部門

<p>(1) 目標</p>
<p>目標1. 日本人の食事摂取基準を基本に、ご利用者一人ひとりに適正な栄養のある食事提供を行います。</p>
<p>目標2. 給食食材費(1食360円)を維持しつつ、年間を通して飽きのこない「心」も「体」も豊かさを感じられるランチ提供を目指します。保護者の方にも見ていただけるように試食会も行います。</p>
<p>目標3. 調理員の知識や技術の向上をはかり、危害分析重要管理点(HACCP(ハサップ))に基づいた衛生管理の徹底をして、安心・安全な食事提供をします。</p>
<p>目標4. 栄養サポートチームを立ち上げて、食支援や食育への取組の充実をはかります。</p>
<p>目標5. 災害時に備えて、通常通りの食事の時間に食数に合わせて温かい食事提供が出来るように、食事訓練を実施します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -①一人ひとりに適正な栄養目標量を設定して体重の変化を確認しながら食事の調整を行います。</p>	<p>毎月の体重測定結果を確認し、個別の栄養目標量を決定しました。個別の栄養目標量を考慮し、必要な栄養が摂取できる献立作成を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -②食事量を普通盛り、小盛り、ミニ盛りの3段階にし、やせ気味や食事量の多い方には大盛りご飯の提供をし、肥満の方(BMI25%以上)には、カロリー-33%減で食物繊維が豊富なマンナンヒカリ入りごはんを提供します。</p>	<p>適正体重に近づけて健康的に過ごせるように、個人の嗜好への配慮をしながら食事量の決定をしました。 肥満傾向のある方にはマンナンヒカリ入りご飯を提供しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(1) -③ アレルギー対応 の他、出来る限り個人の嗜好に合わせた食事を提供することで残食ゼロを目指し、必要な栄養が摂取出来るようにします。</p>	<p>嗜好に合わせて個別対応を行い、朝の打ち合わせで体調の確認を行い、必要に応じて食事形態や食事量の変更をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -①食材の価格変動に注意を払い、搬入業者からも情報をいただいて献立作成をします。基本的に生の野菜、果物や国産肉などを使用していますが、栄養価を下げないで食材費内で提供できる食材選びを心がけていきます。</p>	<p>今年度も食材の値上がりが止まらず、食材選びや献立の工夫をして給食食材費を維持することは出来ました。しかし、前年度までは乾物や缶詰、調味料などは災害時に備えて多めにストックしていましたが、給食費内で収まるよう補充を見送らざるを得ない状況になりました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>現在の給食の質を保ち、食材を購入していけるように次年度は給食費の改定をさせていただきます。</p>
<p>(2) -②年間を通して飽きの来ないように、旬な食材を用いた新メニューを取り入れて提供します。</p>	<p>旬の食材を使用し、季節感のある色彩豊かな食事提供を心掛けました。毎月新メニューを取り入れ、楽しみのある給食提供を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -③ 季節の行事食の提供、ご利用者一人ひとりの誕生会を誕生者のリクエストメニューで実施します。選択メニューやバイキングも実施します。</p>	<p>選択メニューや、ご利用者のリクエストメニューを取り入れた献立を作成し、誕生会を実施することが出来ました。ハロウィン行事食のスイーツバイキングは大好評でした。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -④誕生会の日程に合わせ、ご家族に試食会の招待状を配布させていただきます。ご利用者と一緒にランチを召し上がっていただき、食事の雰囲気や食事量、食事形態を見ていただく機会を設けます。</p>	<p>前年度から「誕生会&試食会」を再開し、年間で20名の保護者に参加をしていただきました。ご利用者と一緒に配膳から行っていただき、食事をしながら誕生日をお祝いをしました。アンケートでは、食事の味、量、色彩、盛り付けなどの評価をしていただきました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(3) 日①食中毒や衛生管理の勉強会の実施。新人調理員の育成の強化を図る。</p>	<p>栄養会議の議題に衛生管理やマニュアルの確認、研修報告などを取り入れて実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -②HACCPの考え方を取り入れて立てた衛生管理計画の表に「食材の品質」「冷蔵庫・冷凍庫の温度」「調理員の健康管理や衛生的な作業着の着用」「調理中の重要管理のポイント」など毎日記録をつけて確認をします。</p>	<p>出勤時や調理中に、それぞれの書式にもれなく記入をして、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の徹底をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -③清掃チェックリストに基づいた清掃の他、5月と11月に厨房内、食堂の大掃除を実施します。</p>	<p>5月は、外注食の日を設定し、厨房内の大掃除を実施しました。 11月は、給食提供をしながら大掃除を実施しましたが、少ない人員体制や、通常業務の合間を使う状態だったため1か月以上要してしまいました。厨房内、食堂、ベランダ、窓、外回り、トイレ、各種フィルター等を丁寧に掃除をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(4) 日① 栄養サポートチーム(管理者・看護師・栄養士・支援職員)を立ち上げ、健康面や給食の課題を他部署の職員と強い連携を図り、検討していきけるようにします。</p>	<p>管理者・看護師・支援職員・栄養士で、日々のご利用者の健康状態について共有することが出来てきました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(4) -②ご利用者の嗜好調査やアンケート結果、血液データや食事摂取量、摂取カロリーなどの再度確認をして、食事量や食形態が適切であるかをチームで判断していきます。</p>	<p>担当職員が得た、アンケートや通院等の結果を全体に情報提供することで、これまで栄養部門で考えていたことをチームで検討していくことが出来ました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(4) -③ 栄養サポートチームは必要に応じて食事中に、ご利用者の様子を観察して栄養状態や食事状況をより詳細に把握します。</p>	<p>食事中に気になる状況がある時は、看護師・支援員に様子を見るようお願いをしました。人材不足でその時間を取ることが難しい状況も多かったです。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(4) -④ 栄養サポートチームは③などで得た情報を元に、ご利用者の栄養状態や食事支援をよりよくするための改善策を会議で提案します。</p>	<p>食事の姿勢の保ち方や、早食い防止の改善策など話し合うことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(4) -⑤ 食育への取り組みについては、④の会議で提案されたものと、給食アンケートでお聞きしたご利用者の選んだ食育の希望から検討を行い、6月の食育月間の中で実施します。</p>	<p>嚙む回数が十分でないまま飲み込んでしまう早食い傾向の方は特に胃腸にも負担がかかってしまうので、看護師と栄養士を中心に6/23～6/27「胃腸の喜ぶメニュー」を提供しながら、嚙下体操や説明をすることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も内容を変えて食育を継続します。</p>
<p>(5) -①今年度に賞味期限がせまっている備蓄食材を召し上がっていただき、作り方やご利用者が食べやすい状態か等を確認します。状態像を基に、新たに備蓄食材を購入する時の参考にして選定していきます。</p>	<p>備蓄食品を提供する時は、レトルトパックや缶詰、使い捨て容器での食べづらさはないか、おいしいと感じて食べられるかなどを、職員にアンケートを取り、聞き取りをしました。また、実際のご利用者の喫食状況を見ながら、新たに備蓄食品を購入しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も賞味期限が切れる備蓄食品があるため、防災食訓練を計画します。</p>

<p>(5) -②災害時の起こる時間帯により食数の変動が大きいと思われる為、どの調理器具（炊き出し窯やカセットコンロ）を使用するか、調理工程と時間配分などを記録をとり防災ランチを実施します。</p>	<p>調理にかかる時間や人数の確認をしました。今年度購入した、「熱交換器」を炊き出し釜に設置して、災害時を想定した調理を行い給食の提供を行いました。また、少人数を想定し、「炊飯袋」を使用して、カセットコンロでごはんを炊くことも試行しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も、内容を変更して継続します。</p>
---	--	-----------------	---------------------------

みんなの会

(1) 目標

目標1. みんなの会でご利用者に関わる行事内容など、話し合う機会を設定し、ご利用者を中心に決定します。

目標2. ご利用者一人ひとりが自己表現・自己決定できる機会とします。

目標3. 地域美化活動を行います。

(2) 計画

計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -①ご利用者の意見を反映させ、良い行事となるようみんなの会で話し合う時間を作ります。</p>	<p>みんなの会でやってみたいことや聞いてほしいことを発表する場を設けました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -①行事の内容や参加を、ご利用者自らの意思で、選択する・設定するなど、自己決定できるようにします。</p>	<p>みんなの会で日帰りレクの行き先を決めるなど、自分たちで決定する機会を設けました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>意思決定できる機会を増やします。</p>
<p>(2) -②年度末にみんなの会 役員選挙を通じて、立候補することや他のご利用者を推薦する・されるなど、自身の自己表現・自己決定ができるようにします。</p>	<p>立候補者を募り、役員選挙を行い、来年度の役員をみんなで決めることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(3) -①地域の中で共に生活する一員として、社会貢献として地域の美化活動を実施します。</p>	<p>レクの一環として美化活動を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
---	----------------------------	-----------------	-------------------

保健衛生

(1) 目標
目標1. ご利用者の安心・安全を目指した健康支援を行います。
目標2. 歯科衛生に努めます。
目標3. 家庭支援としてご家族からの健康相談に応じます。
目標4. 感染症の予防に努めます。
目標5. 感染症が発生した場合であっても、サービスが安定的・継続的に提供されることを鑑み、務継続計画（BCP）に基づき、より重要な業務への影響を最小限に抑え、できる限り迅速に業務を再開できるように対応を進めて参ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 希望されるご利用者のみ健康診断を施設にて実施します。</p>	<p>鶴川記念病院に依頼し、町田市の成人検診受診券を利用し、希望者に対して健康診断を6月12日に実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来期については、10月1日に鶴川記念病院に依頼しています。</p>
<p>(1) -② 毎月体重・血圧測定を行ないます。</p>	<p>基本的に月末に本体、分場と分けて測定しました。その結果、値の高い方を中心に毎日10時と14時測定しご家庭に報告しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -③ 年に1度体脂肪率測定を行ないます。</p>	<p>健康診断受診時に体脂肪測定を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -④ 殺菌効果のある酸性水を使用し、うがいを行なうよう支援します。</p>	<p>通所時に酸性水でのうがいを実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(1) -⑤服薬管理を適切に行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常備薬の内容の把握 ・災害時用の3日分の服薬管理(4月・10月に差し替えを行ないます) 	<p>日々の服薬管理については、誤薬なく実施しています。常用薬の管理についても、ご家庭と連携を取り、把握した分については効能書の控えを管理しています。災害時の預かり分については、定期的な入れ替えを含めて実施できています。また、返却した薬の潰れや変性が確認された際は、必要な対策を取りました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>必要に応じて対策の変更も検討しながら次年度も継続します。</p>
<p>(2) -①昼食後の歯磨き支援は、ブラッシング指導内容を参考に対象者を決めて行ないます。</p>	<p>毎食後の歯磨きでは、ブラッシング指導内容を参考にし、必要な方に仕上げ磨きを行ないました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -②歯科衛生士によるブラッシング指導を実施します。</p>	<p>全員を対象に障がい者歯科の歯科衛生士によるブラッシング指導を9月16日、30日に個別に行いました。ブラッシング指導での内容をご家庭に報告書を配布し、歯科受診にも繋げました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -③原則全員のご利用者に成人歯科健診を実施します。</p>	<p>12月4日に実施しました。その結果に応じて、必要な方には医師受診を勧めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -①嘱託医による問診を実施します。</p>	<p>2月17日に実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(4) -①施設内のインフルエンザ流行を防ぐため、ご利用者・職員の呼びかけ、希望者に予防接種を実施します。</p>	<p>10月23日にインフルエンザ予防接種を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(4) -②感染予防のための手指消毒器によるアルコール消毒と常時マスクの着用を徹底します。</p>	<p>毎日手指消毒器の清掃点検を行い、アルコール液の残量も確認しました。ご利用者・職員ともにマスク着用を徹底し感染予防に努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(4) -③手洗いチェッカーを施設に設置し、7月、11月、3月に手洗い確認を実施します。ご利用者の皆様に正しい手洗い方法を習得していただきます。</p>	<p>3回/年手洗いチェックを実施できました。手洗いが不十分な方に対してはネットやブラシを利用して洗えるように準備しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(5) -①BCP計画に基づいたマニュアルを活用します。感染症が発生した際、迅速に行動するために、被害を想定し、机上でBCPの内容や各自の役割を確認したうえで、感染症が発生しても計画通りに動けるか議論を進め、実際の訓練時に事業継続計画の実効性や内容が適切かどうかを検証し、定期的な見直しを行います。</p>	<p>BCP計画で作成した感染マニュアルに基づき、感染症対策訓練を6月19日と11月18日に実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

実習・ボランティア

(1) 目標

目標1. 職場体験・実習生の受け入れをします。

目標2. ボランティアの方が楽しく作業や行事補助ができるよう配慮します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -①特別支援学校、特別支援級、福祉関係・保育関係・教職関係を目指す学生からの実習の受け入れを年間スケジュールや現場の状況から勘案し、計画的に受け入れます。</p>	<p>特別支援学校、特別支援級、福祉関係・保育関係・教職関係を目指す学生の依頼に沿って実習の受け入れをしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(2) -①ボランティアセンターと連携を取り、積極的に受け入れを行います。また、ボランティアの方との意見交換を実施して、受け入れについての改善点などを見つけ定着を図っていきます。</p>	<p>ボランティアセンター様と連絡を取り合い情報提供をいただきましたが、受け入れには至りませんでした。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -②ボランティアの方が楽しく作業補助や行事補助が出来ように環境作りします。</p>	<p>ボランティアの方の受け入れには至っておらず実施出来ていません。</p>	<p>着手したが達成できなかった。</p>	<p>今後もボランティアセンターと連携し、取り組んでまいります。</p>

法人広報誌・ホームページ

<p>(1) 目標</p>
<p>目標1. ボワ・アルモニーの行事を広報やホームページに掲載し、ボワ・アルモニーの活動を広く知っていただけるようにします。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 年4回発行される法人広報誌の紙面と適宜更新するホームページを利用して、ボワ・アルモニーでの取り組んでいる活動等について、広く地域に向けて発信します。</p>	<p>行事やレクリエーションの様子など定期的にHPに記事を投稿しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② ご利用者の個人情報に配慮し行事や活動・日常の出来事等を、当施設のご利用者の様子を伝えていきます。定期的なホームページの更新を行います。</p>	<p>個人情報等に配慮し、ホームページ、広報誌を媒体として、日々の活動等を広く、お知らせすることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。様々な内容で記事を作成し、更新していきます。</p>

<p>(1) -③ 4月に写真や氏名の使用に関する同意書の確認(更新)を行います。広報やホームページでの写真使用等について、個人情報の取り扱いに留意します。</p>	<p>掲載の同意書を確認し、配布物やHP記事についての写真使用には注意を行いました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>次年度は同意書の書式を変更する予定になっているため再度確認を取り、SNS等の利用の拡大と、それに伴い個人情報の管理も徹底していきます。</p>
--	--	--------------------	--

虐待防止委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>目標1. 虐待防止と権利擁護の取り組みを行い、サービスの質の向上を図ります。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 虐待防止委員会を5月、10月に実施し、虐待や身体拘束防止の確認・検討を行います。また、事業所内での状況を把握し、適切な対応の検討を行い、職員会議にて全体に周知します。</p>	<p>年間予定に基づき、研修を実施し、全職員に周知、確認をおこないません。法人の虐待防止月間では、虐待防止チェックリストを全職員が回答し、会議内でフィードバックを実施しました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② 虐待防止研修を5、10月に実施し、職員の理解を深めます。また、10月は虐待防止チェックリストを全職員に実施し、結果を基により良い環境を整えられるよう検討し、一人一人の意識を高めます。</p>	<p>虐待防止委員会や虐待研修に於いて、学んだことや対策、また10月に行った虐待防止チェックの結果等を踏まえ、職員全員で虐待0を目指す意識を高めることに努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -③ 支援や業務での不安や悩みを発信できる場を設け、意見交換ができる環境を整えます。支援や関りなどの気づきを共有し、風通しの良い職場環境を整えます。</p>	<p>会議や、夕礼で状況が共有できるようにしました。支援等で職員が悩みを抱え込まないようチームで解決できるよう、取り組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

身体拘束適正化委員会

(1) 目標
目標1. 身体拘束廃止に向けた取り組みを行います。
目標2. 安全確保のため、やむを得ず身体拘束をする場合の検討を行い、記録の徹底と見直しを定期的実施します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -① 虐待防止委員会と併せて、身体拘束適正化委員会を5月、10月に開催し、身体拘束に関わる現状把握、見直し等について検討します。検討内容については、職員会議内で周知し、職員との意見交換を行いながら改善に向けた取り組みを実施します。	虐待防止委員会と併せて、身体拘束適正化委員会を5月、10月に開催しました。その際、身体的拘束に該当する具体的な例以外の行為についても職員との意見交換を行いました	実施できました。	次年度も継続します。
(1) -② 虐待防止研修内で身体拘束に関する研修を実施し、身体拘束廃止に向けた基本方針や取り組みに対する理解を深めます。	身体拘束がもたらす弊害（健康面への弊害、精神面への弊害、社会的弊害）について、具体的に例を挙げ、その行為自体が多方面に渡り悪影響を及ぼすこと等を学び、職員に周知しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(2) -① 安全確保を目的とした身体拘束について、事業所内での定期的な見直し、改善に向けた検討を行い、身体拘束適正化委員会の中でさらに検討を深めます。	身体的拘束に該当する具体的な例以外の行為に於いての安全確保について委員会で話し合い、職員全体で検討しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(2) -② 安全確保を目的とした身体拘束を行う際は、ご利用者、保護者への説明を丁寧に行い、同意を得ます。また、実施の際は状況や必要性について丁寧な記録を徹底します。	身体的拘束に該当する具体的な例以外の安全確保を目的とした身体拘束を行う際にご利用者、保護者への説明を丁寧に行い、同意を得ました。	概ね実施できました。	次年度も継続します。

防災委員会

(1) 目標
目標1. 災害時に備え、防災意識を高めていけるよう、避難訓練、防災会議等を行います。
目標2. 災害などが発生して事業継続が危機的状況に陥った際に、より重要な業務への影響を最小限に抑え、できる限り迅速に業務を再開できるように、復旧対策の手立てを事前に策定するBCP（事業継続計画）を基本に災害時の対応を進めて参ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -①避難訓練（火災、地震、水害被害想定）を実施します	地震想定避難訓練5/29、火災想定避難訓練11/11に実施しました。水害被害訓練の実施はできませんでした。	概ね実施できました。	来年度も5/29に地震・水害を想定、11/11に火災想定に於いて滑り台を使用する訓練を計画し、実施します。
(1) -②起震車体験、初期消火訓練を実施します。	起震車体験はご利用者のみ。初期消火訓練は職員のみで、10/8に実施しました。	実施できませんでした。	来年度は、起震車体験と初期消火訓練を10/6に実施します。
(1) -③防災備蓄品の確認を年に1回行ないます	備蓄食品の賞味期限や災害時に必要な備品の確認をしました。新たにカセットボンベで利用できるストーブ1台、灯油のみで利用できるストーブ1台を購入しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(1) -④年2回、専門業者に委託し、消防設備等の点検を行ないます。	予定通り2回実施しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(1) -⑤防火管理責任者が、施設・設備の総点検を行ないます。	施設内の設備点検とともに防災設備および防災の視点での点検を毎月1回実施しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(1) -⑥自主検査チェック票（日常）[閉鎖障害等]を毎日確認、記入します。	本体・分場職員により自主点検を毎日実施しました。	実施できました。	次年度も継続します。

<p>(2) -①BCP計画に基づいたマニュアルを活用します。</p> <p>自然災害に見舞われた際、迅速に行動するために、被害を想定し、机上でBCPの内容や各自の役割を確認したうえで、災害などが起こっても計画通りに動けるか議論を進め、実際の訓練時に事業継続計画の実効性や内容が適切かどうか検討し、定期的な見直しを行います。</p>	<p>BCP計画に基づいたマニュアルを活用し、机上で災害時の担当や役割を確認しました。</p> <p>また、無線機と発電機の使い方。防災備品の保管場所の確認をしました。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分。</p>	<p>来年度は、防災・災害時対策委員会を6/2、11/10に開催し、それに基づきBCP訓練を7/28、12/8に実施します。</p>
--	--	------------------------	--

安全衛生委員会

(1) 目標
目標1. ご利用者・職員の安全及び衛生的な環境で過ごせるための環境整備に努めます。
目標2. 感染症対策を徹底し、感染予防に努めます。
目標3. 安全衛生に関する研修を実施し、職員の知識の向上、育成に努めます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) ① 毎月安全衛生委員会を開催し、ご利用者・職員の安全衛生及び労働環境についての検討、整備を行います。</p>	<p>計画の通り実施できました。職員から労働環境について意見があったことについては委員会内で検討し、改善に繋がりました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② ヒヤリハットについての検証を行い、事故の防止に努めます。委員会内で検討した内容については職員会議で全体に周知するとともに、改善策の検討を行います。</p>	<p>会議議題に毎回組み込み、事故が発生した際に、検討会議を実施しました。内容については職員会議で周知し再発防止策を含め確認を行いました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>次年度も継続しますが、ヒヤリハットについての確認が少なかったため、ヒヤリハット事例の確認を積極的に行い、重大事故の防止に努めます。</p>
<p>(1) -③ 設備や備品、使用する機械等の点検を行い、安全に活動できるようにします。</p>	<p>コロナウイルス感染症のみならず、ノロウイルス感染症等の発症時の対応訓練を看護師を中心に取り組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(2) ㊦① 感染症に関する適切な情報収集による早め予防対策を随時検討し、全体に周知していきます。</p>	<p>感染症の種類に応じた予防策や対策を検討行いました。流行時期には、感染症防止のための対応を家族向けに案内を周知し、理解と協力を依頼し、感染拡大の防止に努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -② 定期的な換気、温度湿度に配慮し、快適な環境を整えます。</p>	<p>季節に合わせて空気清浄機の使用、空調を使用しながら感染症予防に取り組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -① 安全衛生委員会と併せて、感染症対策会議を4月、7月、10月、1月に開催をして感染症の発生情報や予防策について検討します。</p>	<p>予定通り実施できました。感染症対策訓練の内容の検討や、感染症流行時期前に感染症についての確認を行い、職員会議で周知しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -② 感染症対策会議での検討を踏まえて、感染症対策訓練を5月、11月に実施して、職員との意見交換を行いながら改善に向けた取り組みを実施します。</p>	<p>感染症流行時期に合わせて、感染症の症状や感染防止策を学びました。また、定期的に嘔吐時の処理対応を実際の備品を使用した訓練を行い、職員がスムーズな対応ができるように確認を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

車両・送迎管理

(1) 目標
目標1. 安全に走行できるように、点検・車検・修理を行います。
目標2. ご利用者の安心安全を第一に考えた送迎業務を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -①車両の定期点検を行います。また走行開始前に車両点検を行い、安全に走行できるように車両の整備を行います。故障時には早急に車両の修理等の対応をします。	各車両の車検、12か月点検を行ないました。また事故等が起きた時は、迅速に対応し、安全に運行することができました。	実施できました。	次年度も継続します。
(1) -②ドライブレコーダーを活用して、運転状況を確認します。	危険な状況等に遭遇した際はドライブレコーダーの映像を確認し、運転手に注意喚起を行い、安全運転に努めてもらえるよう配慮しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(1) -③緊急時に備えマニュアルを作成し、全体で共有するとともに、車内に常設します。	緊急時に備え、人数分の携帯食・水・避難マップを常備し、運転手に周知しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(2) -①安全第一で交通ルールを遵守し、無事故無違反で送迎が出来るよう心掛けます。	ルールの遵守を徹底し、安全に送迎業務を行うことが出来ました。	実施できました。	次年度も継続します。
(2) -②運行予定表を作成し、ご利用者の休み等の情報を共有してスムーズな運行ができるようにします。	運行予定表をスマートフォンのアプリケーションに変更することで送迎のキャンセル等の最新の情報交換が可能になり、運転手への連絡も迅速かつ確実に実行できたことで、連絡ミスなく運行対応を行なうことが出来ました。	実施できました。	次年度も継続します。

(2) -③感染症対策の為、乗車時には手指消毒や車内換気を徹底します。	ご利用者の乗車時は、消毒を徹底し、窓を開け換気対応を取りました。	実施できました。	次年度も継続します。
(2) -④車両清掃・消毒を行ない、車内環境を整えます。	運転手の協力の元、日々の走行前後に車内外の清掃を行ないました。	実施できました。	次年度も継続します。

2025年度 ボワ・ミニヨン 年間総括

1. 支援部門

【ボワ・ミニヨン】

(1) 目標
①個別の余暇活動を充実します。
②研修への参加、虐待、不適切支援防止の話し合いを定期的に行い、再発防止に取り組みます。
③感染症、自然災害の各BCP研修を行います。
④はるかぜの返還、ミニヨンの建替え、空室の活用を検討します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
1-① 5月末を期限にアンケート調査等でニーズを把握します。	アンケートの実施はせず、個別面談でニーズを把握しました。	概ね実施できました	把握したニーズを相談支援事業所と情報共有します。
1-② ガイドヘルパー等、利用調整を行います。	帰宅やヘルパーとの外出について、月毎に予定を確認し、希望通りに過ごせるよう、関係先と連絡調整を行いました。	実施できました	
2-① 年3回、虐待防止会議を行います。	5月・10月・1月に虐待防止会議を実施しました。 また、6月・9月・12月・3月に身体拘束適正化委員会を開催しました。	実施できました	
2-② 毎月、職員会議で事例検討を行います。	毎月の職員会議の中で、ご利用者の状況確認を行い、必要な事例についての検討を進めました。	概ね実施できました	

<p>2-③ 8月に全職員を対象とした虐待防止研修を行います。</p>	<p>7月の全体研修の中で、虐待防止研修を実施しました。参加者がほぼ正規職員となったので、不参加だった有期職員に対しては、伝達研修を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>2-④ 1月に全職員を対象とした身体拘束防止研修を行います。</p>	<p>7月の全体研修の中で、身体拘束防止研修を実施しました。参加者がほぼ正規職員となったので、不参加だった有期職員に対しては、伝達研修を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>2-⑤ 虐待防止を軸としたeラーニングを研修計画に沿って実施します。</p>	<p>有期の夜勤パート職員を対象に、eラーニングで障がい者虐待防止研修シリーズの受講を実施しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>3-① 基本的な感染症対策(うがい・手洗い・マスク着用・検温・手指消毒・物品消毒)を行います。</p>	<p>感染症の流行の有無を問わず、日常的な感染症対策の実施がご利用者にも浸透しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>3-② 9月に全職員を対象とした感染症BCP訓練を行います。</p>	<p>12月の全体研修の中で、感染症BCP訓練を実施しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>3-③ 12月に全職員を対象とした災害BCP訓練を行います。</p>	<p>12月の全体研修の中で、災害BCP訓練を実施しました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>3-④ 年3回、地震又は火災避難訓練の実施及びポータブル電源や非常食などの災害用備蓄品を更新・補充することで災害に備えます。</p>	<p>6月・10月・3月に各ホームで火災・地震それぞれの避難訓練を実施しました。ボワ・ミニヨンにおいては水害を想定した避難訓練も実施しました。昨年度に続き今年度も都の補助金を利用してポータブル電源を購入し、災害備蓄を進めました。非常食についても入れ替え更新を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>3-⑤ 9月に全職員を対象とした心肺蘇生法とAED使用法の講習を受けます。</p>	<p>9月に児童支援部と合同で、消防署員指導の心肺蘇生法・AED使用法講習を開催しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>4-① 法人本部と共同してはるかぜの返還、ミニヨンの建替え、空室の活用の検討を行います。</p>	<p>はるかぜのご利用者を居住支援部内の他ホームに転居していただく形で1月末に引越しを行い、3月末に町田市にはるかぜの返還を行いました。ミニヨンの建替えについては敷地内に建物を建て、移転をする形となり、2月に工事が着工しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>新築されたミニヨンへの移転後、空室について募集できるよう、検討を進めます。</p>
<p>4-② 住み替えが必要になるご利用者への負担が少ない形を目指します。</p>	<p>今年度内の作業として計画しながらも、家賃額の増加や業者による引越し費用など経済負担も鑑み、年度後半の引越しとなるよう計画をしました。また、ご利用者同士の相性や引越し先ホームの特性も踏まえ、引越し先の選定を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	

2025年度 短期入所であい 年間総括

1. 支援部門

【であい】

(1) 目標

①生活リズムに合わせた支援をします。

②利用目的に沿った支援をします。

③多くの方が利用できるようにショートを受付方法について検討します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>1-① ご家庭、通所先と連携し、ご利用者の状態把握に努め、日常の生活リズムをできる限り乱さないようにします。</p>	<p>睡眠、排泄、服薬等の引継ぎについて、ご家庭や通所先と連絡を取り合いました。前回の利用から数カ月経過しているご利用者は、利用受付の際に、特に生活リズム等について共有する声掛けを行いました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>1-② 定時の検温など、健康観察を行います。体調に変化が見られる時や薬についての確認など、必要に応じてご家庭、通所先、その他関係機関と連携することで、迅速で適切な対応をします。</p>	<p>帰寮時や入浴前、起床時や通所前に検温を行いました。薬の使用について、連絡帳等の記載で不明な点など、ご家庭に連絡を取り、間違いがないよう確認しました。必要な情報は連絡帳等で通所先と共有を図りました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>1-③ 入浴時、必要にご利用者には支援をサポートする機器を使用することで、安全に入浴していただきます。</p>	<p>入浴リフトでの介助浴が必要なご利用者に対しては、積極的にリフトを使用していただきました。安心安全な入浴となるよう、リフト使用においても、できる限り複数での介助を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>2-① グループホーム入居など将来の生活に向けた取り組みを支援します。</p>	<p>2025年度中にもご利用者数名がグループホームに入居されました。入居先から利用時の様子について問い合わせがあった際には、ご本人の了承のもと情報提供を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>2-② レスパイトケアを通して、ご家庭や保護者の生活を支援します。</p>	<p>複数日続けての予約を受け、ご家庭の介護負担の軽減に繋がりました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>3-① 社会福祉法人として公益性の観点からなるべく多くの方に利用していただけるように、ショート受付時のルールについて検討します。</p>	<p>運営会議でショート利用予約のルール変更について検討をしましたが、現行の方法が適切であると判断しました。 ホームページで現行の予約方法をお知らせし、予約方法の周知に努めました。</p>	<p>実施できませんでした</p>	
---	--	-------------------	--

2025年度 ボワ・コンサール 年間総括

1. 支援部門

【ボワ・コンサール】

(1) 目標
<p>① 一人ひとりの障がい特性や発達、性格を理解し、個人に合わせた適切な対応をします。一人ひとりの障がい特性や発達、性格を理解し、個人に合わせた適切な対応をします。</p>
<p>② 安心できる環境の中で、好きな遊びや得意な遊びに取り組み、楽しい時間を過ごせるようにします。</p>
<p>③ おやつ、クッキングを通して選ぶことや食べることの楽しさを学びます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 個人の発達の段階や特性を理解し、成長を促せるよう適切な支援を検討・実施します。研修やケースカンファレンスを通して、多角的に個人を理解し適切な支援を検討します。支援方法の根拠を明確に示し、統一した対応ができるようにします。</p>	<p>好きなことや興味を持てることを探りながら、活動や関わり方を工夫しました。好きな遊びをじっくり楽しむ中で、職員や友達とのコミュニケーションを楽しむ姿が見られました。友達や集団を意識できる活動も取り入れ、「友達と遊ぶこと」「みんなで楽しむこと」ができるよう支援しました。ごっこ遊びやすごろく、トランプ、だるまさんがころんだなど、集団遊びを楽しむ様子も多く見られました。児童同士のトラブルには職員が介入し、解決方法やトラブルにつながらない遊び方を経験できるようにしました。個人の発達段階や特性を理解するため、観察記録や保護者・関係機関からの情報をもとに多角的に理解を深めました。研修やケースカンファレンスを通して適切な支援方法を検討し、職員間で統一した対応を実施しました。</p>	<p>実施できませんでした</p>	<p>引き続き、個人の障がい特性の理解や成長を促す支援について、専門的な視点で支援ができるようにします。</p>

<p>(1) -② 児童一人ひとりの得意や苦手を把握し「見て分かる」「単語で分かる」「行動で伝える」など、個人にとって分かりやすい方法で情報を伝えます。文字や視覚的な手がかりなど様々なツールを工夫し意思表示をしやすい環境を整えます。</p>	<p>個人に合わせた言葉の量や視覚的な手がかりの使用など、分かりやすい情報の伝え方を工夫しました。言葉の影響を受けやすい児童には、なるべく言葉を減らし、耳からの情報に振り回されないよう配慮しました。玩具カードや文字盤、ジェスチャーなどを用いて、伝えたいことを正確に伝え、受け止められるよう支援しました。予定表や絵カード、写真など視覚的な手がかりも工夫し、児童が自分で選択・表現できる環境を整え、職員が適切に支援しました。</p>	<p>実施できませんでした</p>	<p>相手にしっかり伝わる情報の伝え方や受け止め方を工夫し、できるだけ正確に意思疎通が図れるよう努めます。</p>
<p>(1) -③ 児童の思いを理解し、寄り添いながらも善悪については明確に伝えます。気持ちをしっかりと受け止めていることを伝えつつ、意志を貫くための激しい行動に対しては揺れない対応をすることで信頼関係を築きます。将来の日常生活や社会生活を見据え、適切な気持ちの伝え方や行動を経験できるようにします。</p>	<p>表現される感情や表出される行動の本質を理解しつつ、表現や表出の方法については適切に行えるよう支援しました。「善い/悪い」「できる/できない」ことを端的に明確に伝え、納得を促しました。職員の反応を伺うような行動については揺れない対応をし、適切な関係を築きました。気持ちを適切に伝えられる環境や関係を整えました。</p>	<p>実施できませんでした</p>	<p>引き続き、個人の思いや気持ちを受け止め、尊重しつつ、気持ちや意志の伝え方については、その適正さについても伝えることができるよう支援します。</p>
<p>(1) -④ 行動のきっかけや原因となる事象や環境について丁寧に分析します。複合的な要因を視野に入れ、対応や環境を工夫します。視点や対応についてPDCAを繰り返しより精度の高い分析を目指します。不適切な行動につながる要因を減らすことで、持っている力を十分発揮し成功体験を増やせるよう支援します。</p>	<p>行動前、行動中、行動後の様子を丁寧に観察し、本人がどのような結果(効果)を得ているのか分析をすることを大切にしました。「注目」「感覚」など、同時に複数の結果(効果)を期待している行動も多く、不適切な行動で得られるものを最小限にできるよう対応を工夫しました。必要に応じて、刺激の少ない場所で個別の活動設定をするなどし、穏やかな気持ちで遊びや人との関りを楽しむ経験を積めるようにしました。</p>	<p>実施できませんでした</p>	<p>引き続き、児童の様子を丁寧に観察、分析を行い、行動のきっかけや本人が得ようとしていることを正しく把握し、適切な対応(支援)ができるようにします。</p>

<p>(2) -① 一日の活動の中で動きのある遊びと、ゆっくりじっくり楽しむ遊び、また集団で楽しむことと、少人数で安心して過ごせることを、バランスよく行えるよう活動や環境を設定します。</p>	<p>一日の活動を2チームに分け、「戸外遊び」「室内遊び」を交互に設定しました。戸外では職員体制を整え、安心して好きな遊びを楽しめるよう活動を行いました。室内の人数も半数になることで、集中して自分の好きな遊びに取り組める環境を整えました。個人の興味や得意なことに合わせて、活動場所を設定するなど、遊びやすさを大切にしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>大人数でも安心して、満足して遊べる環境や活動設定を工夫します。</p>
<p>(2) -② 一人ひとりの興味やできることを把握し活動に取り入れ、楽しむことや自信を持って取り組めることを大切にします。同時に、苦手なことに対しても取り組みやすい環境や安心できる人からの励ましなど工夫し、チャレンジすることを大切にします。</p>	<p>個人の好みや得手不得手を把握しながら活動や遊びを設定し、遊びやすい環境を整えました。個人の様子を観察し、どのような感覚をどのように楽しんでいるかを知り、遊びを提案しました。遊びを通して「楽しむ」「チャレンジする」「合わせる」などの経験ができるよう活動内容や支援を工夫しました。遊びの中で得られる達成感や満足感を大切にし、褒める、認めるなどの方法で、次の意欲に繋げるよう支援しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>引き続きチャレンジしやすい環境や関りを工夫し「やってみよう」と思えることを大切にします。職員らの働きかけだけでなく、児童同士の刺激（自分もやってみたい！と思えること）も大切にします。</p>

<p>(2) -③ 児童がしっかりと力を使う（発揮する）場面を設定し、児童自身が「がんばった！できた！」と感じられるような経験を増やします。個人の力を最大限に発揮できる支援を検討し、実施します。がんばったこと、できたことを褒められ（認められ）、多くの満足感や達成感を得られるよう支援します。</p>	<p>工作活動では、全員が取り組むことを大切にしました。「今日の工作は何？」と楽しみにする児童も多く、意欲的に参加する姿が見られました。児童の特性に応じて「見本を見て一人で作る」「職員の説明を聞いて作る」「職員が手添えて作る」など取り組み方や支援量を調整し、達成感や満足感を得られるよう支援しました。日常生活の中でも「自分でできること」を見極め、「やってみよう！」と思える環境を整え、力を発揮できる場面を設定しました。活動を通して「がんばった！」「できた！」と実感できる経験を増やし、頑張ったことや達成したことを言葉や拍手などで認めることで、満足感や達成感を得られるよう支援しました。</p>	<p>実施できませんでした</p>	<p>「持っている力をしっかりと発揮すること」や「正しくエネルギーを使うこと」を計画的に活動に取り入れ、本人が頑張ったと実感できるようにし、努力を認め、褒めることを大切にします。</p>
<p>(2) -④ 日々の制作や季節の制作を年間のスケジュールで計画的に行います。活動の中で様々な素材に触れ、楽しみながら集中力を養い「できた」「楽しかった」「面白かった」という充実感や自信を得られるよう支援します。</p>	<p>年間のスケジュールに沿って、クッキングや季節の制作を実施しました。継続的に取り組む中で、児童の持っている力を把握し適切なサポート量を工夫しました。また、分かりやすく役割分担をし、与えられた役割に責任を持ち、意欲的に取り組む経験ができるよう支援しました。感染予防に配慮しつつ昼食作り（カレー）などのクッキングを設定し、皆で協力して作ること、食べることを楽しみました。</p>	<p>実施できませんでした</p>	<p>引き続き、楽しみや経験の拡大、ワクワク感に繋がるような活動設定を工夫します。</p>

<p>(2) -⑤ 玩具の点検や環境の整備を行い、分かりやすく安全に活動できる空間や備品を整えます。分かりやすい環境の中で主体的に活動することを大切にします。</p>	<p>玩具を使用する際は、できるだけコーナー分けをし、玩具や遊びが煩雑にならないよう配慮しました。使い終えた玩具（コーナー）は一度片付けをして、次のコーナーを作るなど「玩具があり過ぎて集中できない環境」にならないよう配慮しました。定期的に玩具棚の整理を行い、同時に点検を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>児童に合わせて選択肢の範囲を調整し、自己充実感や満足感、納得感に繋がることを大切にします。</p>
<p>(3) -① おやつを通して『自分で選ぶ』『自分で決める』ことを経験し、納得して行動できることを増やします。保護者とも情報を共有しながら個人の食形態や食事状況に合わせて安全な食事支援を行います。</p>	<p>複数のおやつの中から自分で選択する機会を設け、「自分で選ぶ・決める」経験を積めるよう支援しました。「これが好きなんだね」「良いのを選んだね」と選んだことに対して認められることや共感されることも経験できるように支援しました。食事面では、保護者と情報共有を行い、個々の食形態や体調に配慮しながら安全に提供しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>引き続き、安全な環境で安心して活動できるように大切にします。</p>
<p>(3) -② クッキングでは活動の中で役割や順番を楽しく経験し、責任を持つことや協力してひとつの物を作り、味わうことを大切にします。</p>	<p>クッキング活動では、工程ごとに役割や順番を設定し、楽しみながら参加できるよう工夫しました。自分の役割をやり遂げる経験を通して責任感を育むとともに、他児と協力してひとつの物を作る過程を大切にしました。完成後は一緒に味わうことで達成感や満足感を味わいました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>引き続き、「楽しい」「美味しい」と感じる体験や、ひとつのものをみんなで作る楽しさを広げ、達成感や満足感につながるような活動設定を工夫します。</p>

2025年度 ボワ・エール 年間総括

1. 支援部門

【ボワ・エール】

(1) 目標
①一人ひとりの障がい特性を理解した支援を提供し、安心して楽しく過ごせるように支援します。
②人を信じることや自分の行動をコントロールすること、ルールを守ることなど社会性を育む支援を行います。
③医ケア児・肢体不自由児の安定した利用と活動を保障できるよう取り組みます。
④クッキングやおやつを通して「食」を楽しみます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 一人ひとりの障がいや行動の特性、心と体の状態を理解し、気持ちに寄り添った支援を行います。行動の背景を含め、不適切な行動のきっかけや原因を分析し、適切な支援（手立て）や環境の設定を検討・実施します。</p>	<p>一人ひとりの行動特性や状態を理解し、関りや見通しの持ちやすい環境を工夫しました。児童の様子や心の状態を探り、不適切な行動についても、その理由や目的、きっかけについて分析をしました。行動に至る経緯を考えながら、「明確にNGを伝える」「場面や環境を変えて気持ちの切り替えを図る」「事前に約束をする」等の支援を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(1) -② 活動の中で、体を動かす活動や、のんびりリラックスした気持ちで過ごせること、集団で活動することをバランスよく設定します。活動の狙いや目的を明確にし、個人に合わせた取り組み方の工夫をします。活動を通して達成感や満足感を得られるよう支援します。</p>	<p>個人のニーズを把握しながら活動を設定しました。戸外で体を動かす、室内で好きな遊びをじっくり楽しむなど個人に合わせて活動を組み立てました。長期休みなど利用時間が長いときは、午前午後に分けて戸外/室内活動を設定しバランスよく活動できるようにしました。半分に分けることで、少人数の集団になり、ゆったりと活動することができました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>(1) -③ 季節の制作やクッキング、お楽しみとなる活動を年間のスケジュールで計画し、季節を感じることやワクワクすることを大切にします。手先を使うこと、集中すること、様々な素材に触れること、他児と協力することを楽しみながら経験します。</p>	<p>季節の制作やクッキング、夏休みには夏休み用の活動を設定し、季節を感じることや行事を楽しむにすることができるようになりました。制作の取り組みでは手元に意識を向け、作業に集中して楽しむことを大切にしました。</p> <p>クッキングでは、調理工程を経験することのほか、友達と協力することや役割を分担すること、何よりも美味しく食べることを楽しめるよう活動を設定し実施しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2) -① 個人に合わせた集団の規模を工夫した集団活動を通して、周りに合わせる力や他者と共感する力を身に付けられるようにします。視覚的な分かりやすさや明確なルール、分かりやすい情報伝達を工夫し、約束を守ることや自身の行動をコントロールする経験を積めるようにします。</p>	<p>適切な規模でクッキングや散歩などの活動を行い、周りの人を意識できるような集団活動を設定しました。</p> <p>短い言葉で伝える、指さしやイラストの活用など、分かりやすい情報の伝え方を工夫しました。約束やルールについても事前に伝え、ぶれない対応をすることで適切な行動の定着を図りました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2) -② 職員との信頼関係の中で楽しいことだけでなく、困ったこと、不安なことでも周囲に伝えられるようにします。安心できる環境で適切なサポートを受けながら課題や問題を解決し、「うまくいった」「成功した」という経験を積み重ねられるよう支援します。</p>	<p>個人が困っていることや不安に感じていること(状況)を把握できるよう努めました。児童によっては、職員が先回りをしてしまうのではなく、本人がどのように行動できるか少し見守ることも大切にしました。状況や感情をできるだけ言語化し、何に対してどのように困っているのかということを確認し、解決することを経験しました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>(3)-① 一人ひとりに合わせた姿勢を工夫しリラックスできる環境を整え、その日の様子に合わせて無理のない過ごし方を工夫します。スヌーズレンやムーブメント的な活動を取り入れ、様々な刺激を体で感じられる活動も設定します。</p>	<p>肢体不自由児は車椅子から降りる時間を作り、できるだけ同一姿勢にならないよう支援しました。季節や天候に合わせて、戸外へ行く時間を作ることやスヌーズレンルームを活用し、違う刺激を楽しみながらリラックスすることにも取り組みました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(3)-② 言葉に限らず表情や視線、体の動きなど一人ひとりの方法で気持ちを伝え、受け止められることや共感されることで職員との信頼関係を築きます。友達の様子や遊びを見て「おもしろそう、やってみたい」と思えるような環境を作り、経験を広げながら人との関わりを楽しめるよう支援します。</p>	<p>表情や声、目や体の動きなどからも気持ちを感じ取れるよう支援しました。感じ取った気持ちを言葉にし、共感することを繰り返しました。買い物活動では、実際の物を見ながら、目の動きや声などで好きなものを選択し、購入するものを経験しました。車椅子に座っているときや横になるときは、できるだけ全体を見渡すことができるよう、位置に配慮しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(3)-③ 支援体制や看護体制、送迎体制を整え、安定した利用保障ができるよう取り組みます。</p>	<p>花の家の車両を借用し送迎を実施しました。児童支援部だけの車両では車椅子が2台しか乗らないため、車両を借用することで多くの車いす児童の利用や送迎実施をすることができました。看護師が休みの際の医ケアについて、花の家看護師に協力をしてもらったことで、医ケア児の利用保障をすることができました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(4)-① 花の家の厨房と連携し、おいしい給食や手作りおやつを提供します。個人の摂食状況を理解し、安全な食事支援を行います。</p>	<p>月一回の栄養会議を実施し、おやつや給食について検討をしました。献立の立案や材料の仕入れなど協力することで様々な種類の手作りおやつを提供できました。児童の反応や摂食状況についても情報共有し必要に応じて調整しました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>(4) -② クッキングでは作ることの楽しさを感じながら、食への興味の拡がりを支援します。友達と協力することや役割分担すること、皆で作りを上げることを楽しみます。</p>	<p>年間計画に沿ってクッキングを実施しました。クッキング活動を楽しみにしている児童も多く、再調理をすることで形態食の児童も完成したものを味わうことができました。曜日によっては時間が足りないこともあり、事前準備の量をコントロールするなど、できるだけスムーズに行えるよう整えました。</p>	<p>実施できました</p>	
--	--	----------------	--

【全体】

<p>(1) 運営方針</p>
<p>①安心、安全な活動ができる場を提供します。</p>
<p>②いろいろな人との関わりや、発達段階に応じた楽しい遊びを提供します。</p>
<p>③遊びを通して社会性を育みます。</p>
<p>④児童支援部の各事業所が連携し、円滑な運営を行います。</p>

<p>(2) 目標</p>
<p>①児童一人ひとりに寄り添った支援を行います。児童の障がい特性を踏まえた質の高い支援や成長を促す活動を提供します。</p>
<p>②職員は専門的な視点で発達や成長を捉え、最善の支援提供ができるよう、知識や技術の向上を目指します。</p>
<p>③児童が将来の日常生活や社会生活を円滑に営めるよう、総合的な本人支援を工夫し提供します。</p>
<p>④ご家庭、学校、地域との連携に積極的に取り組みます。</p>
<p>⑤安定した利用や活動を保証しつつ収支のバランスを整えます。</p>

(3) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 一人ひとりの得意/不得意、好き/苦手を理解し、持っている力を十分に発揮し活動できる環境を整えます。遊びや活動、人との関わりを通して、安心してチャレンジすることを支援します。</p>	<p>児童一人ひとりの好みや得手不得手を把握し、対応や活動の検討をしました。好きなことを活動に取り入れることで、意欲を引き出すことや次への楽しみに繋げるよう支援しました。得意なことで注目を集め、褒められることや認められることを繰り返すことや適切に承認欲求を満たすことや自信に繋がれるよう支援しました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>(1) -② 個人の障がい特性を正しく理解し、児童の表情や様子、環境や前後の状況、言葉かけに対する反応など多角的に観察し、行動のきっかけや原因を探り解決策を考えます。</p>	<p>日々の打ち合わせや振り返り、職員会議等の中で児童の行動についての気づきを職員間で共有しました。集めた情報をもとに、行動のきっかけや原因を探りました。思い当たる（考えられる）原因を減らし行動の変化を観察しながら改善に向けて取り組みました。こだわりや、切り替えの難しさなど生活に困難が見られるときは、できるだけこだわりの原因（きっかけ）になる事象を取り除くと同時に、原因の分析や統一した対応を検討し支援しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2) -① 職員は研修やケースカンファレンスを通して、障がいや個人についての理解を深めます。支援方法や対応や手立てについて、専門的な視点で検討できるように学びを深めます。</p>	<p>年二回、外部講師による心理研修（カンファレンス）を行い、直面している対応課題について学びました。障がい特性や固有感覚について理解を深め、個人の感覚世界を理解した上で対応や手立てを検討しました。ケースカンファレンスや相談支援事業所からの聞き取りの際は、様子や「できることや苦手なこと」だけでなく、個人の状態を把握したうえで「見立て」や「具体的な対応」についても伝えることを意識しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2) -② 摂食支援や移乗支援など、介護技術を学ぶ機会を作り、個人の状況に合わせ、より安全な支援を提供します。</p>	<p>介護技術研修の実施はできませんでしたが、支援や会議の中で食事介助や移乗介助について話題にし、安全に実施しました。食事介助については基本的なことを理解した上で、個人に合わせてより安全でスムーズな支援ができるよう支援しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2) -③ 児童支援部として行う職員会議のほか、事業所ごとの会議を行います。全体で情報を共有しつつ、一人ひとりが意見を出し合い、内容を深められる会議環境を整えます。</p>	<p>研修のない月は、全体で行う職員の会議の後に、事業所ごとに行う会議を設定し、より深い話ができるようにしました。日常的な支援や打ち合わせで伝えていても周知が徹底していないことなど会議を通して再確認し、情報共有や支援の統一に努めました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>(3) -① 基本的な活動や支援に加え、本人支援の5領域全体をカバーした支援計画のもと、「自己肯定感」「達成感」「仲間形成」「孤立防止」を盛り込んだ支援を構築します。</p>	<p>児童の要求を確認し「願いがかなった、自分が尊重された」という自己肯定感を感じられる関りや支援をすることを大切にしました。活動を通して仲間を意識すること、楽しさを共感すること、必要な場面では相手を尊重することや我慢をすることも経験できるように支援を工夫しました。 集団が苦手、安定した通学が難しい等、個人の状況を把握し、必要に応じて個別の時間設定や送迎を実施しました</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(3) -② 児童の「今」を大切にすると同時に、将来必要となる力にも目を向けて活動や支援を考えます。</p>	<p>体力や興味、その年代に必要な経験や取り組みについて検討し、活動を設定しました。自分でできること、選択することなどを活動に取り入れ、それぞれの年齢に合わせた「主体性」を大切にしました。 本人ができることを把握し支援し過ぎないことや自己発信を待つことなども意識し支援しました。</p>	<p>実施しましたが結果が不十分でした</p>	
<p>(4) -① 保護者向け事業所見学会や保護者懇親会を実施し、学校卒業後のイメージを持つことや保護者間の交流を持つことができる場を提供します。</p>	<p>感染症の状況に配慮しつつ、事業所見学会、保護者懇親会を実施しました。見学会はできるだけ余裕のある時間を設定し、ゆっくりと見学し、質疑応答の時間も設けたことで「将来へのイメージを持つことができた」とのご意見を多くいただきました。懇親会だけでなく、見学会も保護者間交流の機会となりました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>(4)-② 個別面談の実施と合わせてメール、電話、オンラインなど様々なツールで、個人の発達や生活に関する疑問や悩みについて相談しやすい環境を整えます。</p>	<p>各事業所で面談期間を設定し、希望者を対象に面談を実施しました。オンラインでの「おはなし広場」の利用は多くはありませんでしたが「話を聞ける場」として面談、メール、電話などのツールと合わせて幅広い選択ができる環境を整えました。話を聞くだけでも、少しの安心や次の展開に向かう力を与えられることが感じられました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(4)-③ 下校時に児童の様子や学校での過ごし方について積極的に確認し、学校との連携した支援を行います。</p>	<p>その日の状況や体調、排泄の有無などについて、下校時に確認し、必要な対応や配慮ができるようにしました。同時に事業所で気になることについても確認し、学校と事業所での違いに気づけるようにしました。学校とギャップがあることに関しては、その原因を考え、対応を検討、工夫しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(4)-④ 関係機関との連絡会や支援会議に積極的に参加し、地域の情報を集めます。</p>	<p>設定された支援会議にはできるだけ参加するよう調整しました。時間や体制が整わない時は、担当の方と連絡をとり、資料の提供を行い、会議後には議事録を送ってもらうなどの対応で、全体像を理解したり、足並みを揃えた対応を意識しました。会議や電話連絡を通して、情報共有しやすい関係を作ることができました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(5)-① 医療的ケア児童も利用しやすい環境や体制を整え、積極的な受け入れを行います。</p>	<p>送迎や看護体制を整え、医ケア児の積極的な受け入れを行いました。曜日で安定して予約が入ることや家庭の都合により急遽利用をお願いしたいという相談が入るようになりました。新規の契約も複数名行い、新規の利用児童も増えました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>(5) -② 車両の借用や職員間でのフォローなど、法人内他事業所との連携をとりつつ、安定した利用や活動を提供できるようにします。</p>	<p>曜日による予約数の偏りはありましたが、できるだけ希望に応えられるよう利用調整を行いました。送迎車が足りない時は、花の家、本部、居住の車両を借用しながら、送迎保証できるよう努めました。コンサル、エールが連携し、急な利用問い合わせにも柔軟に対応できるよう工夫しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(5) -③ 豊かな時間の提供を工夫しながらも、収支バランスの取れた事業所運営を行います。</p>	<p>活動するグループを分けることや準備を丁寧に行うなど、たくさんの利用児童がいても、スムーズに活動できるよう活動しやすさを工夫しました。利用率を上げつつも、児童一人ひとりが満足感を得られるよう、活動や関りを工夫しました。</p>	<p>実施できました</p>	

委員会年間総括

1. 虐待防止委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①虐待防止や児童の安全と権利擁護に向けて取り組みます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 運営会議と合わせて虐待防止委員会を開催し、虐待や身体拘束防止の検討を行います。事業所ごとの状況を把握し、情報共有したうえで適切な対応を検討し、児童支援部として共通認識が持てるようにします。</p>	<p>毎月運営会議と合わせて、月1回虐待防止委員会を設定し、必要な取り組みについての検討や情報共有を行いました。事業所ごとの状況や児童への対応の確認も合わせて行い、適切な支援について検討しました。虐待チェックリストの実施や虐待防止研修の内容や進め方を検討し実施しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>

<p>(1) -② 10月、全職員を対象とした虐待防止研修を行います。権利擁護や虐待防止について学び理解を深めます。また、虐待防止チェックリストの結果をもとに、児童支援部としての対応を委員会で検討し、全職員に周知します。</p>	<p>10月に全職員対象で虐待防止研修を行いました。研修前にチェックリストを実施し、集計結果を含め全職員に周知しました。回答が分かれる項目に関しては、正職会議で確認し、回答の意図について検討、改善策についても話し合いました。研修では「ある事業所での虐待事案（架空）」をテーマにしグループワークを行いました。原因や課題について意見交換を行い、職員一人ひとりの気づき力の向上を目指しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -③ 気づきを共有できる風通しの良い職場環境を整えます。事業所ごとの打ち合わせ等で、支援方法や関わり方などに関しても意見交換し、より良い対応を全体で検討する環境を作ります。状況に応じて児童支援部全体の会議でも取り上げ、支援の不安や悩みを共有し、一人が抱え込まない風土を作ります。</p>	<p>事業所ごとに、支援前の引継ぎや打ち合わせを実施しました。支援の根拠を明確にし必要性を共有すると同時に、他に手立てがないかということについて、職員間で話し合い、より適切な支援のあり方を工夫しました。各事業所で検討されたことや上がった意見に関しては委員会内で議題として提案し、検討し結果を職員会議で全体に報告しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>

2. 身体拘束適正化委員会

(1) 目標

①事業所内での身体拘束廃止に向けた取り組みを実施します。

①安全確保のため、やむを得ず身体拘束をする場合の検討を行い、記録を徹底します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 3ヶ月に一度、虐待防止委員会と合わせて、身体拘束委員会を開催し、身体拘束に関わる現状把握、見直し等について検討します。検討内容については、児童支援部全体の職員会議内で周知し、職員との意見交換を行いつつ改善につなげます。</p>	<p>3ヶ月に一回の委員会を開催し、必要な内容について確認、検討しました。送迎車の補助ベルトを含め、身体拘束に該当する事案はありませんでしたが、他害のある児童への対応など個別の対応について、丁寧に情報共有し、適正についての検討を深めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② 虐待防止と合わせて身体拘束に関する研修を実施し、身体拘束廃止に向けた基本方針や取り組みに対する理解を深めます。</p>	<p>10月の虐待防止研修を合わせて、身体拘束に関する研修を行いました。車いすのベルトなど、ご本人の安全を守るためのものでも身体拘束にあたることもあるという事実を理解し、実施にあたっては個別支援計画への記載と保護者の同意、また実施の際の記録についても確認をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -① 安全確保を目的とした身体拘束について、事業所内での定期的な見直し、改善を検討し、身体拘束適正化委員会の中でさらに検討を深めます。</p>	<p>会議において実施の状況や個人の様子、ご家庭との連絡について確認しました。身体拘束を必要とする事案はありませんでしたが、個人の安全を守るために必要なもの（取り組み）については、その必要性についても十分に議論しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(2)-② 安全確保を目的とした身体拘束を行う際は、ご利用者、保護者への説明を丁寧に行い、同意を得ます。また、実施の際は状況や必要性について丁寧な記録を徹底します。</p>	<p>車内での補助ベルトなど、必要な場合は、児童の状況や行動を含め、丁寧にご家庭に伝え確認を行いました。自主送迎の実施など代替策も選択肢として提示し、より適切な対応についてご家庭と検討しました。実施については、ケアカルテにて実施の状況の記録を徹底しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
---	--	-----------------	-------------------

3. 安全衛生委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①児童・職員の安全及び衛生のための取り組みを実施します。</p>
<p>②事業所内の重大事故を未然に防ぐ事故予防に努めます。</p>
<p>③児童・職員が健康で快適に過ごせる施設環境を整えます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1)-① 運営会議と合わせて安全衛生委員会を開催し、児童・職員の安全衛生及び労務環境についての検討、整備を行います。</p>	<p>月に一度、安全衛生委員会を実施し児童の健康状態や職員の健康、労務環境について検討、情報共有しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1)-② 6月・11月、全職員を対象とした感染症研修・訓練を実施し、感染症予防、衛生環境についての理解を深めます。</p>	<p>6月と11月に、全職員を対象とした感染予防研修と訓練を実施しました。感染症の基礎的な知識の他、児童の発熱の際の対応や配慮すべき事項、役割分担等についてグループで話し合い、理解を深めました。11月は嘔吐対応についての研修と訓練を実施し、各事業所に設置している、感染症対応セット（吐物処理セット）の内容を見直し、必要時には迅速に対応できるよう整えました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>引き続き、基礎的な知識や実践的な技術を学べるような研修を工夫します。</p>

<p>(1) -③ 感染症のBCP研修・訓練を実施します。感染者が発生した場合においてもサービス提供ができるよう、必要な取り組み、まん延防止措置への理解を深め実践につなげます。</p>	<p>感染症予防研修・訓練と合わせてBCP研修・訓練を実施しました。発熱や嘔吐等、初期の対応を丁寧に行うことや職員の役割分担を適切に行うことで、感染のリスクを最小限に止め、まん延防止を図ることを意識しました。 12月にボワ・エールにて複数のインフルエンザ罹患がありましたが、家庭への情報提供をこまめに行い、感染の状況や職員体制をみながら事業を継続しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2) -① 事業所内でのヒヤリハットについて検証、必要な対策を講じることで重大事故を予防します。</p>	<p>それぞれの事業所で気づいたヒヤリハットや安全衛生に関わることについて、安全衛生委員会の中でも検討し、必要な対応について、職員会議で周知できるようにしました。社会的にニュースになった事故についても、自事業所に置き換えて危険やリスクについて検討し、事故防止に努めました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>引き続き、ヒヤリハット事例や安全衛生について検討、対策を講じながら事故防止に努めます。</p>
<p>(2) -② 事故検証では、直接的な要因だけでなく背景となる要因にも目を向け、環境改善を含めた再発防止に努めます。</p>	<p>事故発生の際は、各事業所で原因、対策について検討しました。児童に関わる事故については、本人の行動特性や得たい刺激、支援のあり方、空間環境などさまざまな視点から検証し、解決策を模索しました。また、事故が発生しやすい時間や状況についても把握し、現場で周知、意識をすると同時に、安全衛生委員会の中でもさらに検討し、再発防止に努めました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -③ 防犯研修や訓練、マニュアルの整備等を行い、防犯に対する意識を高めます。</p>	<p>研修やマニュアルの整備には至りませんでした。不審者の侵入などの際に、児童、職員の安全を守るための話をし、各自が意識を持てるようにしました。社会的な事件や事故についても情報を集め、防止や抑止への意識を高めました。</p>	<p>概ね実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(3) -① 定期的に設備や備品、玩具等の安全を確認します。</p>	<p>備品や玩具の点検を定期的を実施し、破損や不具合がみられるものについては適切に修理、破棄しました。 備品や玩具の破損による事故は発生しませんでした。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -② 定期的な換気や季節に合わせた温度湿度に配慮し、健康に快適に過ごせる環境を整えます。</p>	<p>感染症に気を付け、定期的な室内の換気や温度調節を行いました。感染症の対応については、必要に応じて市や保健所とやり取りをしながら学校等に準じた適切な対応ができるよう努めました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>

4. 防災委員会

(1) 目標	
①	災害に備え、避難訓練を実施し、職員・児童の防災意識を高めます。
②	消火訓練、応急救護訓練、AED研修を実施します。
③	災害備蓄品の適正な管理や補充を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 火災想定避難訓練、地震想定避難訓練を1回ずつ、1週間を通して実施します。避難訓練の振り返りを行い、必要な備品や人の動きを確認し、適切な防災環境を整えます。</p>	<p>火災（5月）および地震（1月）を想定した避難訓練を実施しました。一週間を通して実施することで、多くの児童・職員が参加し、安全意識の向上に努めました。コンサールのみ、河川の氾濫や浸水などによる水害を想定した避難訓練（1月）を実施しました。 訓練実施後には、各事業所で振り返りを行いました。備品や避難の在り方について再検討し、実際に避難が必要な場面においてもスムーズに行動できるよう、環境を整えました。実施内容については報告書を作成し、次年度に活かせるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>年間予定、連絡帳、広報、HPなどで保護者へお知らせをしています。</p>

<p>(1) -② 災害時BCP研修・訓練を実施します。災害が発生した場合においてもサービス提供ができるよう、全体の流れ、職員としての動き、日ごろの準備への理解を深め実践につなげます。</p>	<p>災害時BCPに関する研修・訓練（1月）を実施しました。災害発生時においても継続してサービス提供が行えるよう、全体の流れや職員の具体的な動き、日頃の準備について理解を深め、実践につなげられるように意識の向上を図りました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -① 年間計画で日程を整え、計画的に実施します。</p>	<p>年間計画（児童支援部共通）で定めた日程に基づき、計画的に実施しました。年間計画や連絡帳、HPなどを通して、実施状況を保護者にも周知しました。居住支援部・児童支援部合同で、初期消火訓練やAEDの取り扱いについて研修形式で訓練を実施し、防災および応急救護への意識を高めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -① 各事業所で必要な防災備蓄の確認をします。賞味期限を確認し、無駄なく消費、追加をします。また、備蓄内容についてリスト化し、分かりやすく管理します。</p>	<p>各事業所ごとに、必要な防災備蓄品の確認を進めました。備蓄内容や消費期限をリスト化し、見やすい場所に掲示するなどして管理しました。しかし、活動の中で（おやつや昼食など）、賞味期限が近いものを消費することが難しく、期限切れとなる備蓄品が出てしまうこともありました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>備蓄方法の在り方や、賞味期限が近いものの有効な消費方法について、検討が必要。</p>

5. 送迎委員会

(1) 目標

①安全な送迎を実施します。

②災害や事故に備え、マニュアルの作成や災害対応訓練を実施します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1)-① 半年に一度の定期点検を行います。また各事業所での走行前点検を行い、安全に走行できるような車両を整備します。	各事業所で半年点検、車検を実施しました。走行前点検については職員間での周知不足により適切な実施が行えませんでした。	実施しましたが、結果が不十分でした。	次年度も継続します。走行前点検についてはマニュアルを作成し、確実な実施が行えるようにします。
(1)-② 運転者チェックリストや健康確認等、運転者の適正を確認し、安全に送迎業務を行います。	運転手の健康確認や適正については運転手に直接確認を行いました。運転手からの申し出により勤務日の変更や運転車両を限定するなど、安全な送迎が行えるように努めました。	実施できました。	次年度も継続します。
(1)-③ 運転者は、交通ルールを遵守し安全な走行に努めます。	送迎実施中の重大な人身事故・違反はなく、交通ルールを遵守した安全な送迎が実施できました。職員会議毎に危険予知トレーニングを実施し、交通ルールの再確認と安全な走行が行えるようにイメージトレーニングを実施しました。	実施できました。	次年度も継続します。
(1)-④ 車内では児童の座席配置に配慮し、安全に乗車できるようにします。	乗降順や児童同士の相性や特性を考慮して座席を配置しました。また、置き去り防止装置を全車両に設置し、児童の置き去りが無いようにしました。車内での大きなトラブル・事故はなく、安全な送迎が実施できました。	実施できました。	次年度も継続します。

<p>(2) -① 事故時におけるマニュアルを整備し、迅速な対応ができるようにします。</p>	<p>事故対応マニュアルを各事務所に設置し、いつでも閲覧できる環境を整えています。年に1度、災害対応訓練の際に確認をし、事故が起きた際に迅速な対応ができるように努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -② 災害時に備え、実際に車両を運行させた災害対応訓練を実施し、適切な判断ができるようにします。</p>	<p>年に1回、全職員を対象にして、災害対応訓練を実施しました。実際に車両を走行させ、安全確保と連絡の訓練を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

6. 広報委員会

(1) 目標

①広報誌にて、児童支援部の取り組みや活動の様子を広く伝えます。

②ホームページを活用し、活動の様子や必要な情報を発信します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 広報発行に合わせて、原稿を構成し地域や保護者に向けて活動の様子や取り組みを紹介します。</p>	<p>今年度の広報発行（4月、7月、9月、1月）に合わせて、記事を作成しました。事業所ごとの活動の様子や取り組みなどについて写真を使用して紹介することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② 写真使用について、毎年、個人情報同意書にて同意の有無について確認をします。個人情報の取扱いに厳重に注意します。</p>	<p>写真使用について同意があるご利用者のみ掲載するように広報誌やホームページを作成しました。広報発行前、HP掲載前には決裁にて内容や写真の使用可否の確認を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -① 保護者会資料や年間予定など、必要な情報をホームページ上で確認できるようにします。</p>	<p>ホームページの児童支援部専用ページにおいて、保護者会資料や年間予定などの情報提供を行いました。また、法人ホームページにて2025年度児童支援部事業所自己評価集計及び検討結果を掲載しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

(2) -② 事業所での活動について、定期的に記事を投稿しお知らせします。	各事業所ごとに定期的にホームページの記事を作成し、更新をしました。活動の様子を写真を交えて紹介することができました。	実施できました。	次年度も継続します。
---------------------------------------	--	----------	------------

7. 苦情解決委員会

(1) 目標
①利用児童、保護者、地域からの苦情や要望に対して、適切な対応を検討します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -① 苦情や要望の内容を正確に把握できるよう丁寧な聞き取りを行い、適切な対応を検討します。	年間を通して苦情の発生はありませんでした。要望については傾聴姿勢を意識し、丁寧に話を聞くと同時に、具体的な要望を確認し、事業所としてできることとできないことを明確にお伝えしました。会議にて情報を共有し統一した対応ができるよう整えました。	実施できました。	次年度も継続します
(1) -② 苦情、要望、相談については、迅速に対応します。	寄せられた要望、相談については、職員、主任、園長など対応職員について判断し、時間をあけずに対応しました。判断の内容についても全体で共有し、ズレのない対応を心掛けました。職員間で苦情対応マニュアルの確認を行い、それぞれの役割で適切な対応ができるよう努めました。	実施できました。	次年度も継続します
(1) -③ 苦情の内容や対応の経過、検討結果について、必要に応じて情報開示できるように、透明性の高い対応をします。	苦情の発生はありませんでしたが、苦情につながりそうな事故については苦情解決第三者委員会へも報告しました。委員会でもいただいたご意見を活かし、より良い対応やサービスを工夫しました。求めがあった場合には当事者へも開示できる内容で報告書を作成しました。	実施できました。	次年度も継続します